

この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図
 (羽島・田内・荒川峡・串木野)を使用したものである。
 500m 0 500 1000 1500

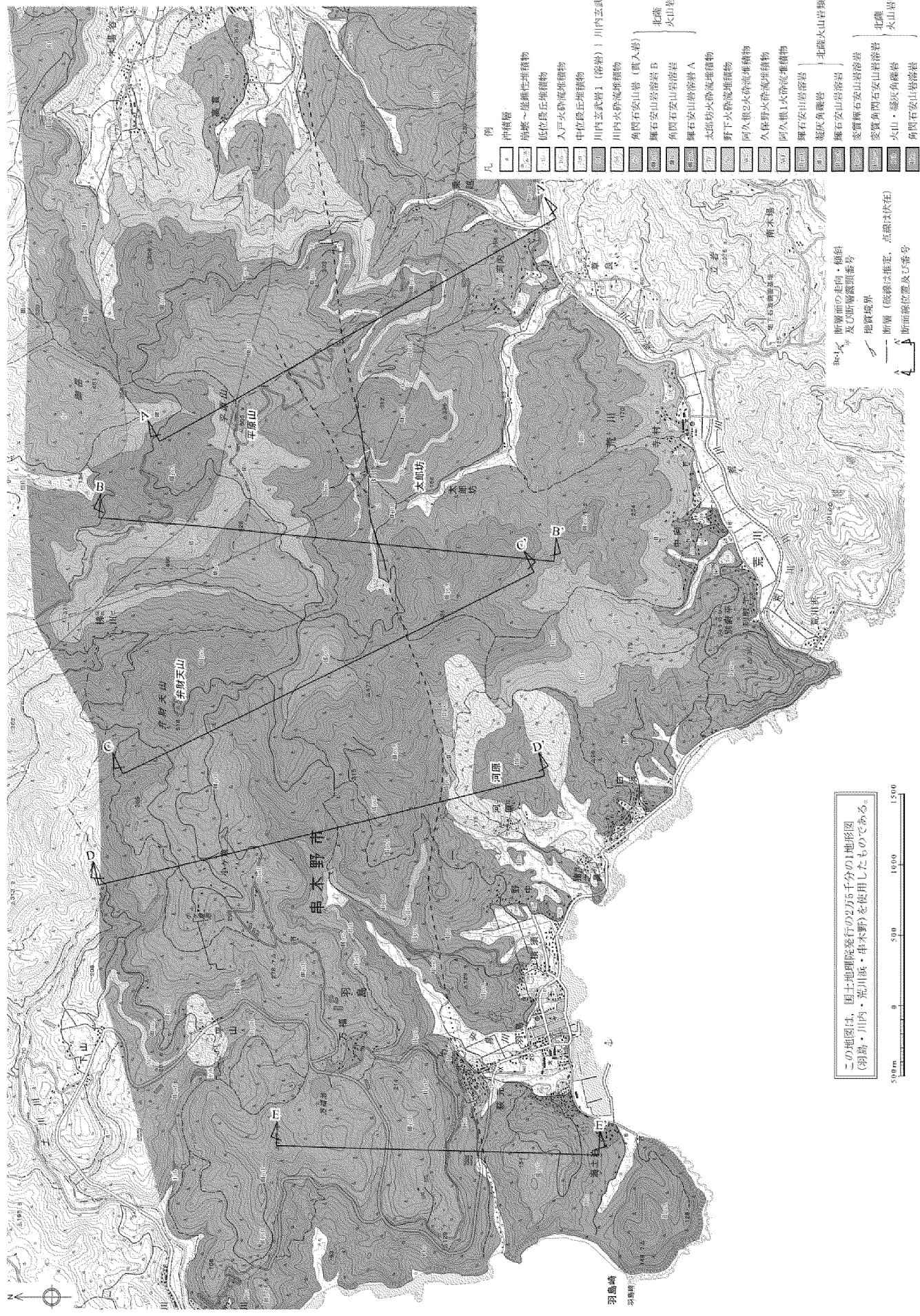
地形面凡例

- A面
- L1面
- L2面
- L3面
- L4面
- M1面
- M2面
- M3面
- M4面
- 人工水砕沈堆積面
- 溶岩台地伏平坦面 b

リニアメント凡例

- リニアメント
(図例は既設で、矢印の方向は
 修訂後の方向を示す。)
- 観測位置及び露頭番号

第 1.2.7.3.2.61 図 弁財天山南リニアメント周辺の空中写真判読図



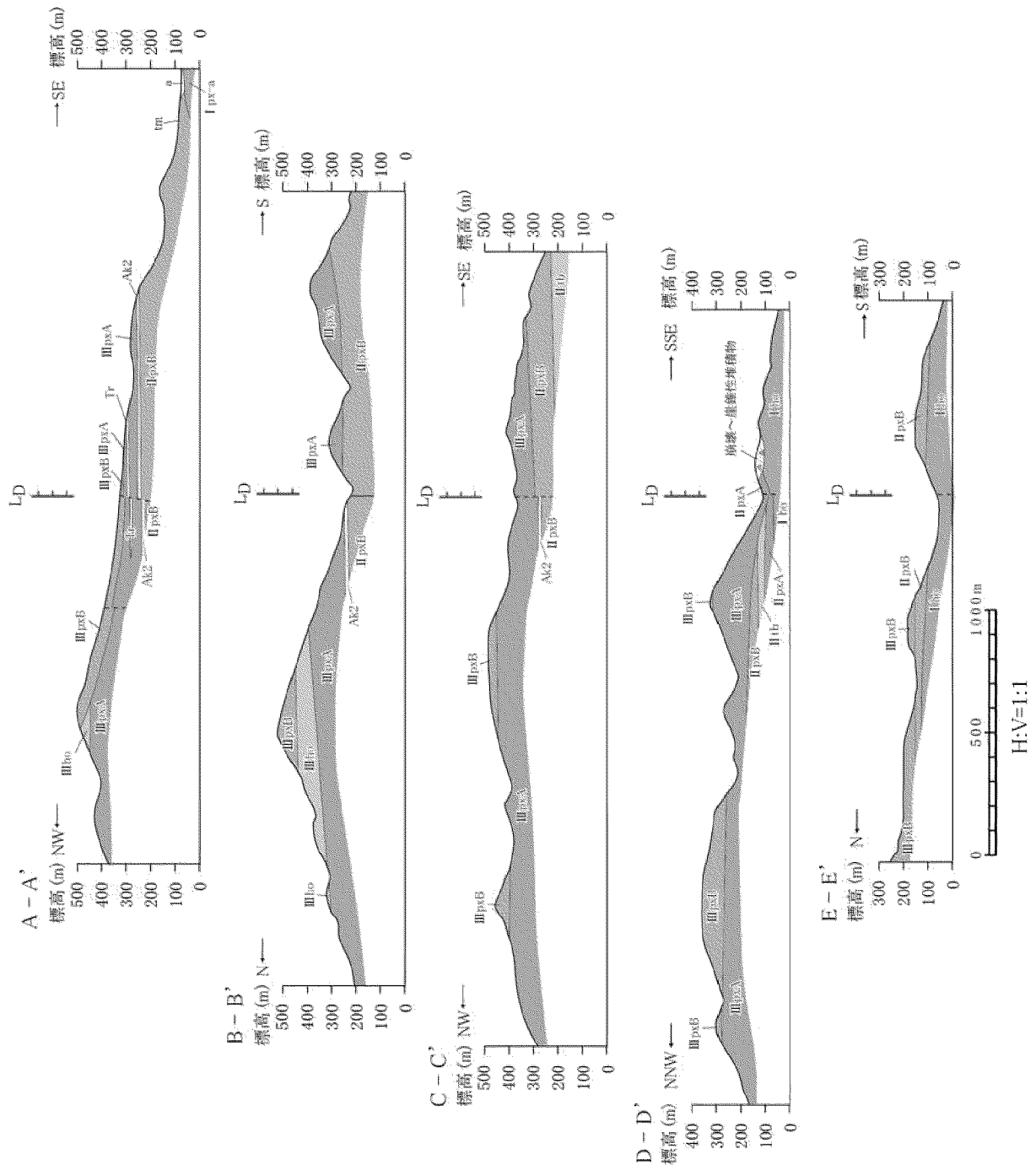
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図
 (羽島・川内・荒川峡・串木野)を使用したものである。



- 凡例
- 沖積層
 - 海成～陸成堆積物
 - 低位低丘堆積物
 - 入戸火砕流堆積物
 - 中位低丘堆積物
 - 川内玄武岩1(溶岩) | 川内玄武岩類
 - 川内火砕流堆積物
 - 角閃石安山岩(貫入岩)
 - 輝石安山岩溶岩B
 - 角閃石安山岩溶岩
 - 輝石安山岩溶岩A
 - 太田切火砕流堆積物
 - 野下火砕流堆積物
 - 阿久根2火砕流堆積物
 - 久保野火砕流堆積物
 - 阿久根1火砕流堆積物
 - 輝石安山岩溶岩
 - 徳次角礫岩
 - 北麓火山溶岩II
 - 輝石安山岩溶岩
 - 変質輝石安山岩溶岩
 - 変質角閃石安山岩溶岩
 - 火山・凝灰角礫岩
 - 角閃石安山岩溶岩
- 北麓
火山溶岩III

Be-1 断面面の方位・傾斜
 及び断面位置番号
 地質境界
 断面 (破線は推定、点線は存在)
 A 断面位置及び番号

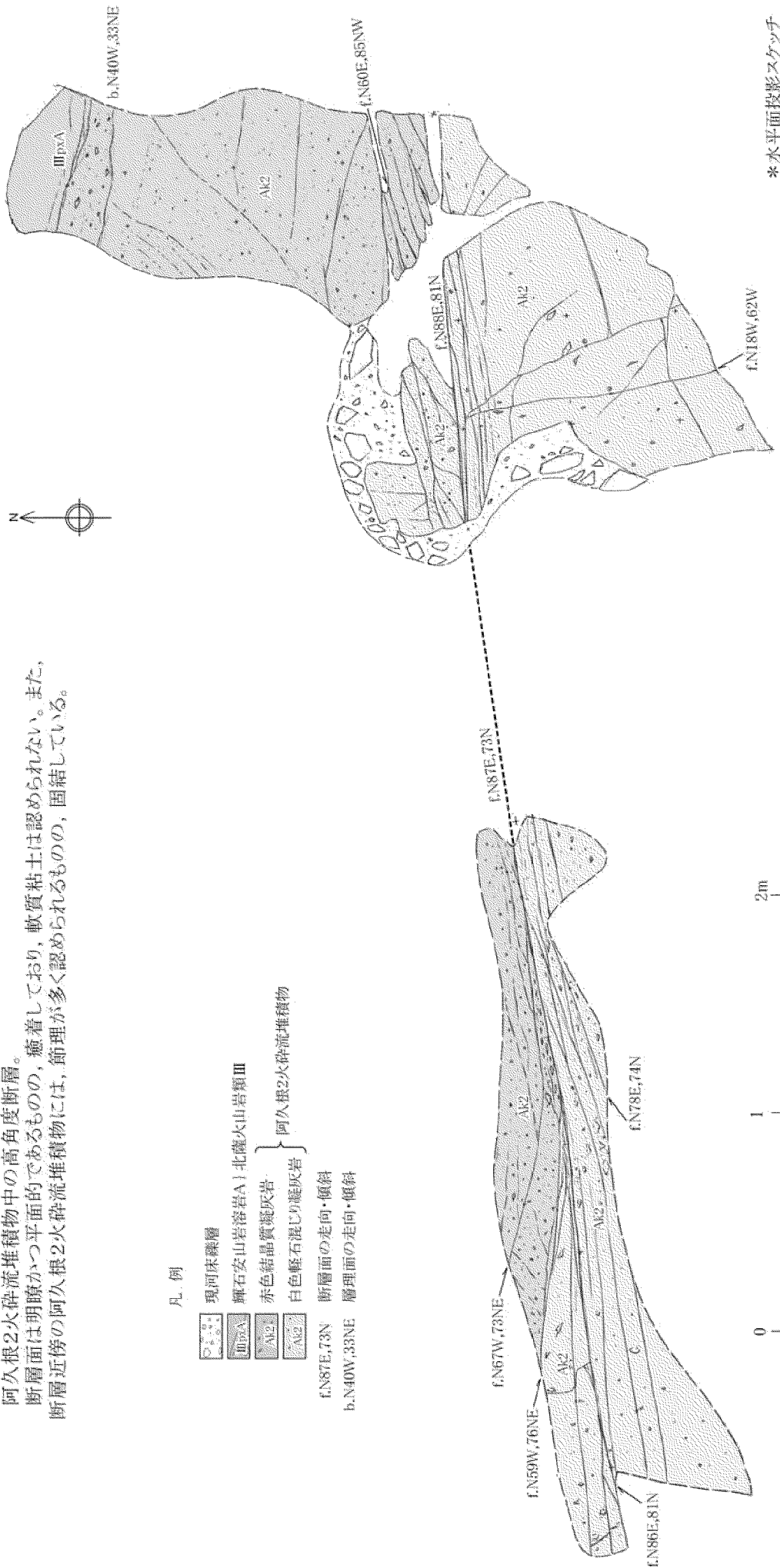
第 1.2.7.3.2.62 図 弁財天山南リニアメント周辺の地質図

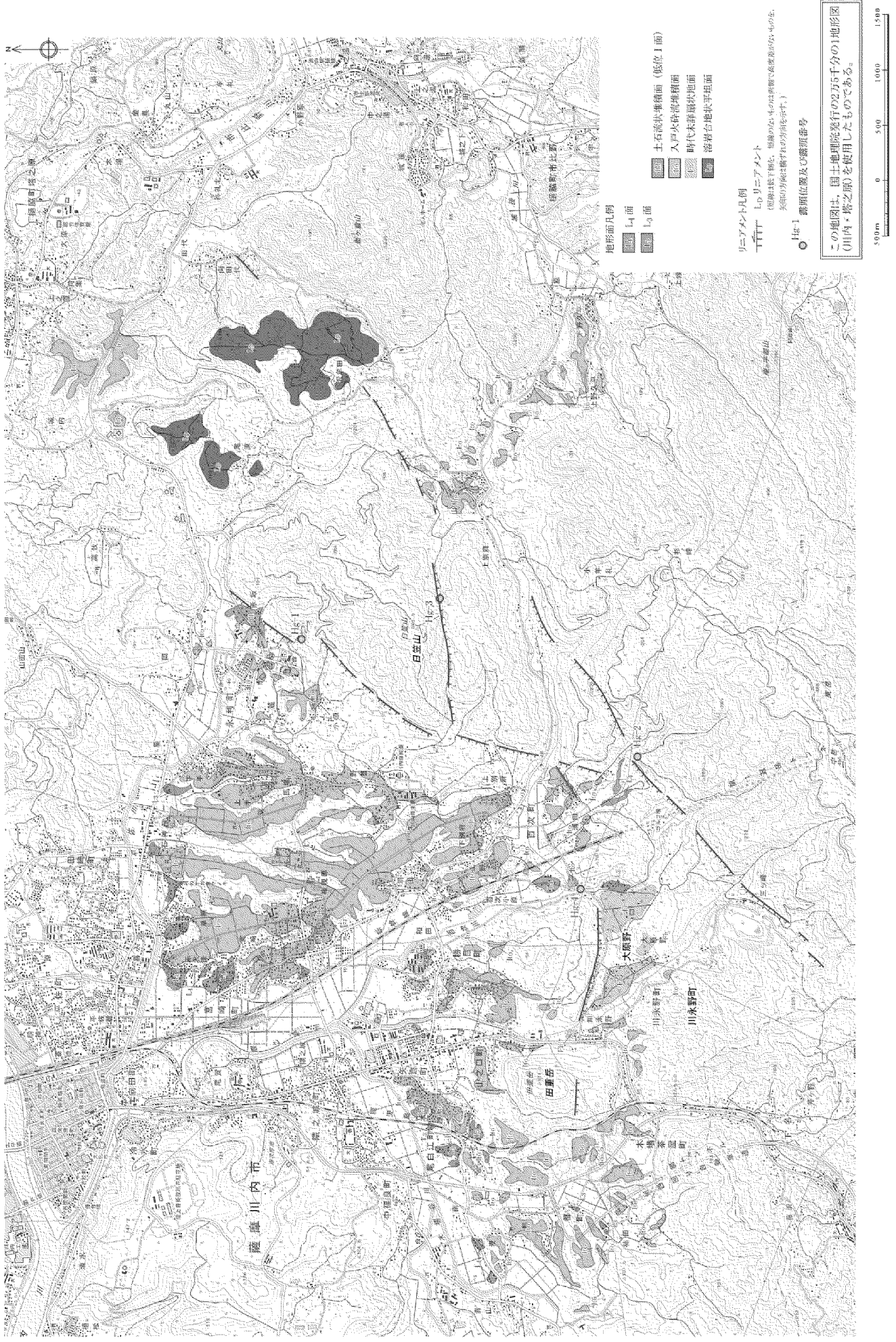


(注) 凡例は、第 1.2.7.3.2.62 図を参照。

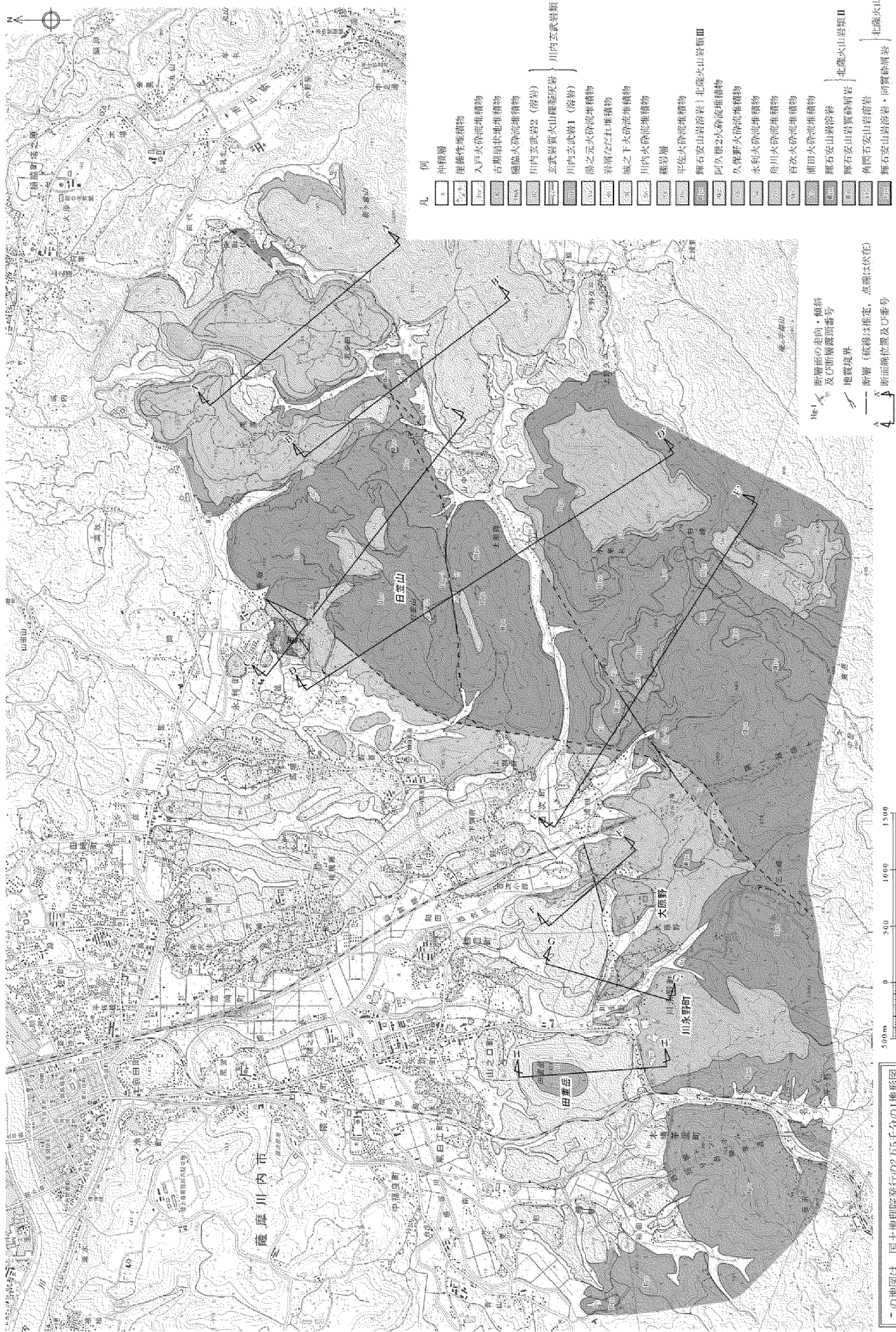
第 1.2.7.3.2.63 図 弁財天山南リニアメント周辺の地質断面図

阿久根2火砕流堆積物中の高角度断層。
 断層面は明瞭かつ平面的であるものの、癒着しており、軟質粘土は認められない。また、
 断層近傍の阿久根2火砕流堆積物には、節理が多く認められるもの、固結している。

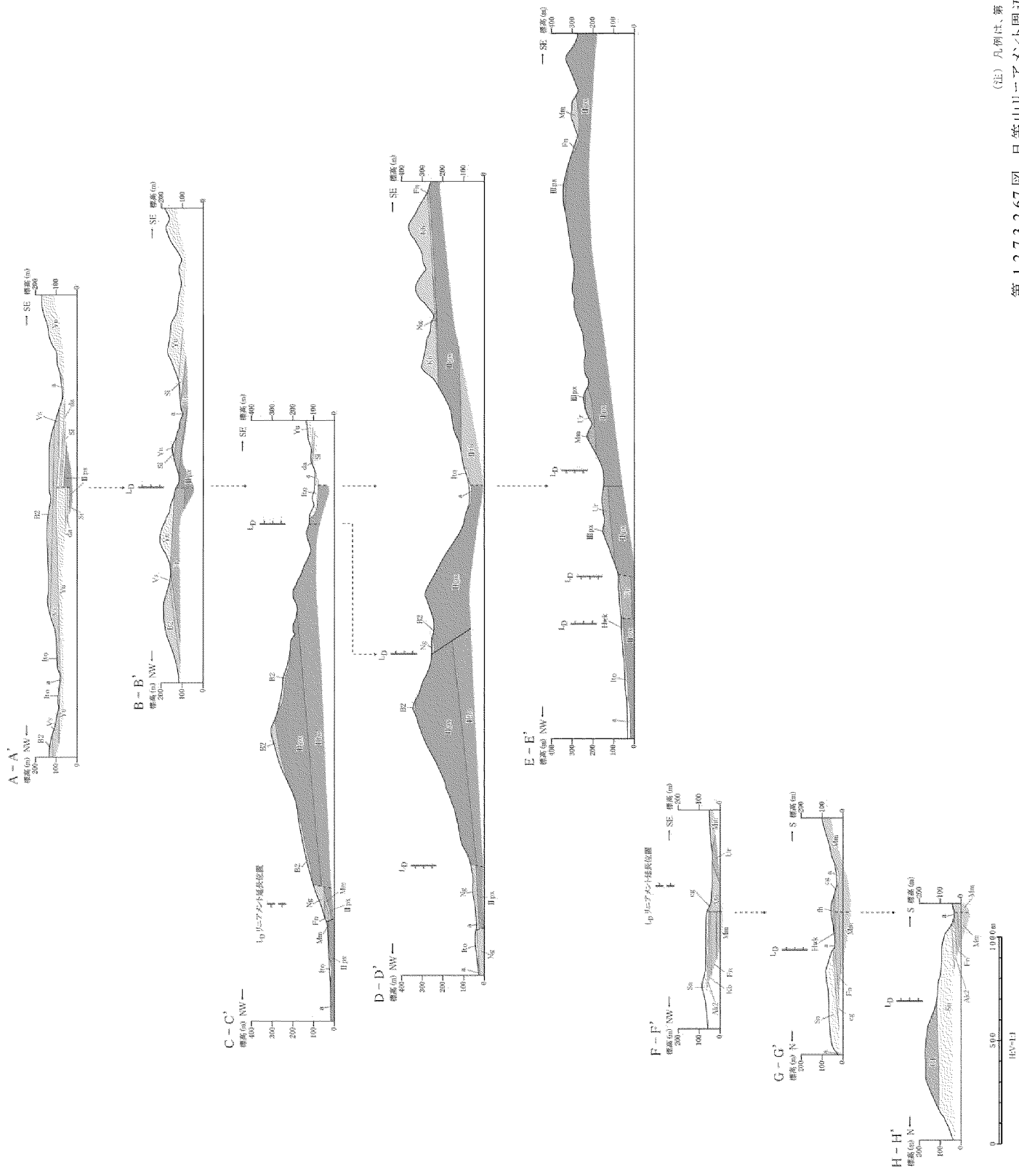




第 1.2.7.3.2.65 図 日笠山リニアメント周辺の空中写真判読図
1.2.7.3-227

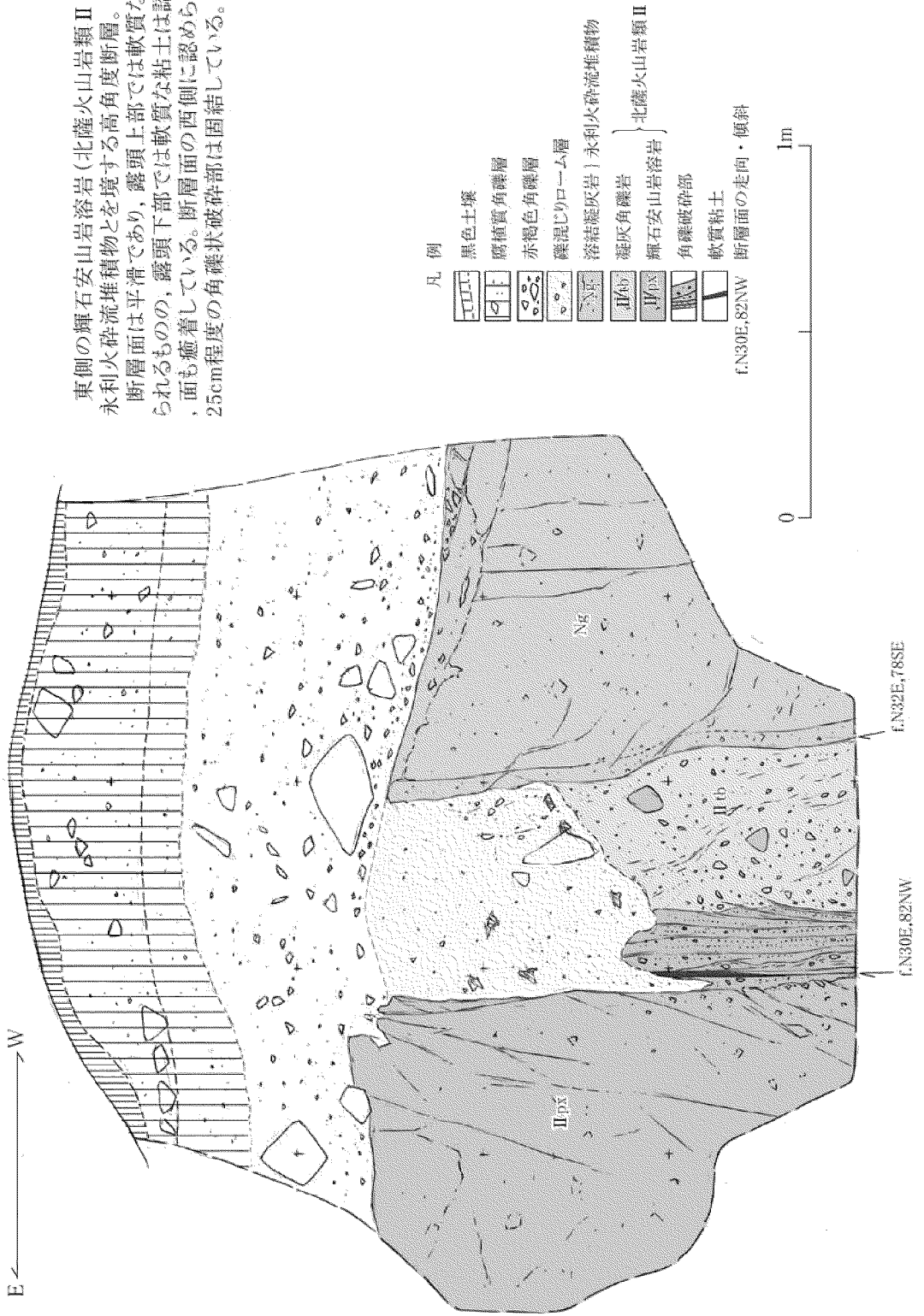


第 1.2.7.3.2.66 図 日笠山リニアメント周辺の地質図



(注) 凡例は、第 1.2.7.3.2.66 図を参照。

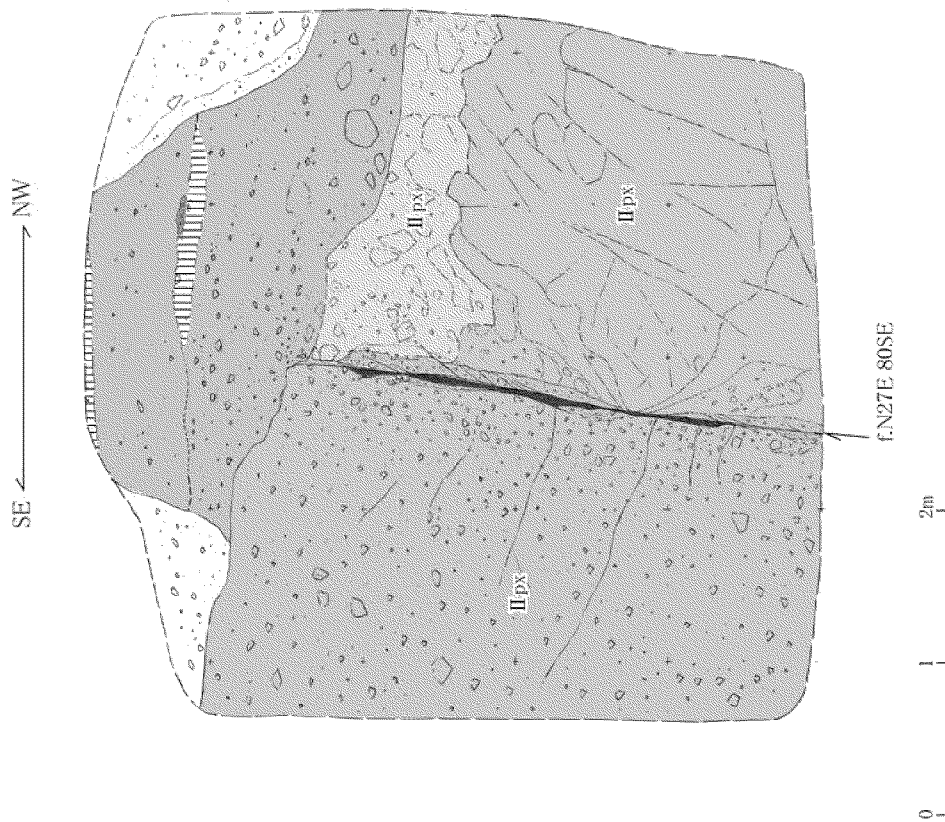
第 1.2.7.3.2.67 図 日笠山リニアメント周辺の地質断面図



東側の輝石安山岩溶岩(北薩火山岩類Ⅱ)と西側の永利火砕流堆積物とを境する高角度断層。

断層面は平滑であり、露頭上部では軟質な粘土がみられるものの、露頭下部では軟質な粘土は認められず、面も癒着している。断層面の西側に認められる幅25cm程度の角礫状破砕部は固結している。

第 1.2.7.3.2.68 図 (1) 露頭スケッチ (Loc.Hg-1, 薩摩川内市永利町)



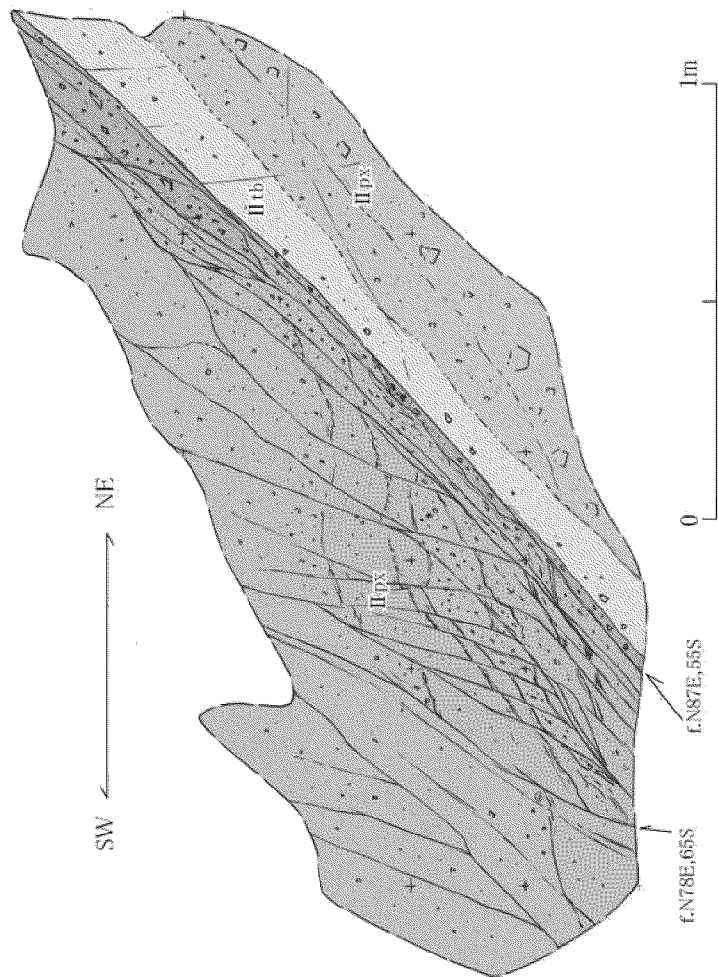
南東側の輝石安山岩自破碎溶岩(北薩火山岩類II)と北西側の輝石安山岩溶岩(同火山岩類II)とを境する高角度断層。断層面は平滑であるが、断層面は癒着しており、破碎部も固結している。

凡例

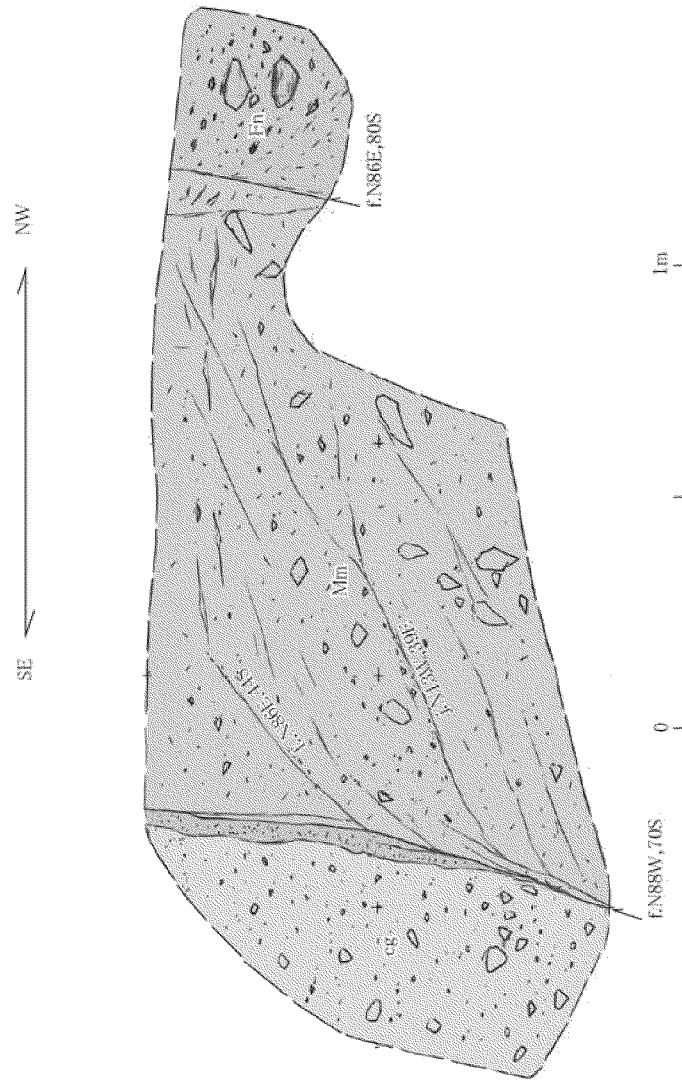
- 黒色土壌
 - 灰堆積物
 - 黄褐色細砂層
 - 鬼界アカホヤテアラ層
 - 暗灰色土壌
 - ローム質角礫層
 - 輝石安山岩溶岩風化部
 - 輝石安山岩溶岩
 - 輝石安山岩自破碎溶岩
 - 角礫破碎部
 - 含角礫細粒破碎部
- } 北薩火山岩類II

f.N27E 80SE 断層面の走向・傾斜

南西側の弱変質輝石安山岩溶岩(北薩火山岩類II)と北東側の凝灰角礫岩(同火山岩類II)とを境する正断層。
断層面は平滑であるが、癒着しており、破砕部も固結している。



- 凡 例
- 弱変質輝石安山岩溶岩
 - 輝石安山岩自破砕溶岩
 - 凝灰角礫岩
 - 角礫破砕部
- f.N87E,55S 断層面の走向・傾斜
- 北薩火山岩類II

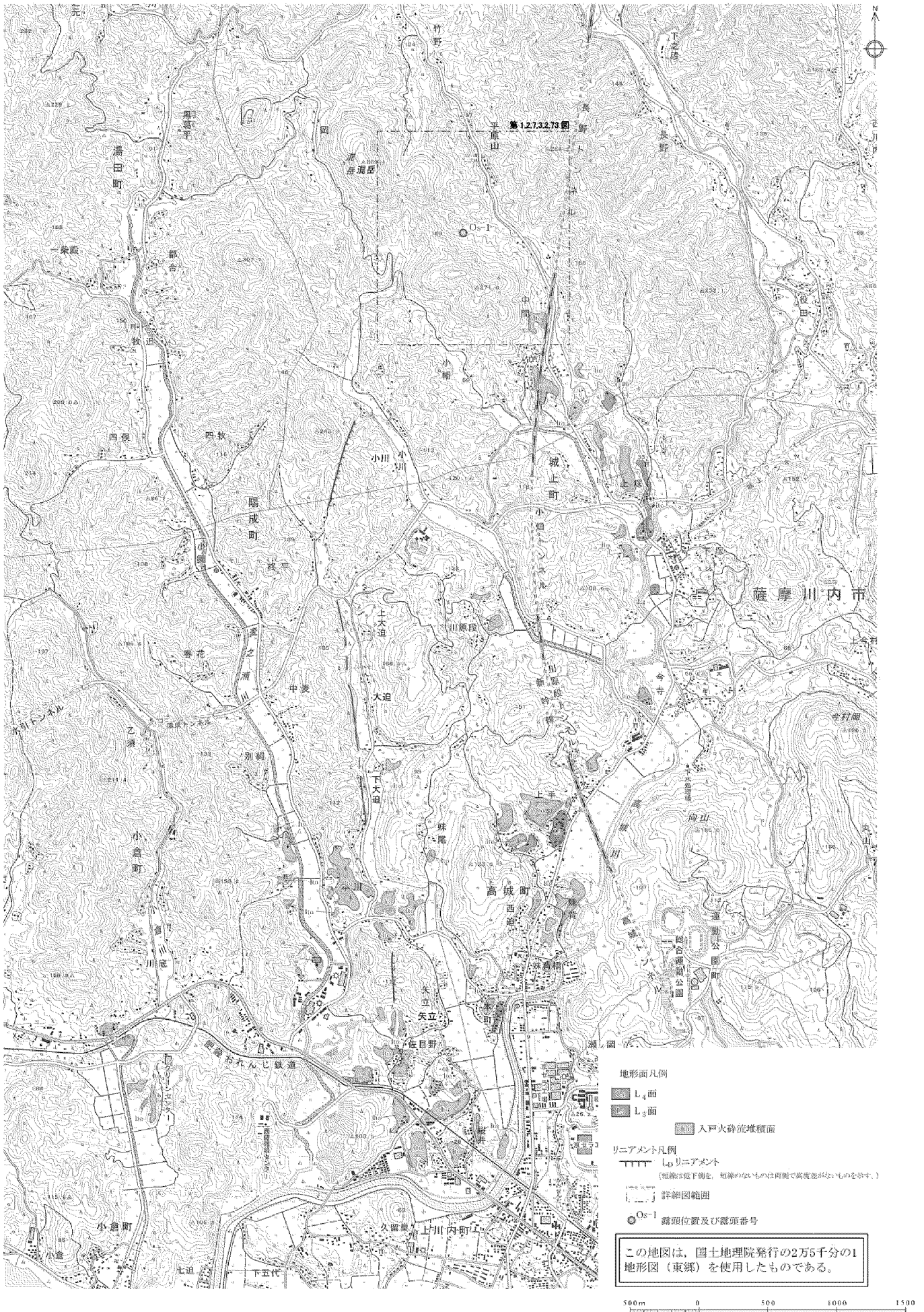


露頭南側に南東側の礫岩層と北西側の百次火砕流堆積物とを境する正断層が、露頭北側に南東側の百次火砕流堆積物と北西側の舟川火砕流堆積物とを境する高度断層が認められる。いずれの断層面も湾曲し、癒着しており、破砕部も固結している。

凡例

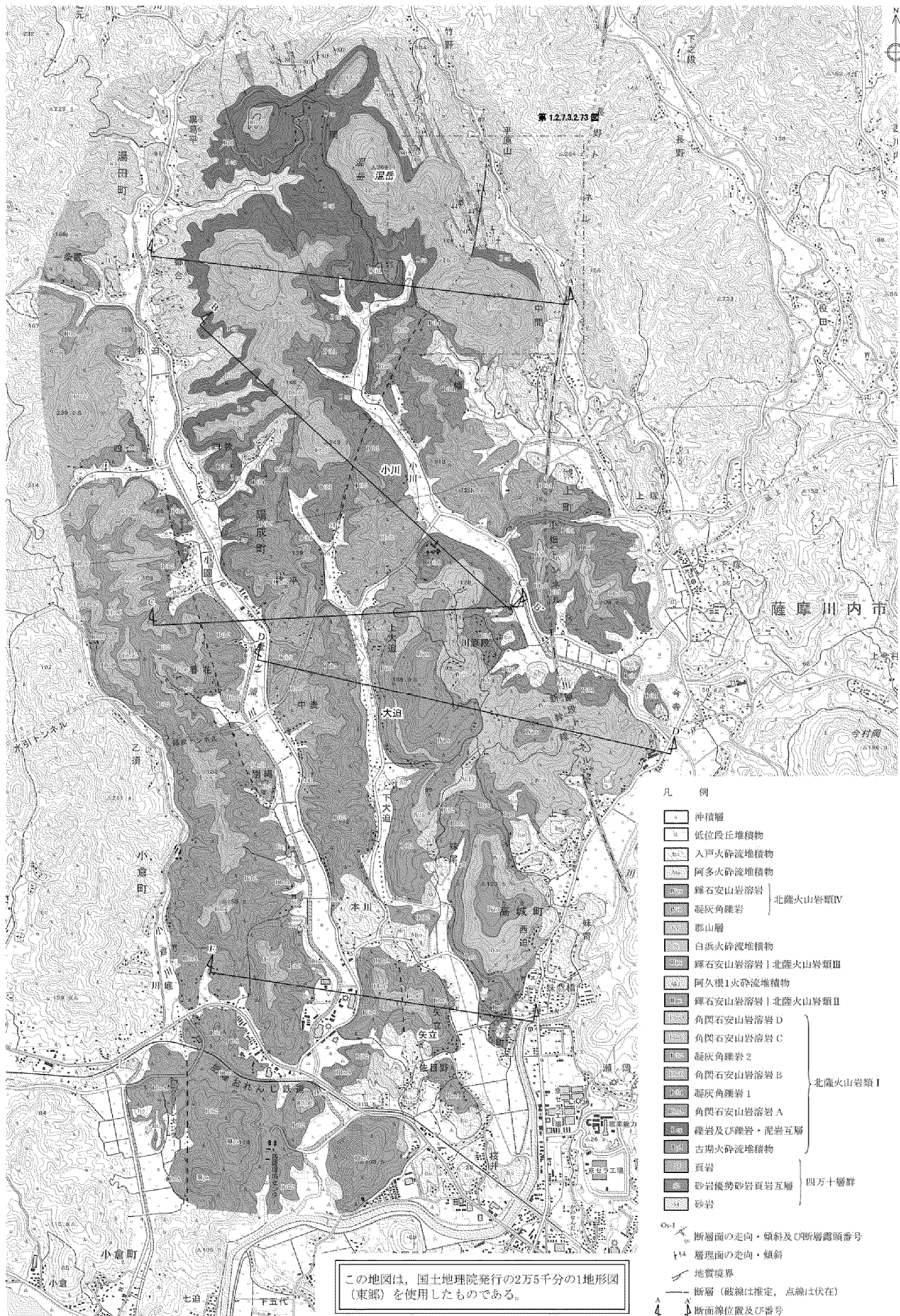
- 礫岩層
- スコリア流堆積物 | 舟川火砕流堆積物
- 溶結凝灰岩 | 百次火砕流堆積物
- 細粒破砕部

E.N88W,70S 断層面の走向・傾斜
 J.N13W,39E 節理面の走向・傾斜



1.2.7.3-234

第 1.2.7.3.2.69 図 大迫リニアメント周辺の空中写真判読図



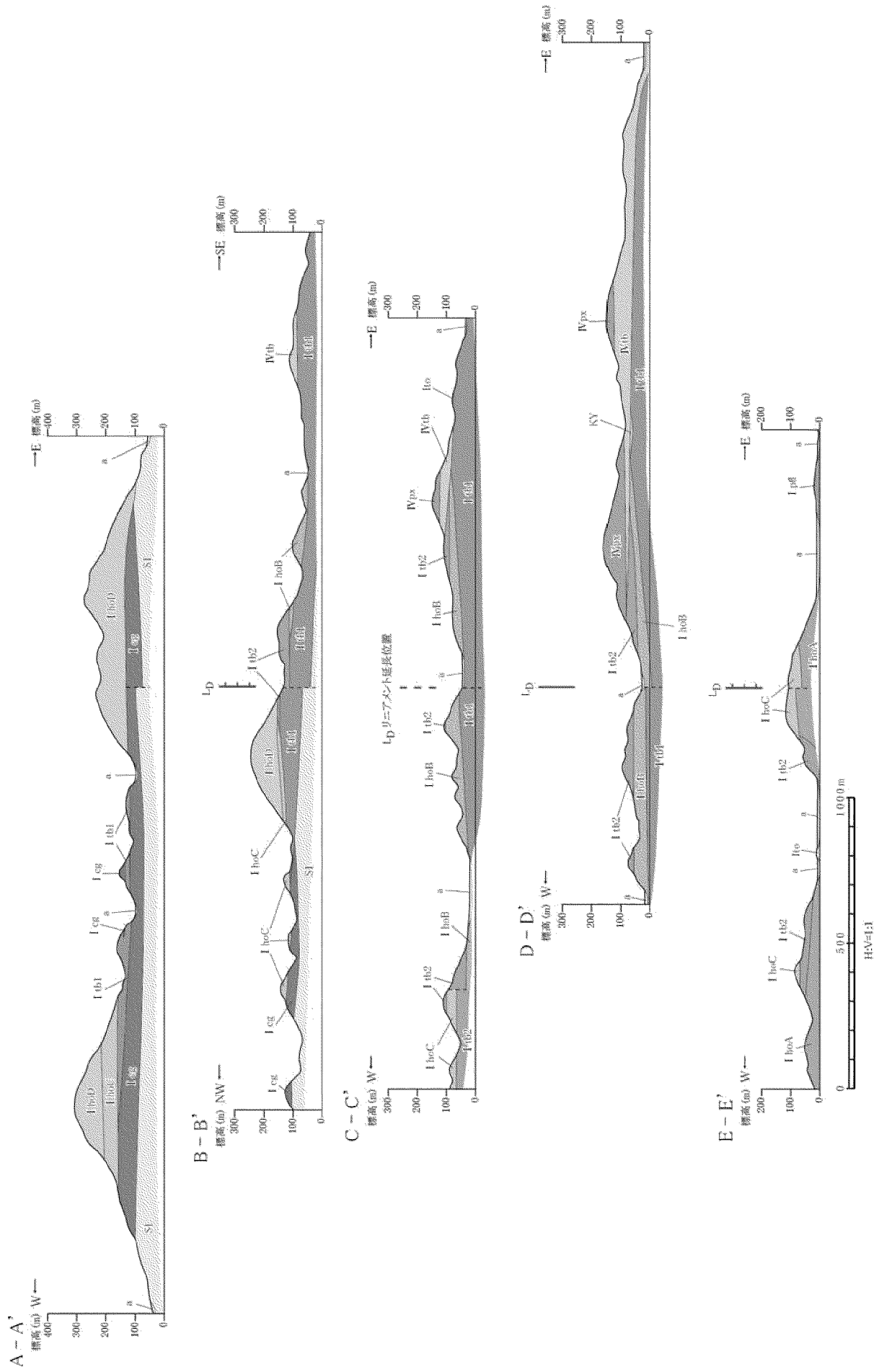
第 1.2.7.3.2.73 図

- 凡 例
- 沖積層
 - 低位段丘堆積物
 - 入戸火砕流堆積物
 - 阿多火砕流堆積物
 - 輝石安山岩溶岩
 - 凝灰角礫岩
 - 郡山層
 - 白浜火砕流堆積物
 - 輝石安山岩溶岩 1 北薩火山岩類 III
 - 阿久根 1 火砕流堆積物
 - 輝石安山岩溶岩 2 北薩火山岩類 II
 - 角閃石安山岩溶岩 D
 - 角閃石安山岩溶岩 C
 - 凝灰角礫岩 2
 - 角閃石安山岩溶岩 B
 - 凝灰角礫岩 1
 - 角閃石安山岩溶岩 A
 - 礫岩及び礫岩・泥岩互層
 - 古期火砕流堆積物
 - 頁岩
 - 砂岩優勢砂岩頁岩互層
 - 砂岩
- 北薩火山岩類 IV
- 北薩火山岩類 I
- 四万十層群
- Os-1 断層面の走向・傾斜及び断層露頭番号
- 1/4 層理面の走向・傾斜
- 地震境界
- 断層 (破線は推定、点線は伏在)
- 断面線位置及び番号
- 詳細図範囲

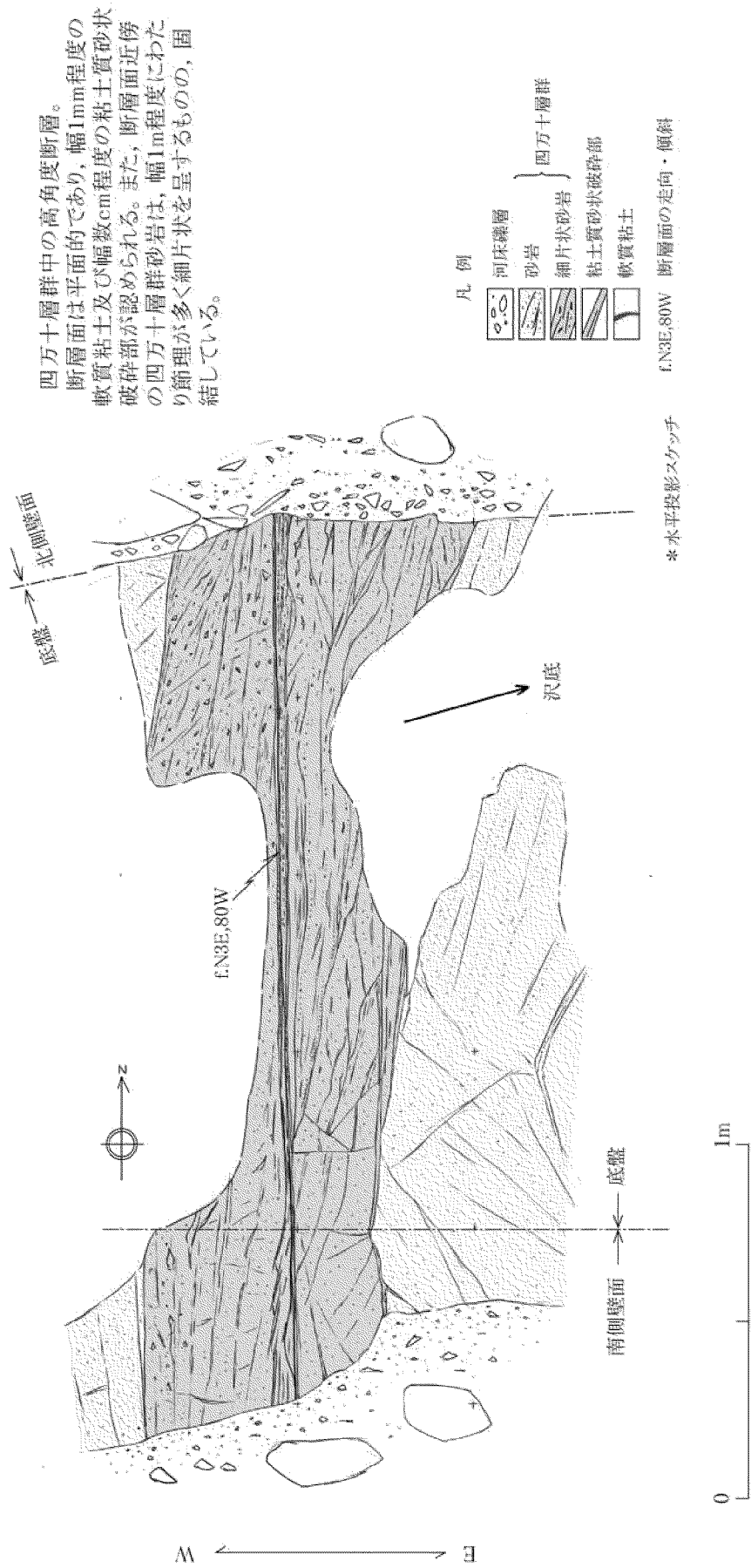
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(東郷)を使用したものである。

500m 0 500 1000 1500

第 1.2.7.3.2.70 図 大迫リニアメント周辺の地質図

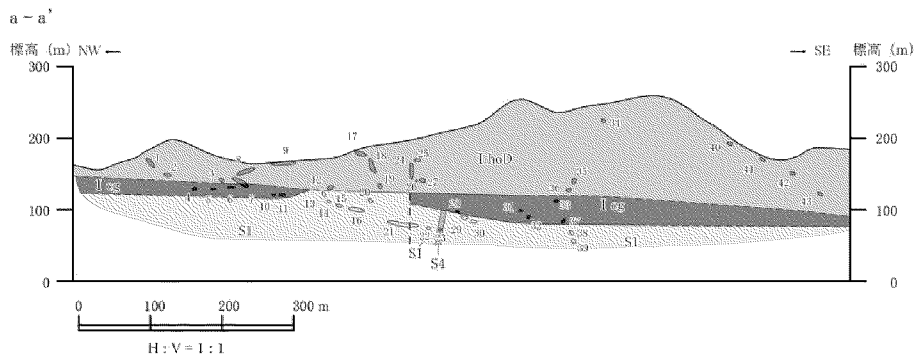
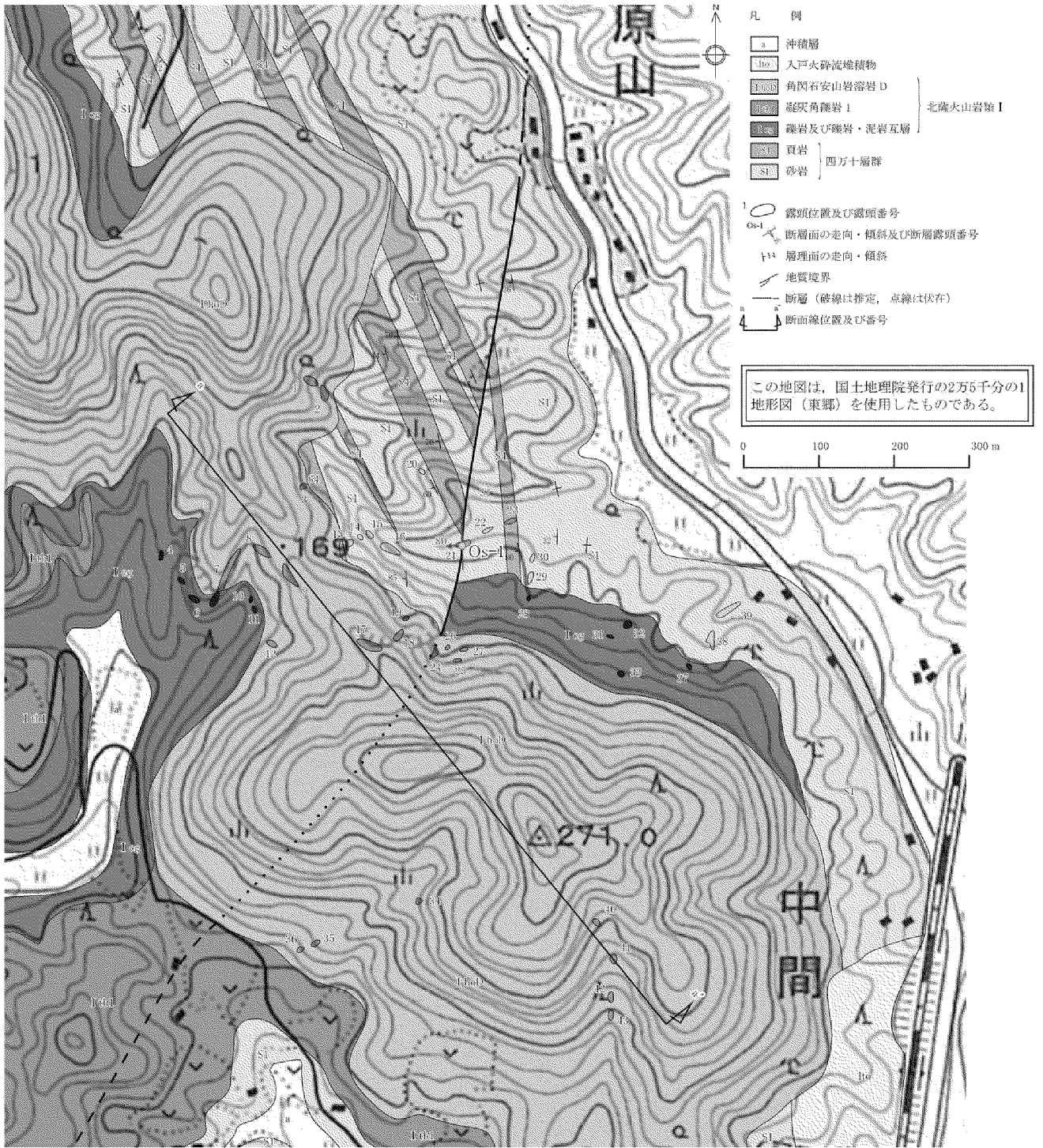


第 1.2.7.3.2.71 図 大迫リニアメント周辺の地質断面図
 (注) 凡例は、第 1.2.7.3.2.70 図を参照。

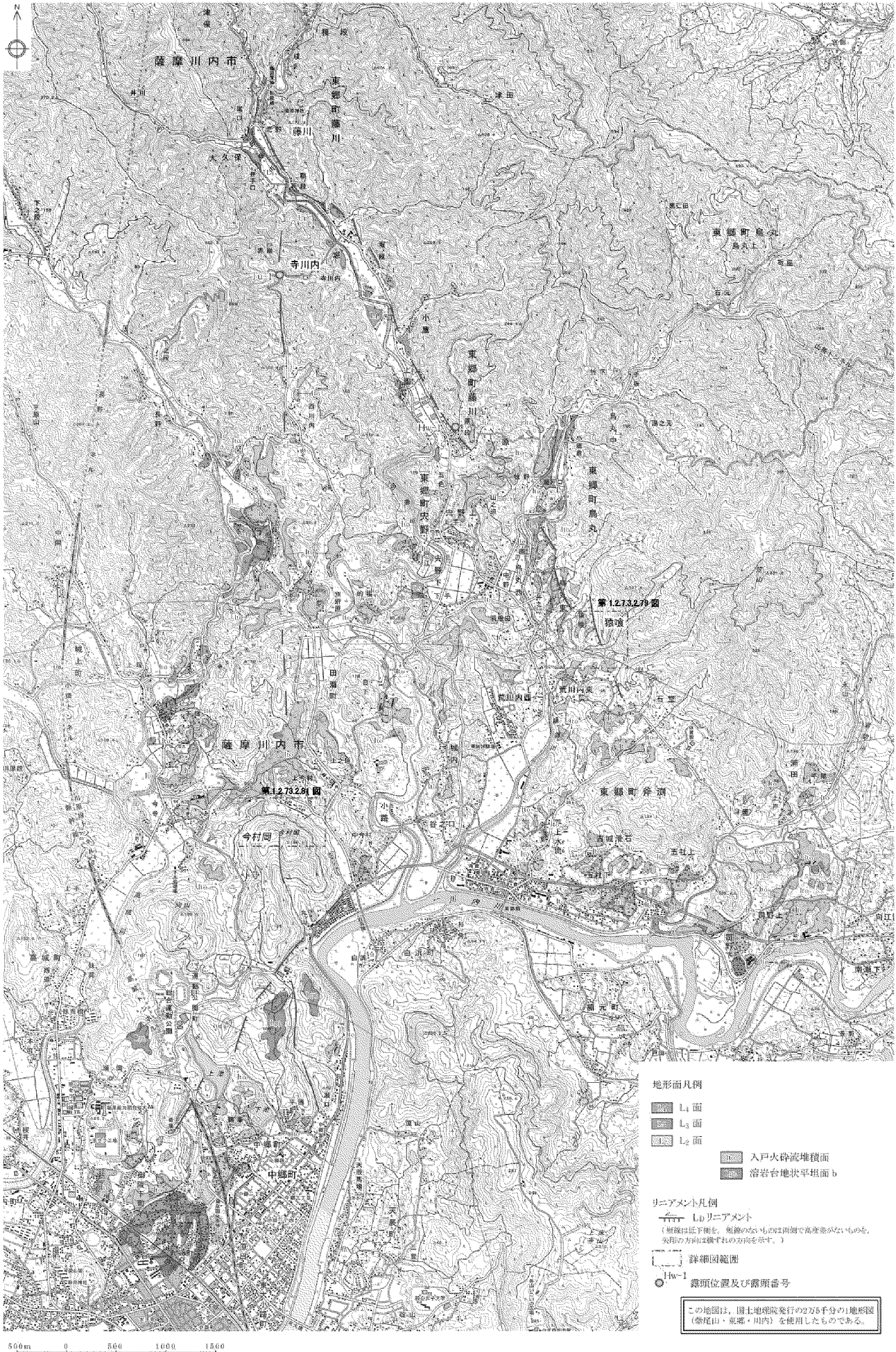


四万十層群中の高角度断層。
断層面は平面的であり、幅1mm程度の軟質粘土及び幅数cm程度の粘土質砂状破砕部が認められる。また、断層面にわたる四万十層群砂岩は、幅1m程度にわたる節理が多く細片状を呈するもの、固結している。

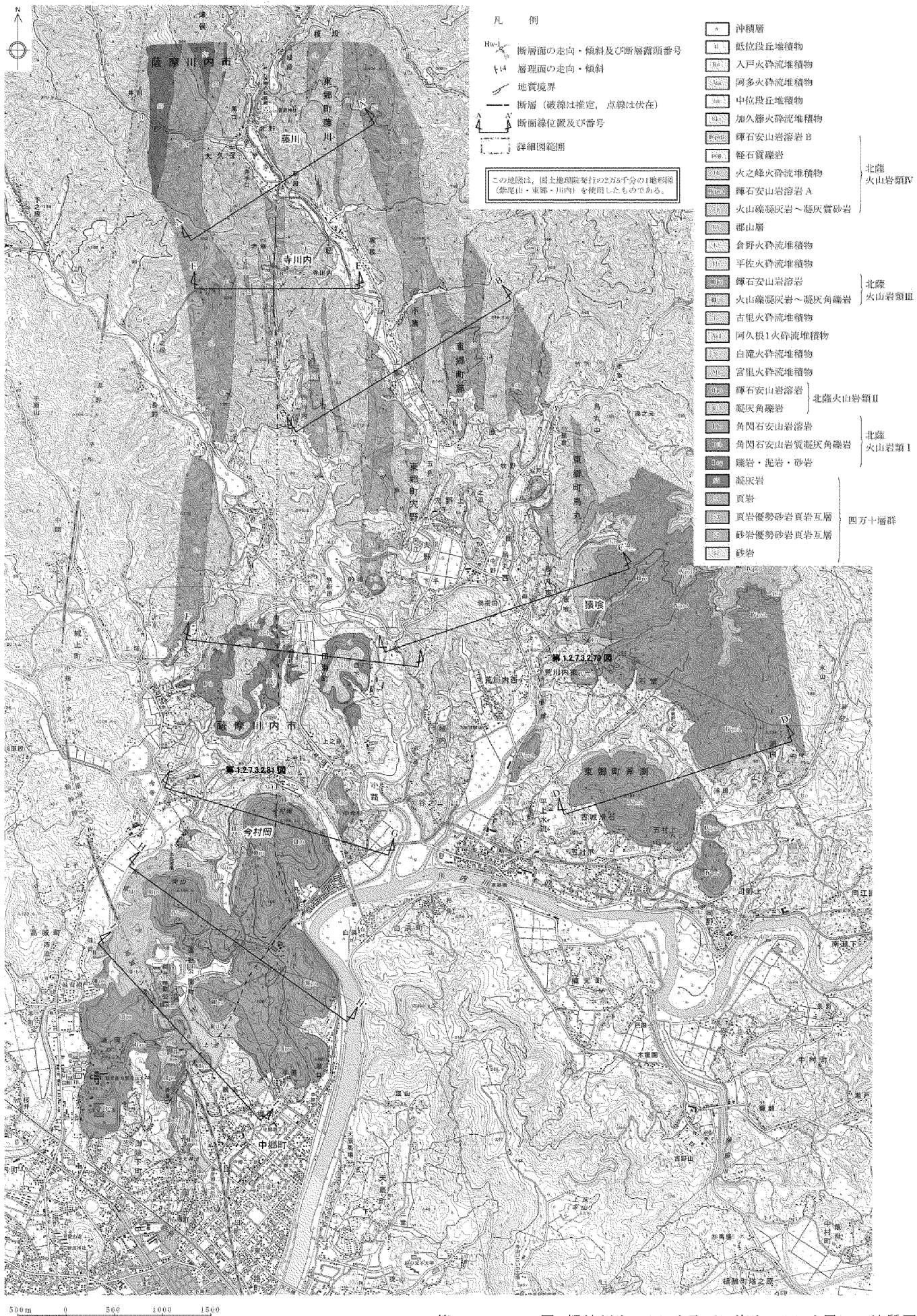
第 1.2.7.3.2.72 図 露頭スケッチ (Loc.Os-1, 薩摩川内市混岳南東)



第 1.2.7.3.2.73 図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市混岳付近)

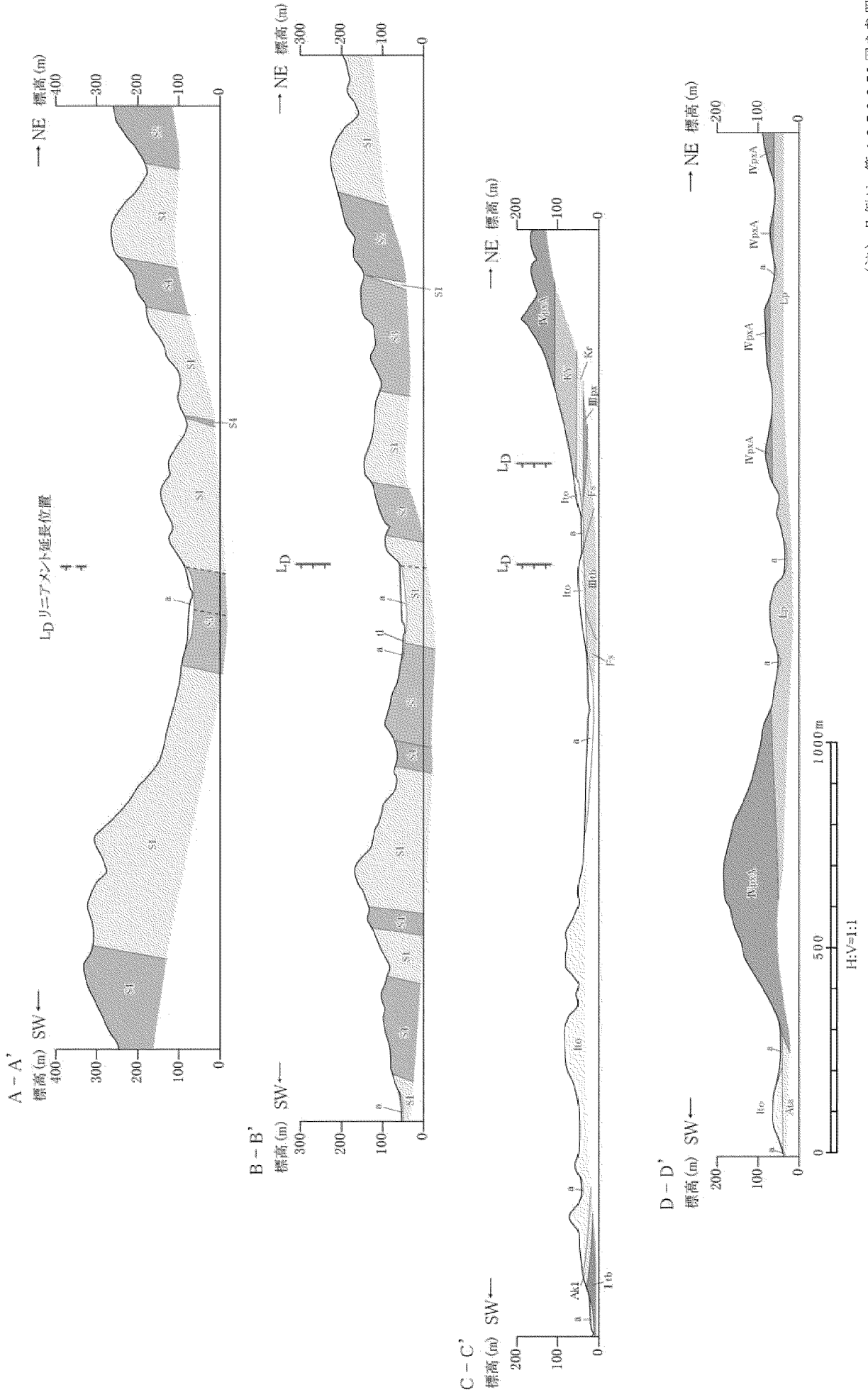


第 1.2.7.3.2.74 図 樋渡川リニアメント及び田海リニアメント周辺の空中写真判読図

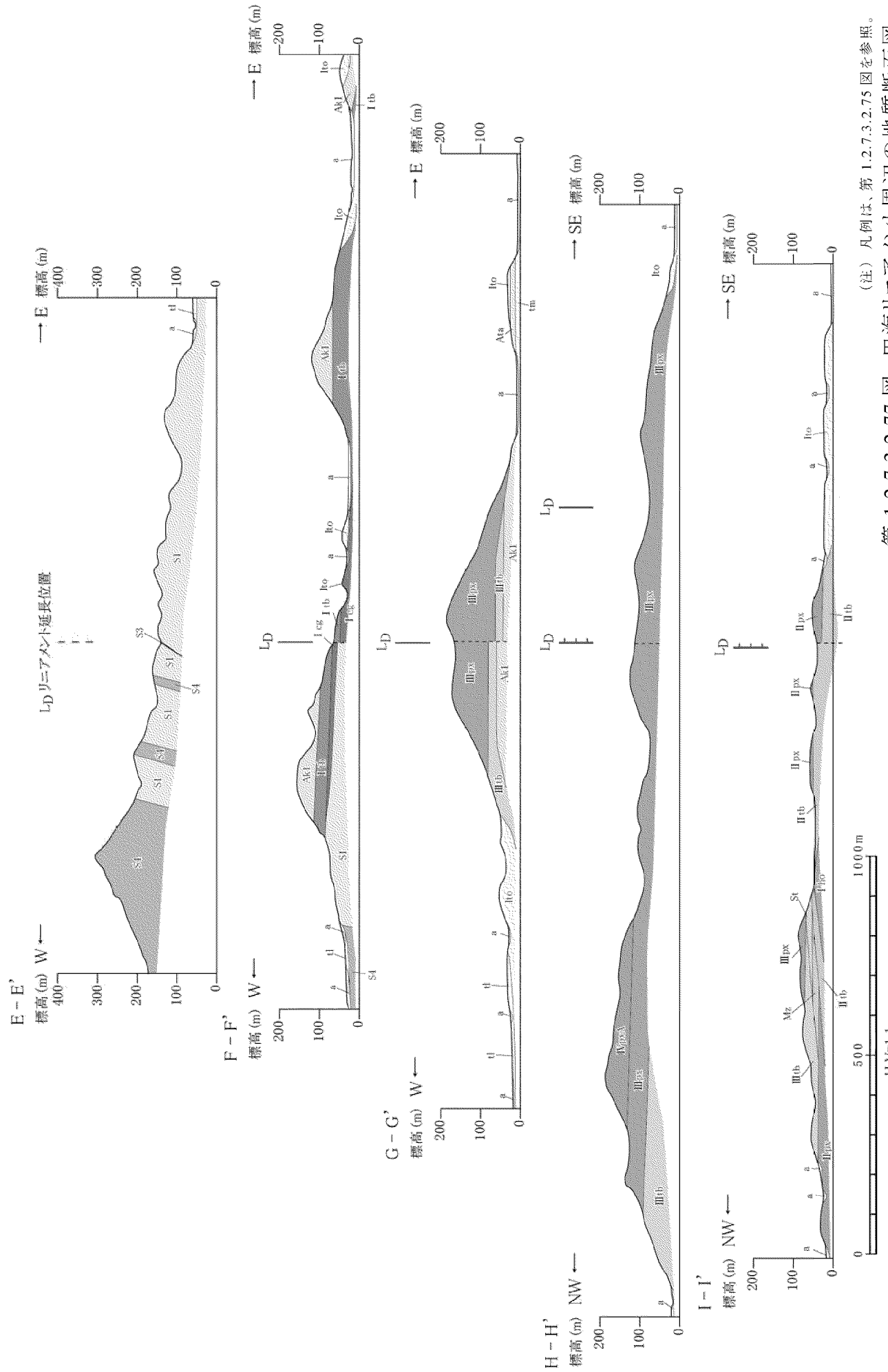


1.2.7.3-240

第 1.2.7.3.2.75 図 桶渡川リニアメント及び田海リニアメント周辺の地質図



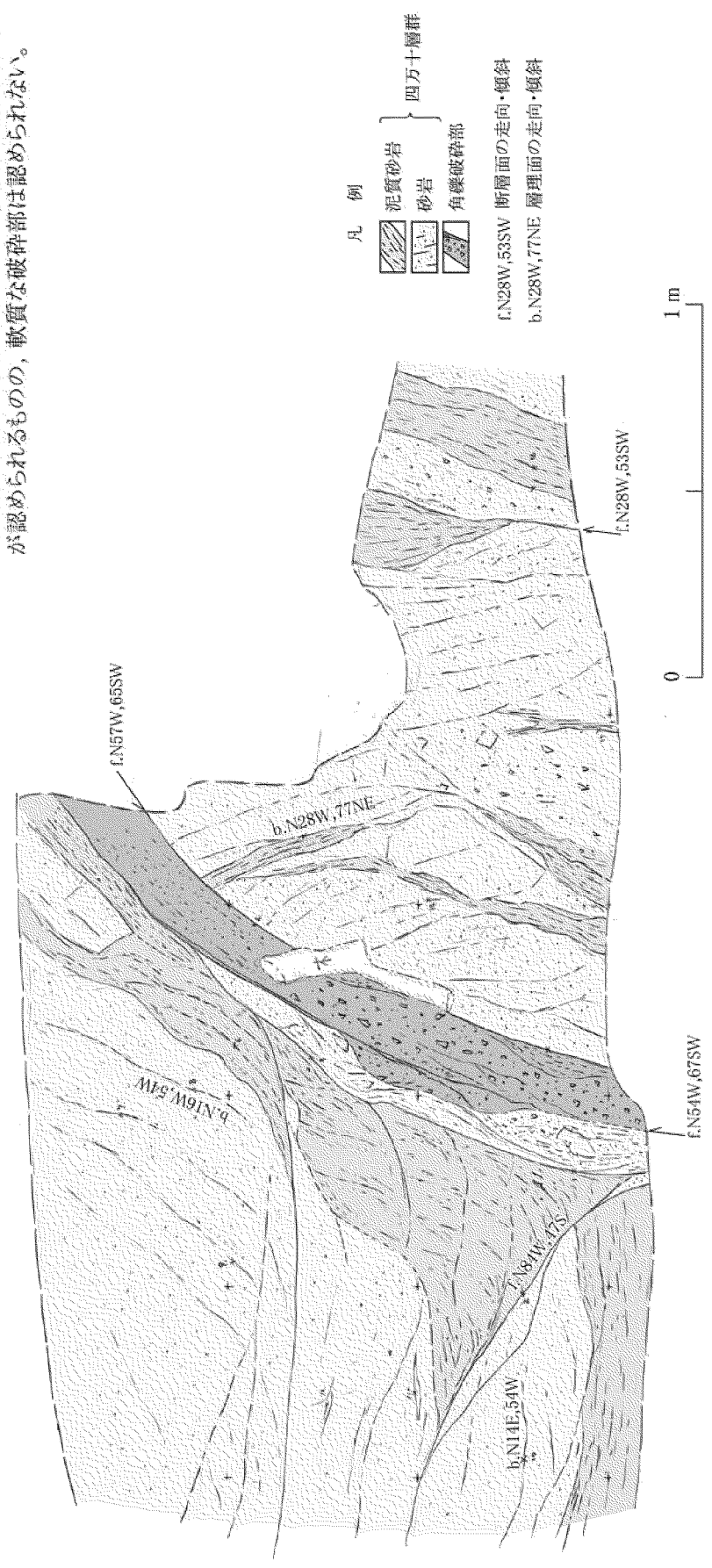
第 1.2.7.3.2.76 図 樋渡川リニアメント周辺の地質断面図
 (注) 凡例は、第 1.2.7.3.2.75 図を参照。



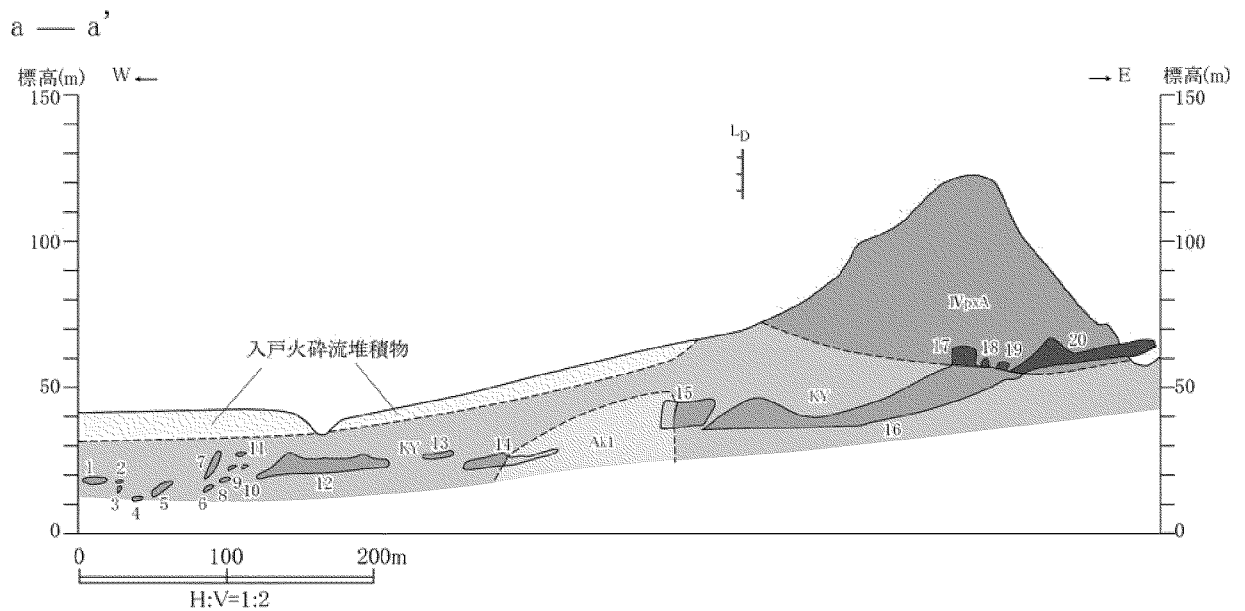
(注) 凡例は、第 1.2.7.3.2.75 図を参照。
 第 1.2.7.3.2.77 図 田海リニアメント周辺の地質断面図

NW ← SE

四万十層群中の断層。
断層面は湾曲し、幅15cm~20cm程度の角礫破碎部
が認められるものの、軟質な破碎部は認められない。

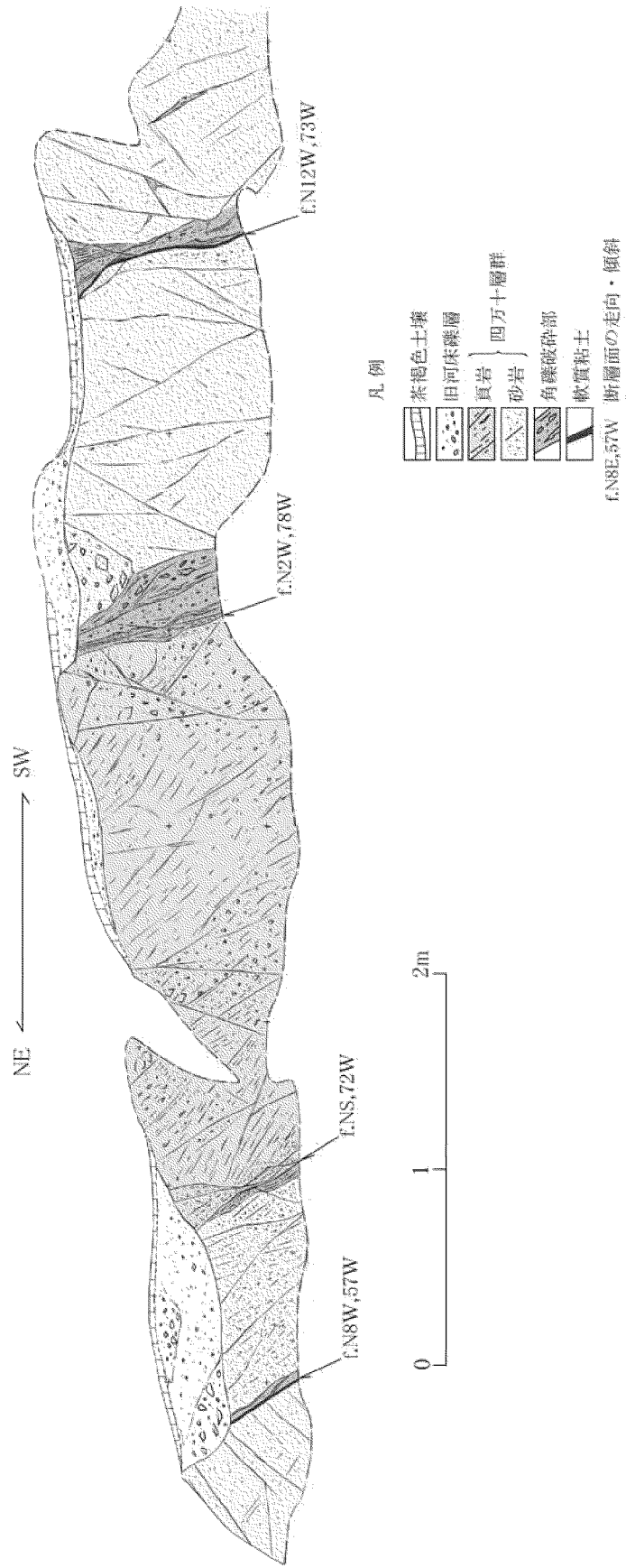


第 1.2.7.3.2.78 図 露頭スケッチ (Loc.Hw-1, 薩摩川内市東郷町藤川)

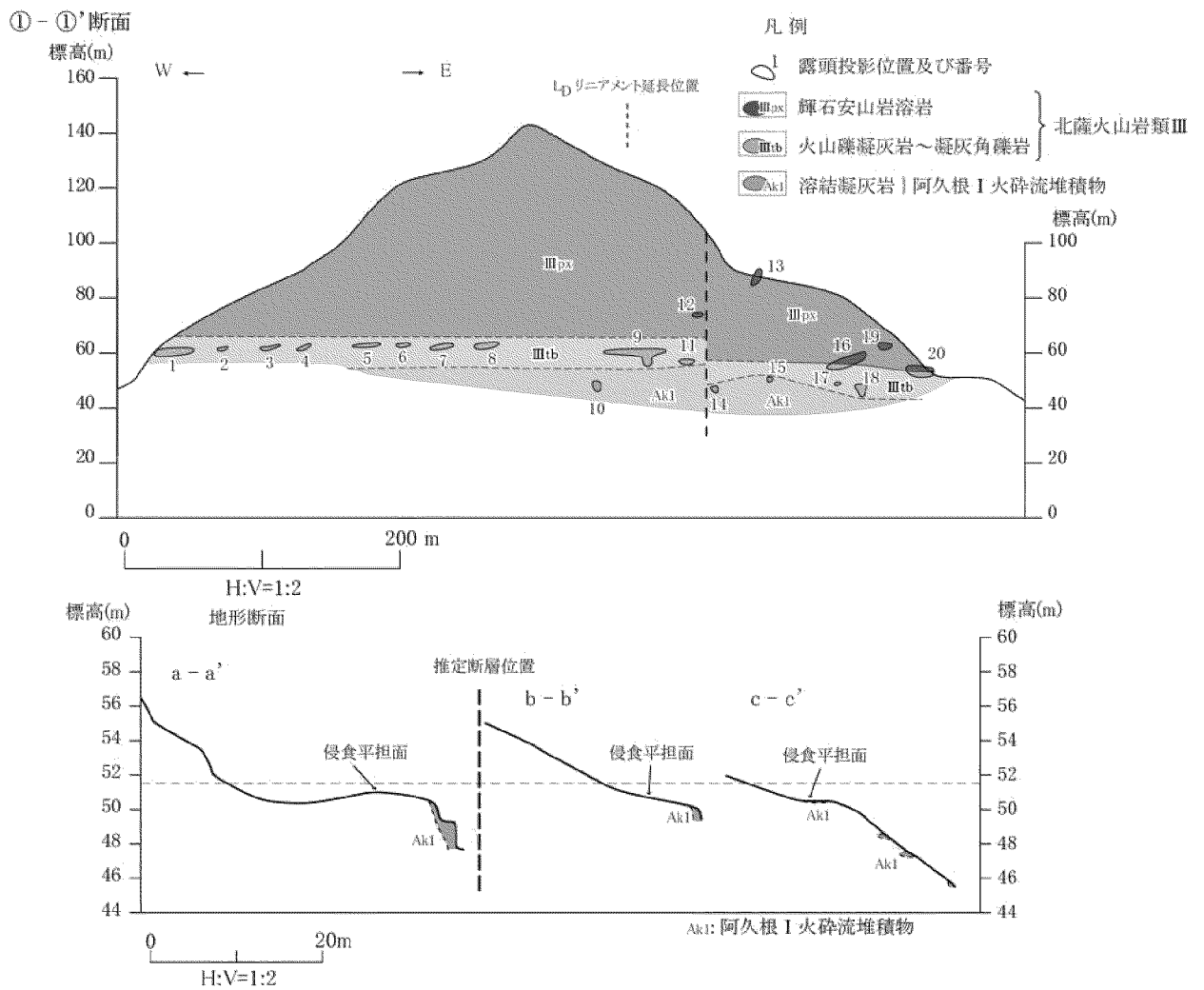
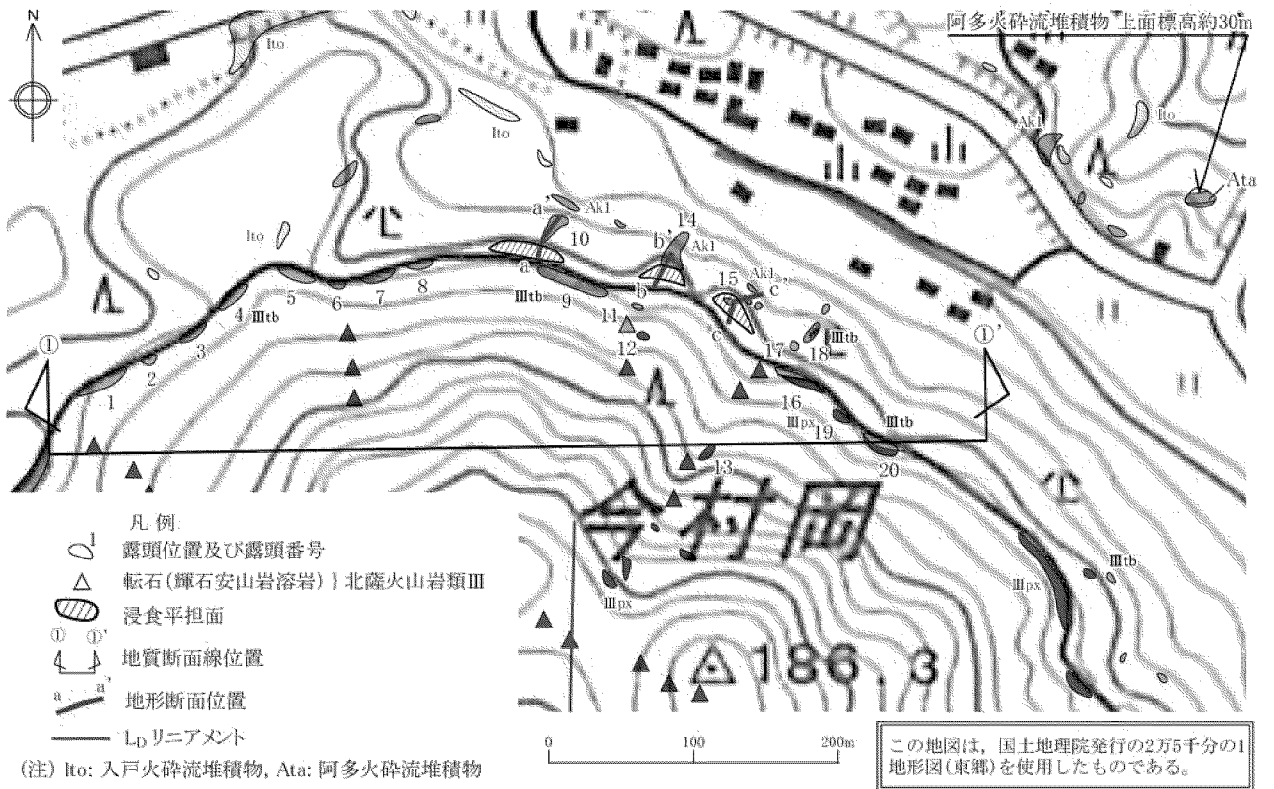


第 1.2.7.3.2.79 図 ルートマップ・地質断面図(薩摩川内市東郷町猿喰付近)

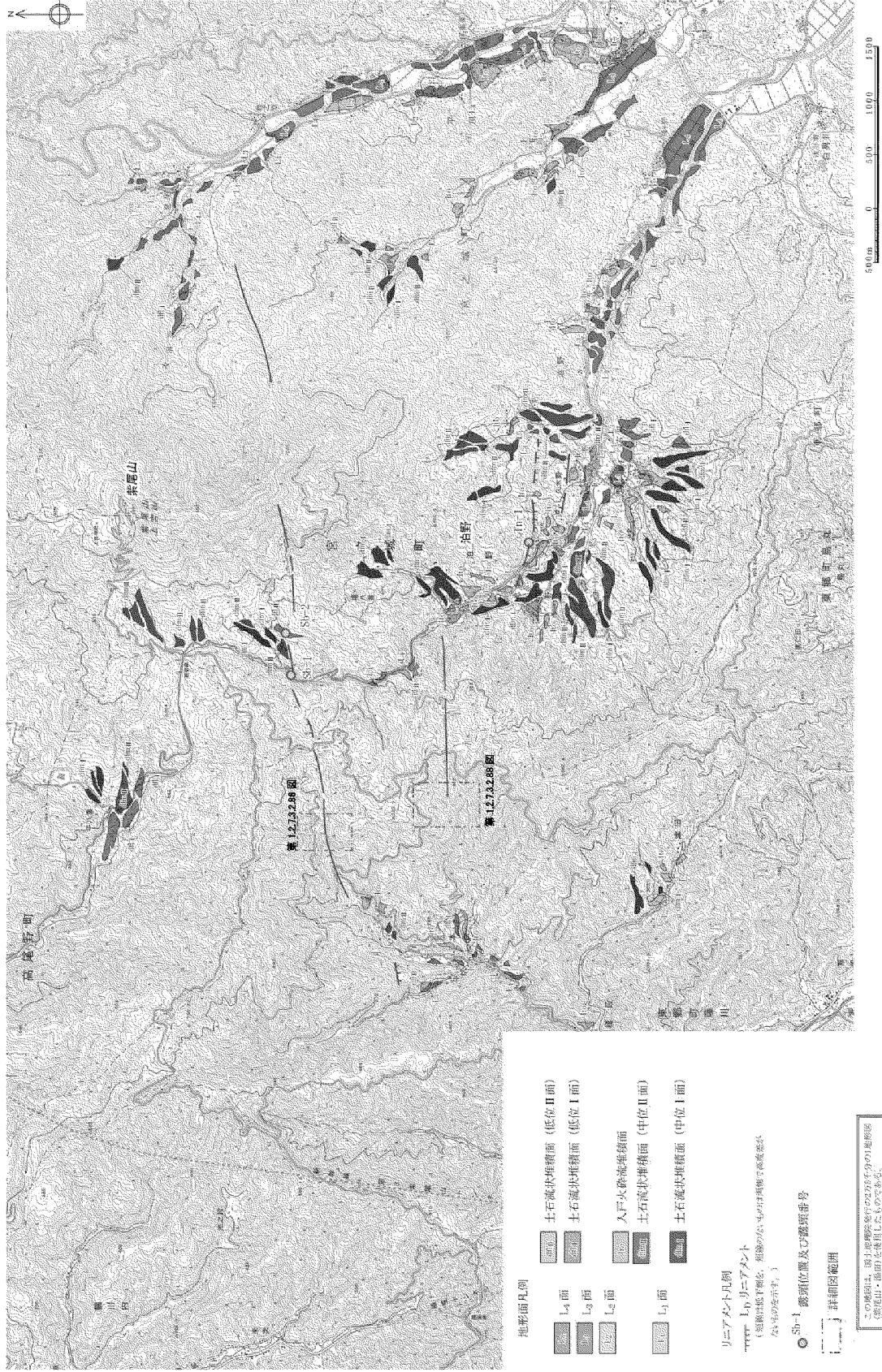
四万十層群中の数条の断層。
 いずれの断層面も湾曲し、一部で軟質な粘土が認められるも
 のの、破砕部は固結している。



第 1.2.7.3.2.80 図 露頭スケッチ (Loc.Tu-1, 薩摩川内市東郷町藤川南西)



第 1.2.7.3.2.81 図 ルートマップ及び地質・地形断面図(薩摩川内市今村岡付近)



地形図凡例

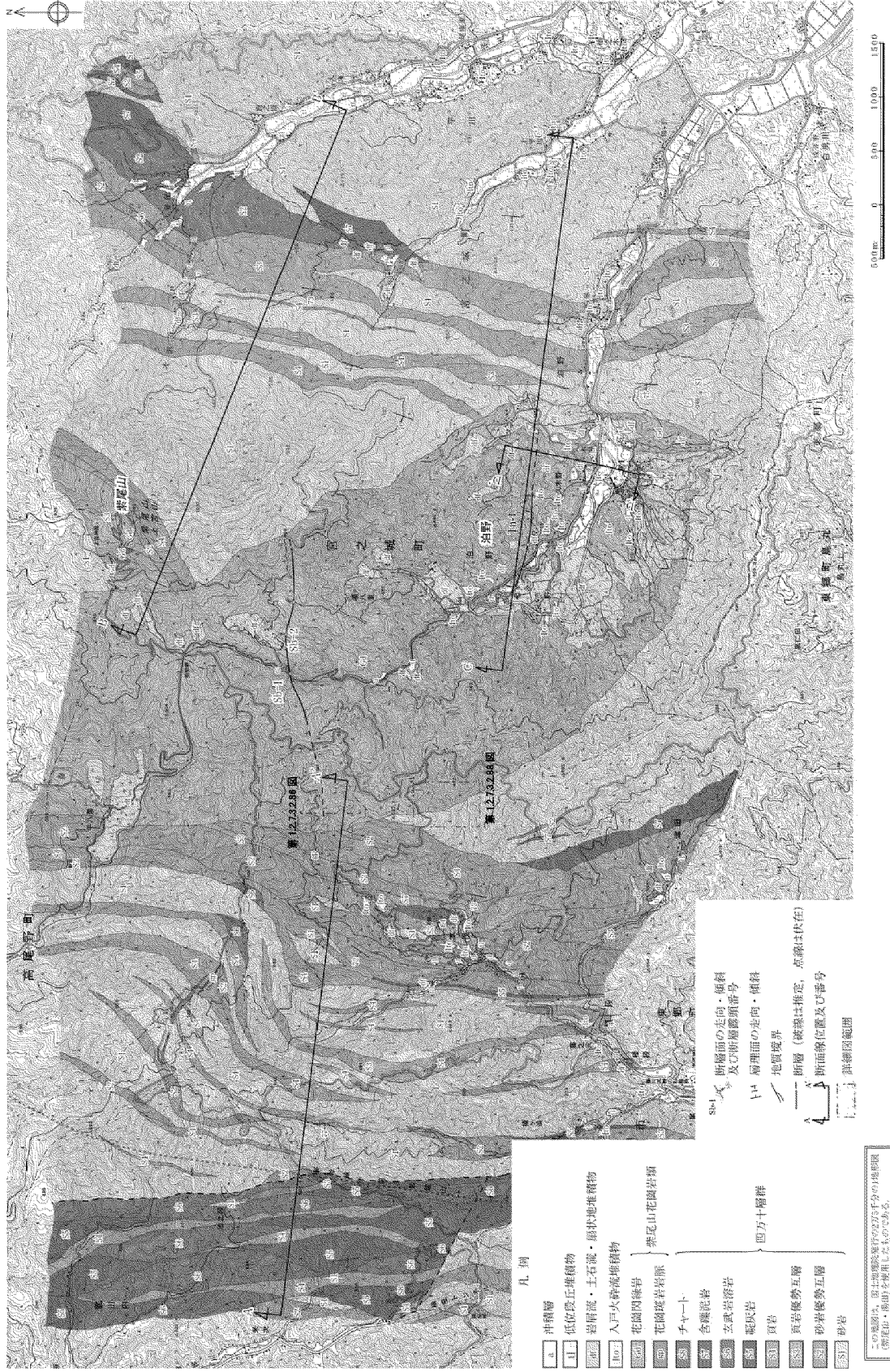
- L₄ 面
- L₃ 面
- L₂ 面
- L₁ 面
- 土石流状堆積面 (低位Ⅱ面)
- 土石流状堆積面 (低位Ⅰ面)
- 入平火砕流堆積面
- 土石流状堆積面 (中位Ⅱ面)
- 土石流状堆積面 (中位Ⅰ面)

リニアメント凡例

- L₁₀ リニアメント
(埋没・低埋没化、埋没がないものは埋没・低埋没化がないを示す)
- Sbr-1 線位置及シテップ番号
- 詳細図範囲

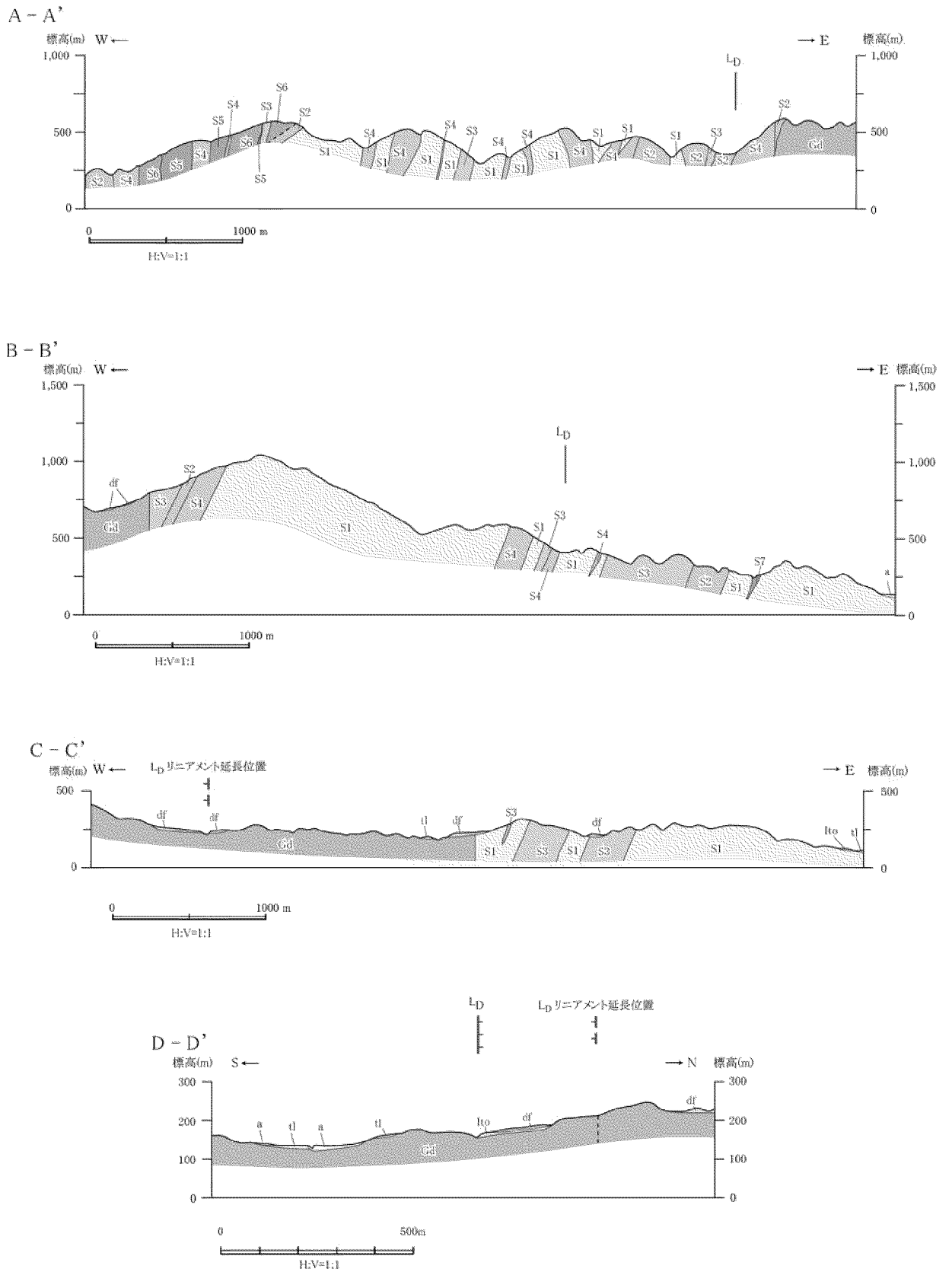
この図は、国土院の地形図(25,000分の1)を基に、(注記)に基づき、地質図として作成されたものである。

第 1.2.7.3.2.82 図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の空中写真判読図



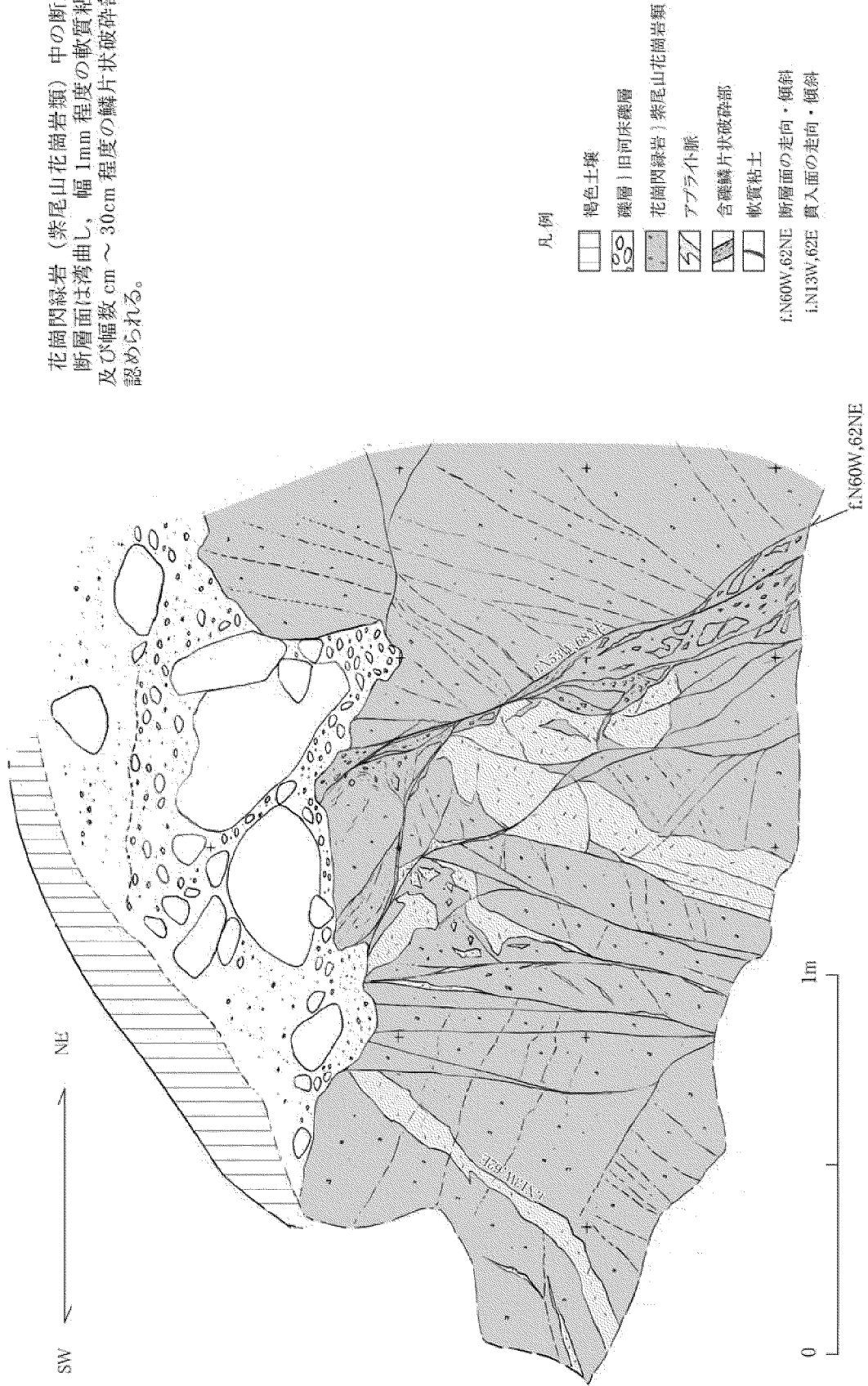
第 1.2.7.3.2.83 図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の地質図

この図例は、国土院地質院発行の2725千分の1地質図
(紫尾山・泊野)を転用したものである。

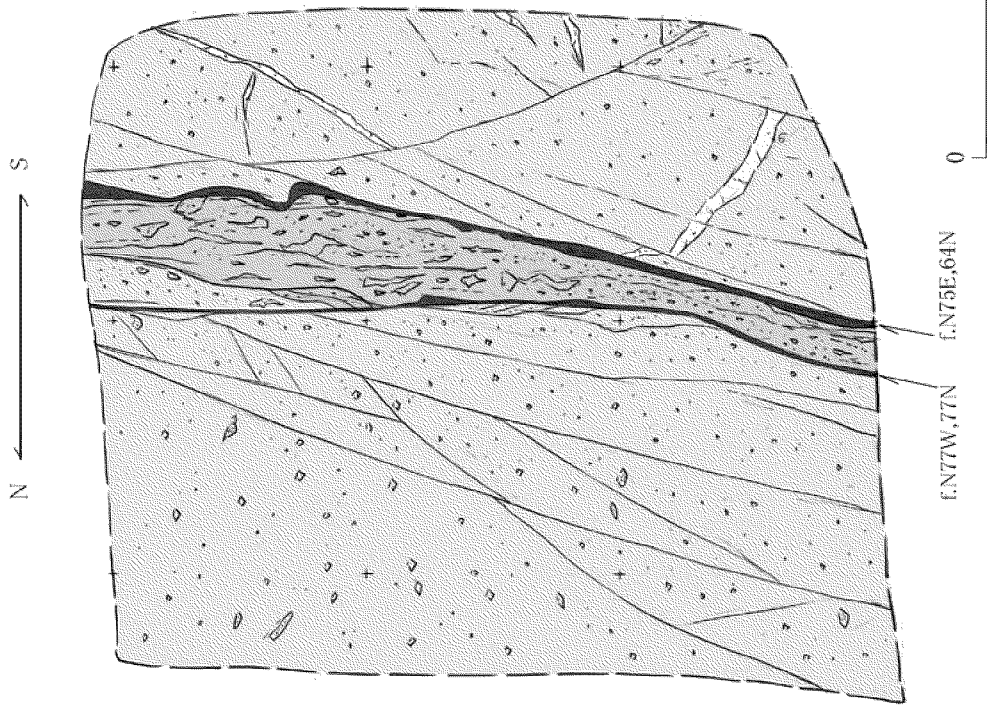


第 1.2.7.3.2.84 図 紫尾山南・泊野リニアメント周辺の地質断面図

花崗閃緑岩（紫尾山花崗岩類）中の断層。断層面は湾曲し、幅 1mm 程度の軟質粘土及び幅数 cm ～ 30cm 程度の鱗片状破砕部が認められる。

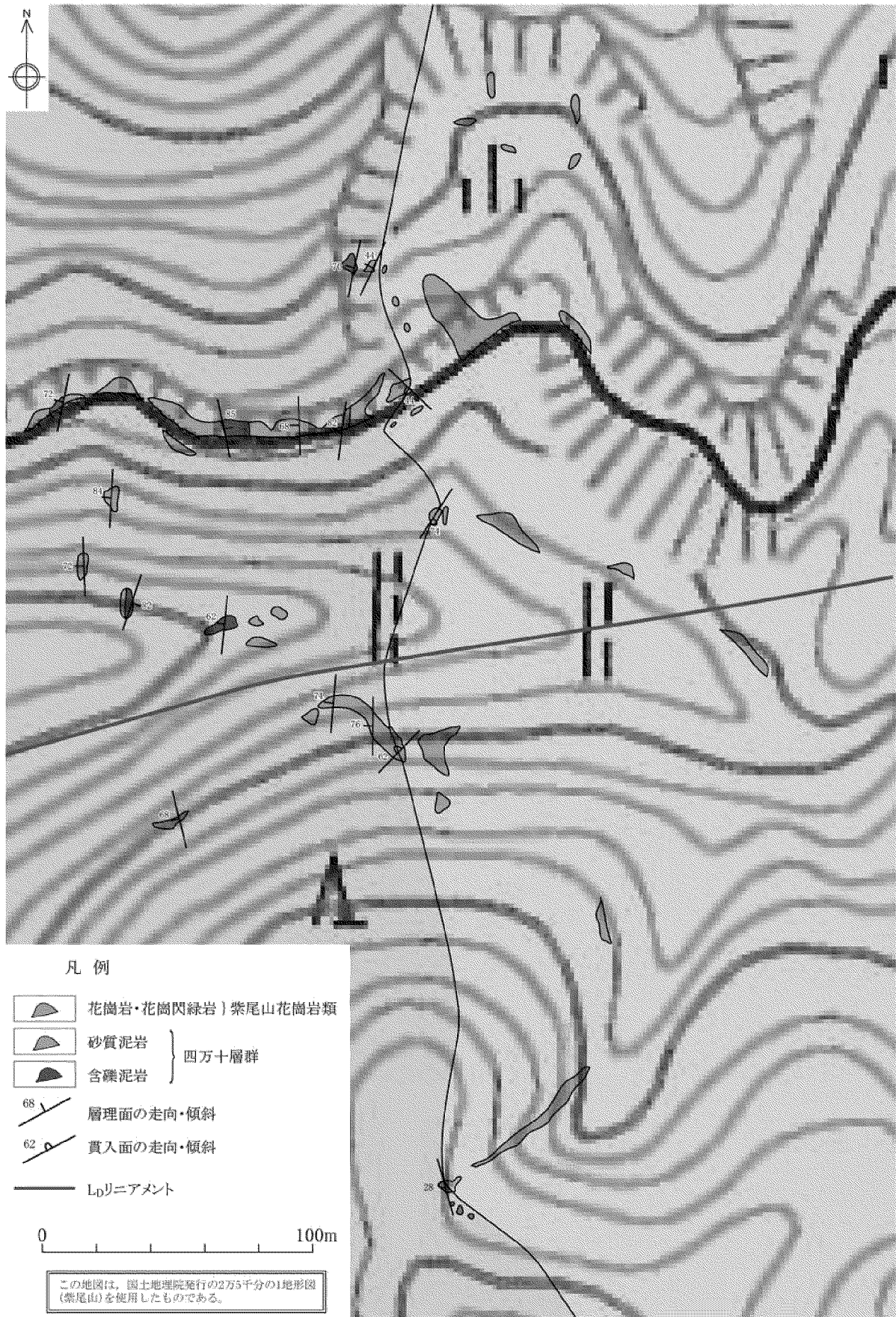


第 1.2.7.3.2.85 図 (1) 露頭スケッチ (Loc.Sb-1, 薩摩郡さつま町掘切峠南方)



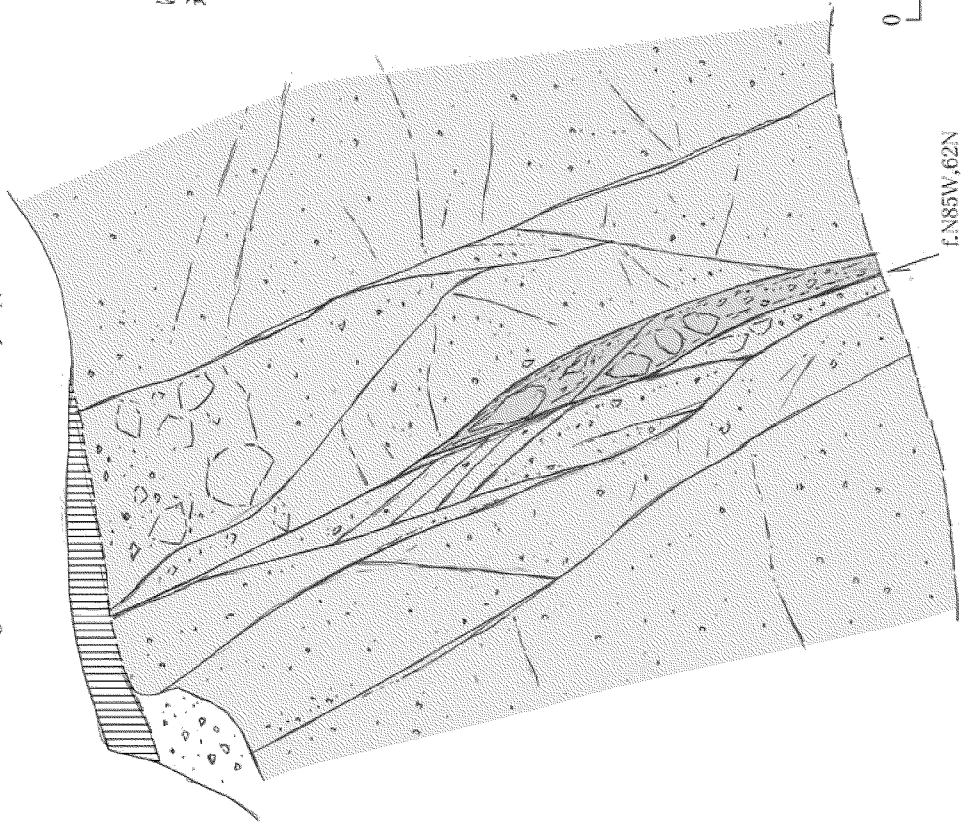
花崗閃緑岩(紫尾山花崗岩類)中の断層。
幅10cm～15cmの粘土質角礫破砕部を挟んでその両側に断層面が認められる。いずれの断層面も湾曲あるいは凹凸を示すが、幅2mm～数mm程度の軟質粘土が認められる。

第 1.2.7.3.2.85 図(2) 露頭スケッチ (Loc.Sb-2, 薩摩郡さつま町掘切峠南方)








第 1.2.7.3.2.86 図 ルートマップ(薩摩川内市東郷町本俣北東付近)

S ← N



凡 例

-  茶褐色土壌
-  細礫層) 麻雄堆積物
-  花崗閃緑岩) 紫尾山花崗岩類
-  角礫破砕部
-  断層面の走向・傾斜

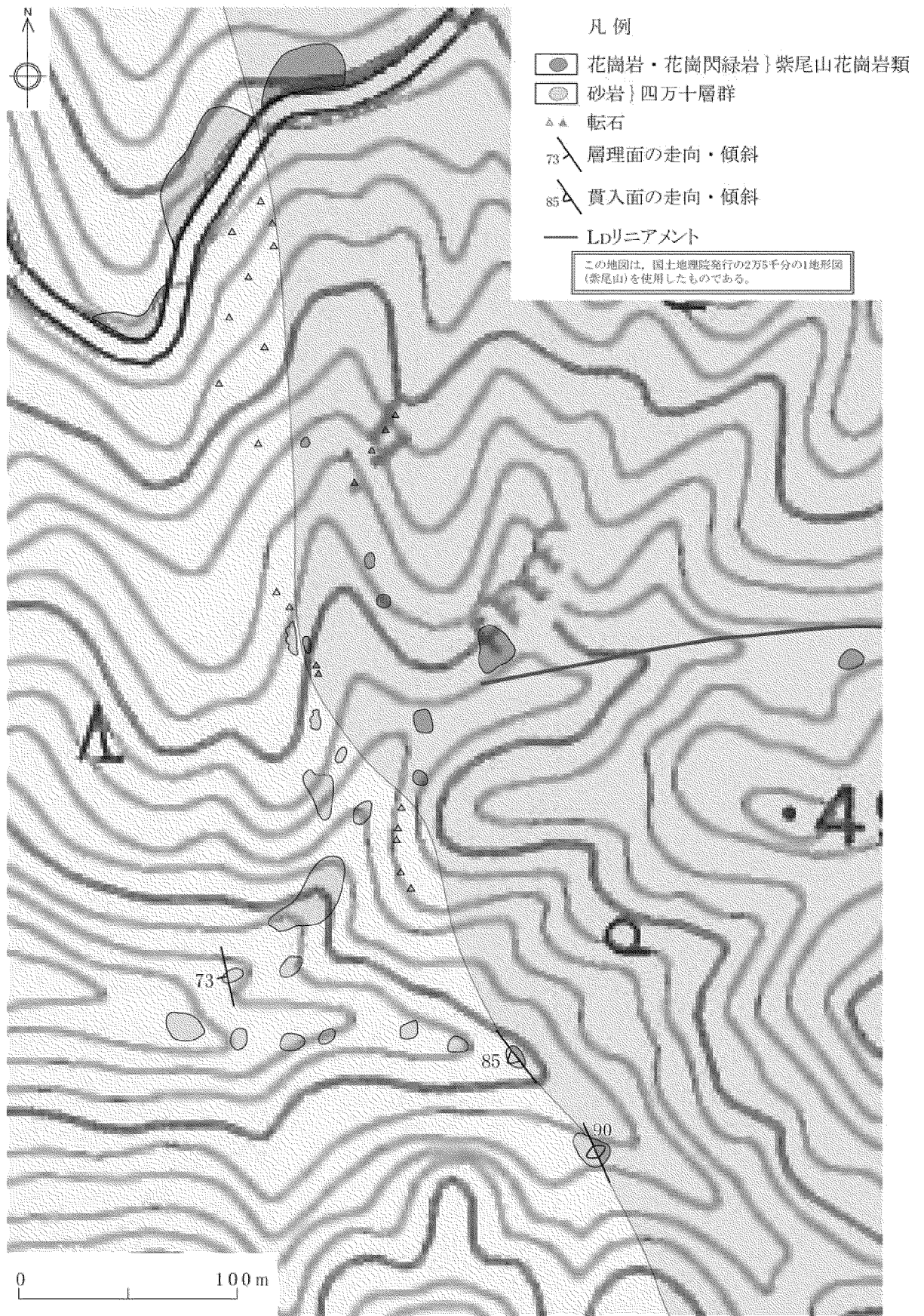
f.N85W,62N

0 1 2m

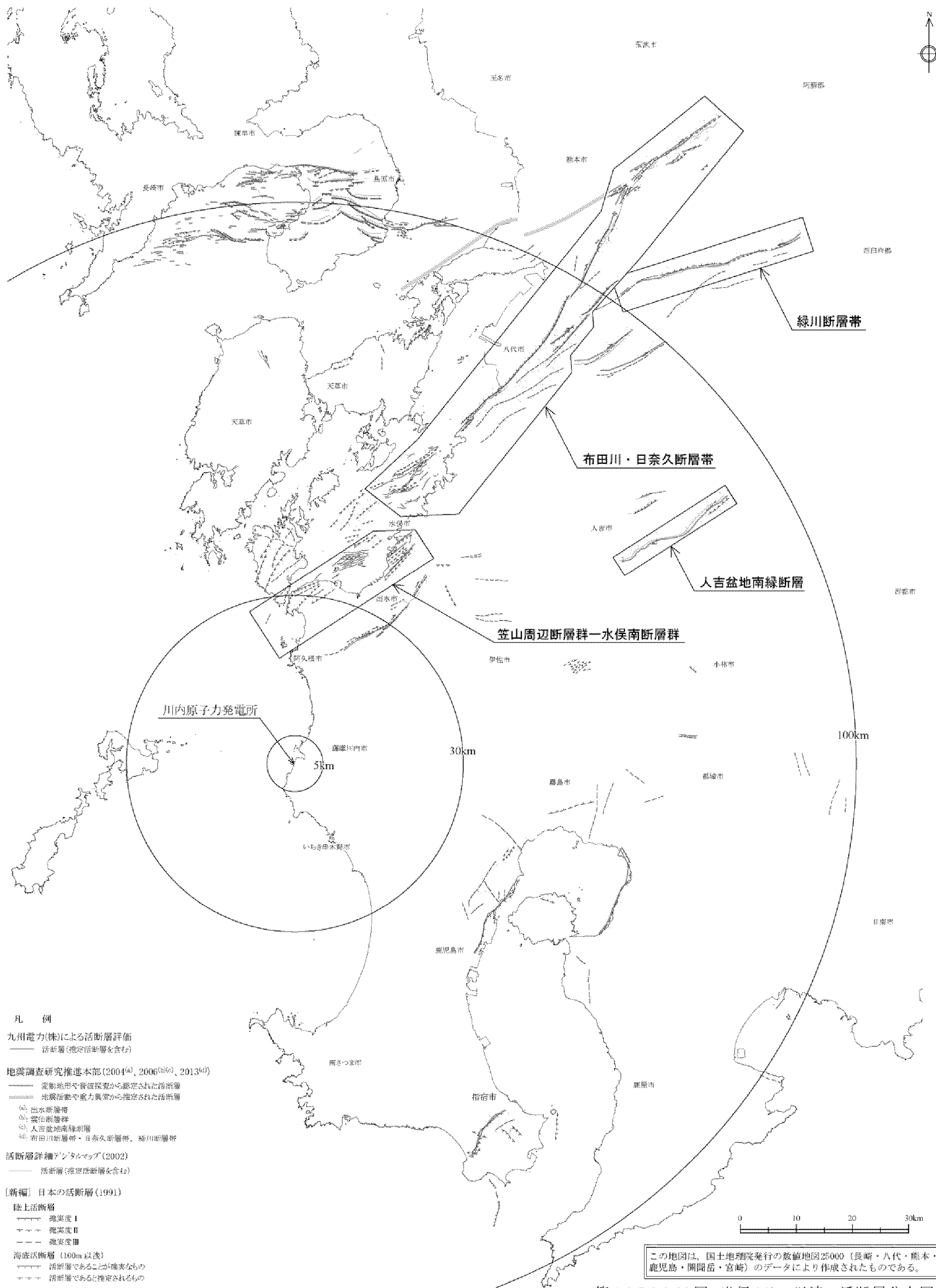
f.N85W,62N

花崗閃緑岩(紫尾山花崗岩類)中の断層。
断層面は湾曲し、一部で幅5cm~10cm程度の角礫破砕部が楔状に分布するもの、いずれにも軟質な破砕部は認められず、断層面近傍の花崗閃緑岩は節理が多いものの、固結している。

第 1.2.7.3.2.87 図 露头スケッチ (Loc.Tn-1, 薩摩郡さつま町南方)



第 1.2.7.3.2.88 図 ルートマップ(薩摩川内市東郷町本俣東方付近)



凡例

九州電力(株)による活断層評価
 —— 活断層(推定活断層を含む)

地震調査研究推進本部(2004^(a), 2006^{(b)(c)}, 2013^(d))

- 変動地形や音波探査から認定された活断層
- 地震活動や重力異常から推定された活断層
- ① 出水断層帯
- ② 雲仙断層群
- ③ 人吉盆地南縁断層
- ④ 布田川断層帯・日奈久断層帯、緑川断層帯

活断層詳細デジタルマップ(2002)

—— 活断層(推定活断層を含む)

【新編】日本の活断層(1991)

陸上活断層

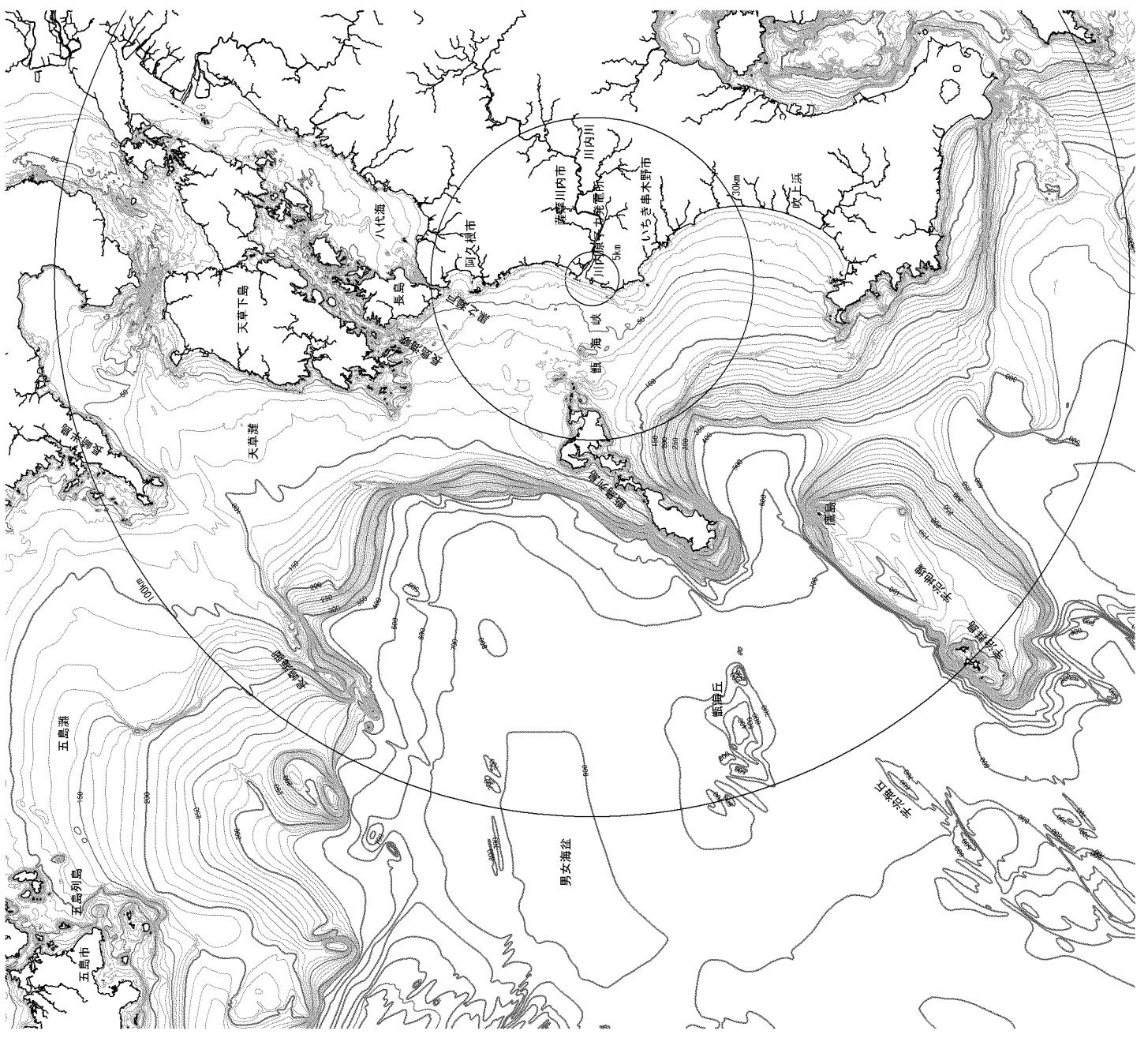
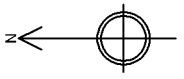
- 確実度Ⅰ
- 確実度Ⅱ
- 確実度Ⅲ

海底活断層(100m以浅)

- 活断層であることが確実なもの
- 活断層であると推定されるもの

この地図は、国土地理院発行の数値地図25000(長崎・八代・熊本・鹿児島・開聞岳・宮崎)のデータにより作成されたものである。

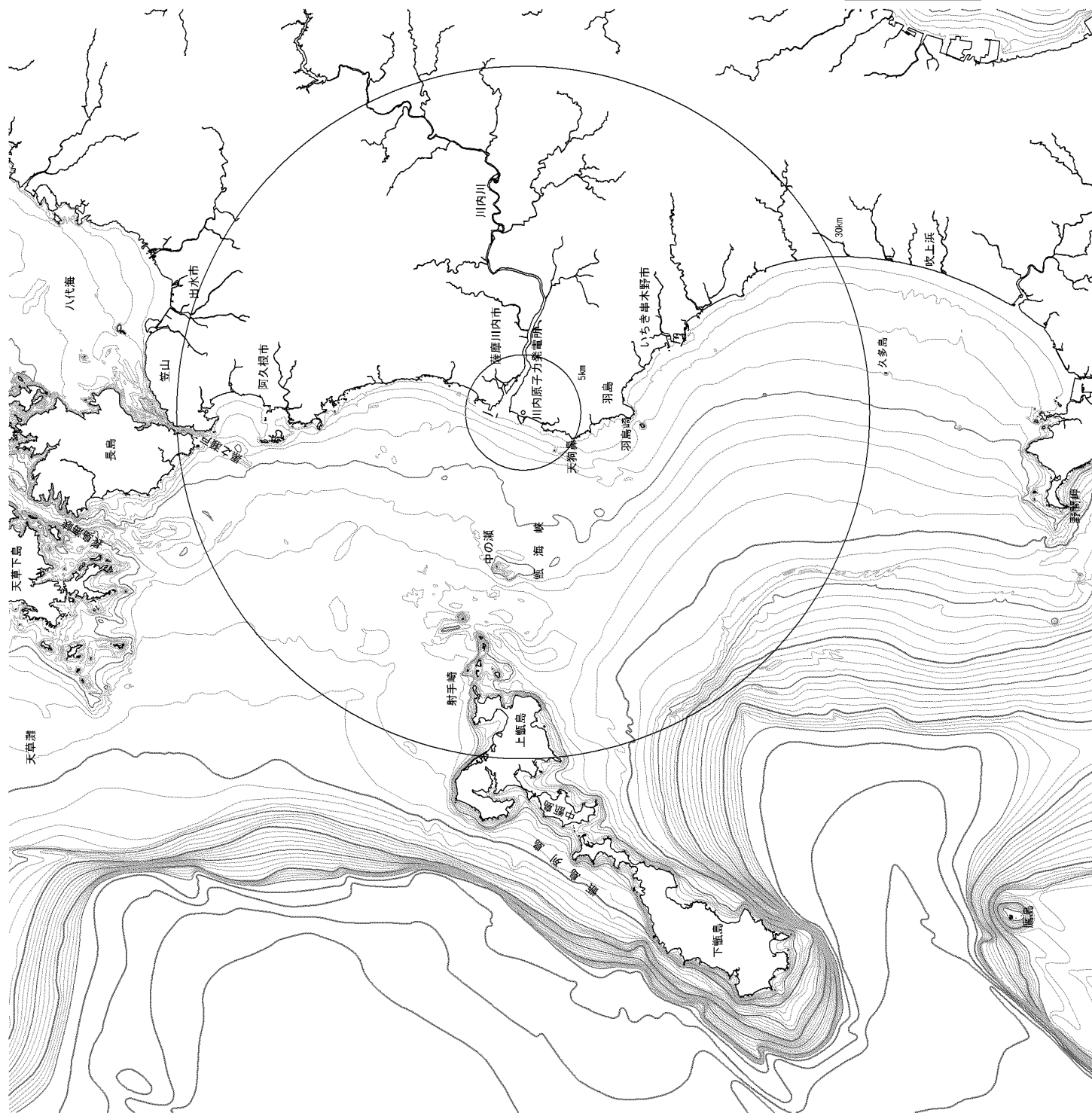
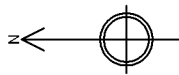
第 1.2.7.3.2.89 図 半径 30km 以遠の活断層分布図



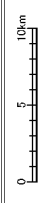
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間
 データ基盤(長崎)他を編集したものである。
 海域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1沿岸
 海域地形図(水俣)他・海上保安庁発行の5万分の1
 沿岸の海の基本図(串木野)他・20万分の1大陸棚の
 海の基本図(天草灘)他を編集したものである。



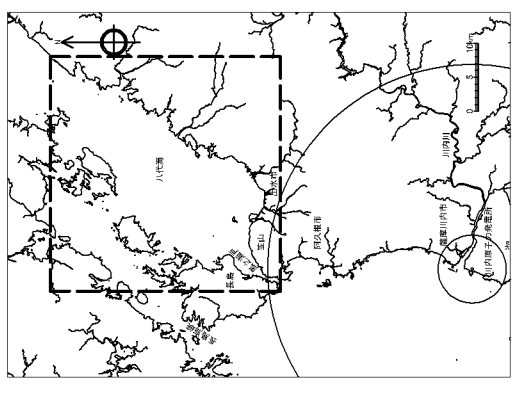
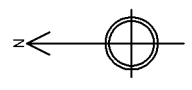
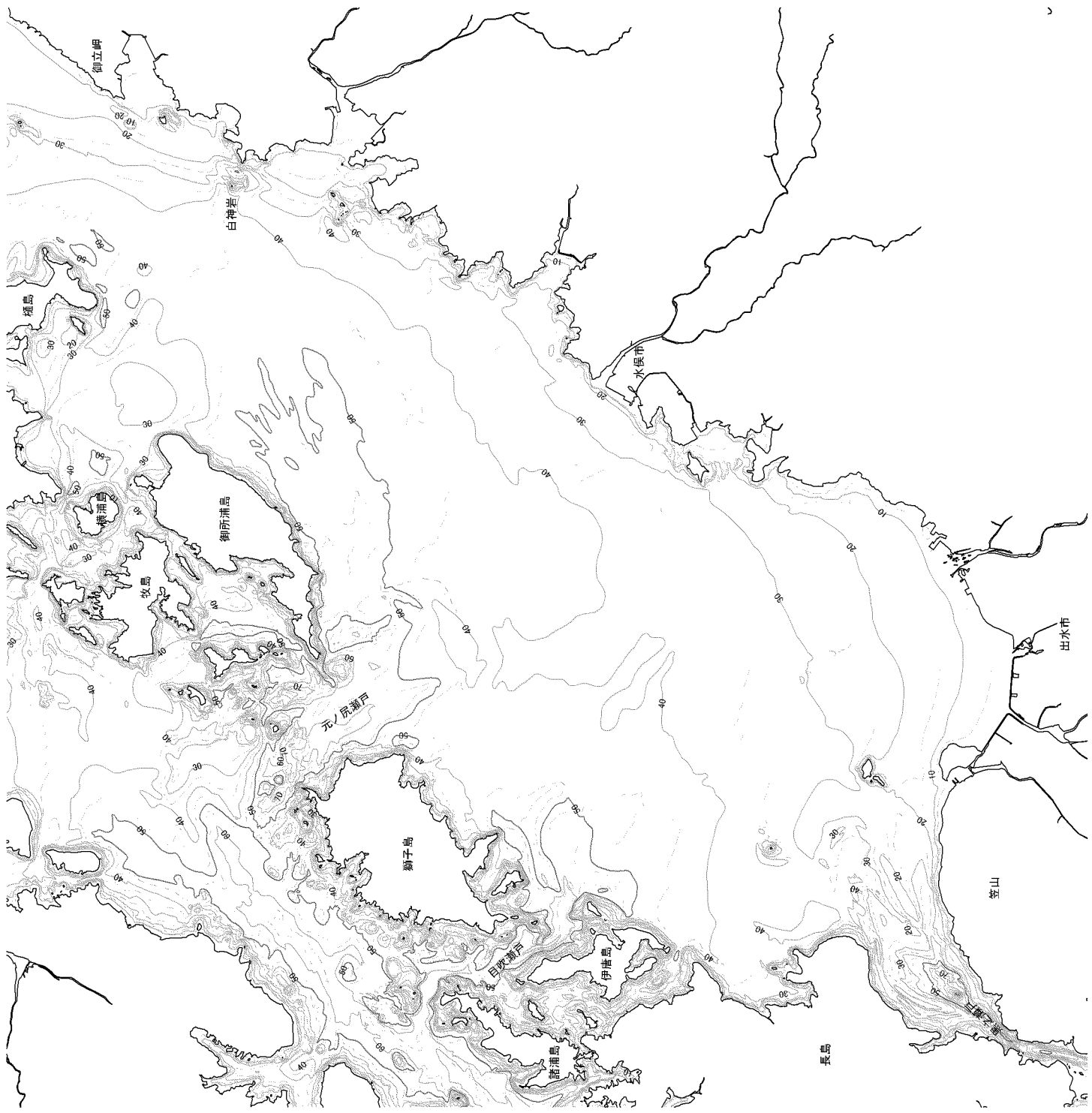
第1.2.7.3.2.90図 敷地周辺海域の海底地形図



水深線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿耳島)を編集したものである。海域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水俣)他・海上保安庁発行の5万分の1沿岸の海の基本図(串本野)他・20万分の1大陸棚の海の基本図(天草灘)他を編集したものである。



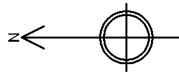
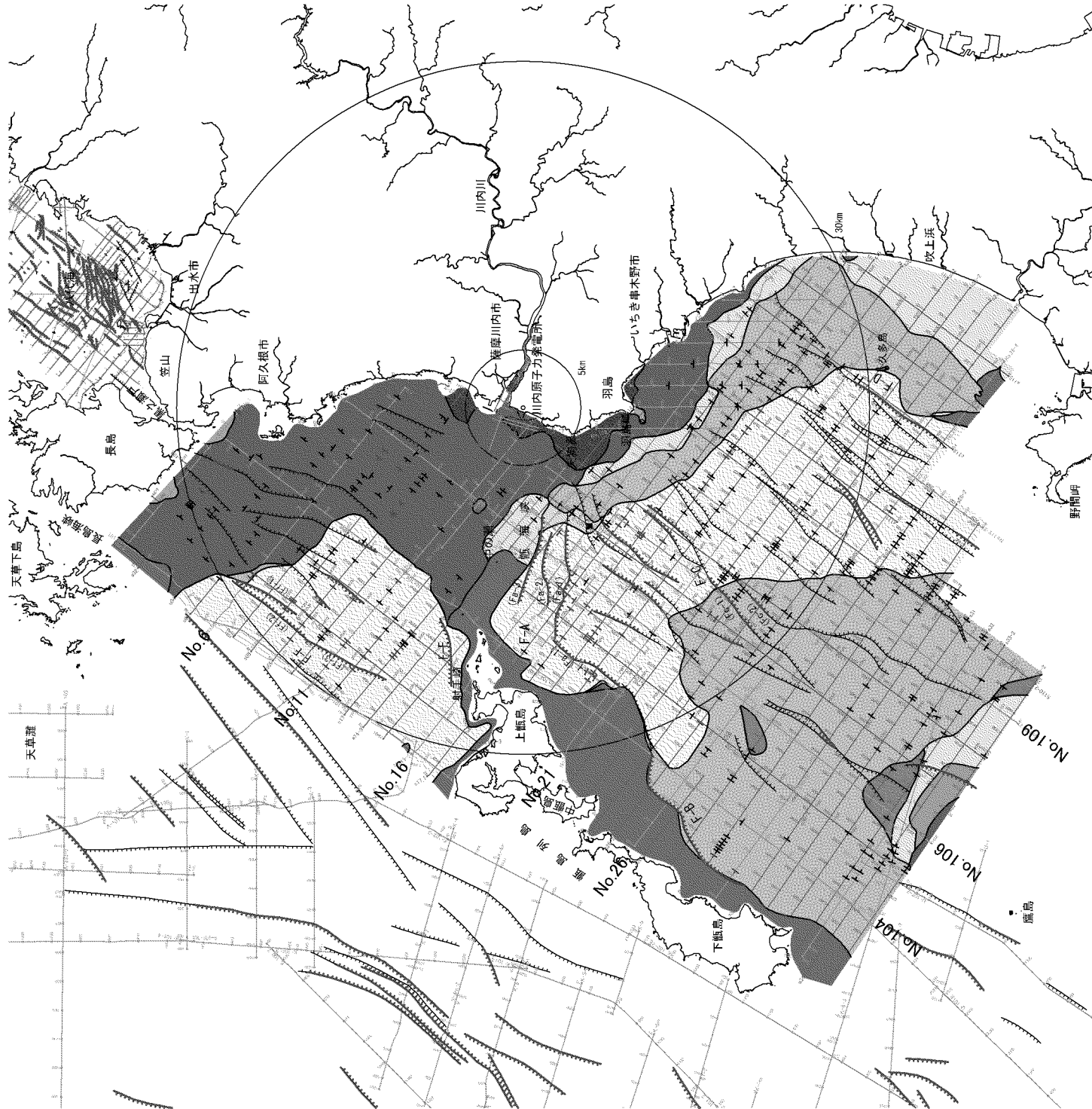
第1-2.7.3.2.91図 敷地前面海域の海底地形図



水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。海域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1沿岸海域地形図(水原)他・海上保安庁発行の5万分の1沿岸の海の基本図(水深)他を編集したものである。



第1.2.7.3.2.92図 八代海の海底地形図



凡例

- A 後期更新世～完新世
- B1-1 後期更新世
- B1-2 後期更新世
- B1-3 中期～後期更新世
- B2-1 中期更新世
- B2-3 中期更新世
- B3 前期更新世
- C 前期更新世
- D 中期鮮新世～前期更新世
- V 後期中新世～前期鮮新世
- 砂 後期中新世～前期更新世
- E ジュラ紀～前中新世

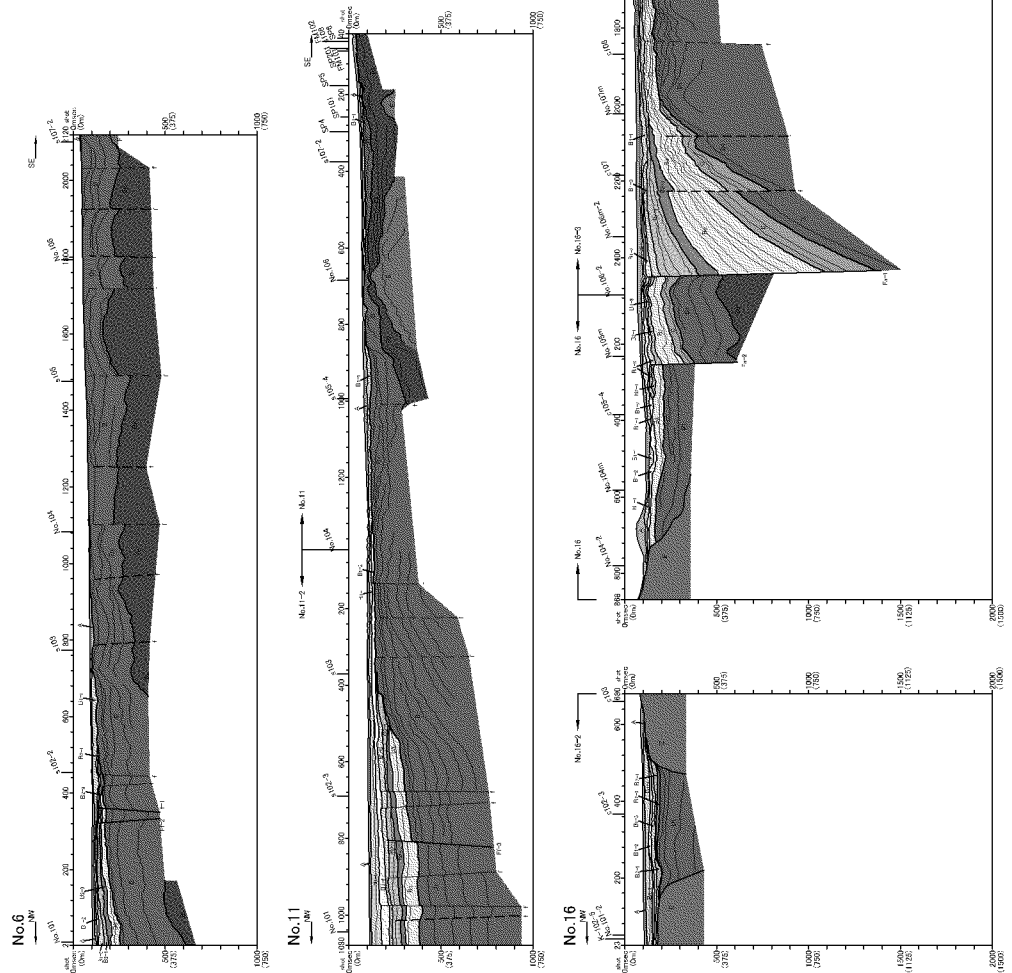
第四紀
新第三紀
中生代～新第三紀

- 地層境界
- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャネル音波探査測線 (G1ガン、ウォーターガン)
- 九州電力㈱によるシングルチャネル音波探査測線 (ウォーターガン、スバーガ)
- 海上ボーリング地点

水深線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。



第1.2.7.3.2.93図 敷地前面海域の海底地形図
(A附及びB1-1附を除く。注:海底地形図)

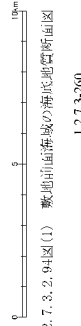
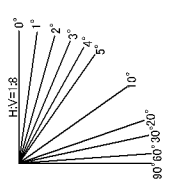


地質階序

A	後白垩世～完新世	第四紀
B	後漸新世	
C	白垩	
D	中新世～古近世	
E	中新世	
F	中新世	
G	中新世	
H	中新世～前漸新世	
I	中新世	
J	中新世	
K	中新世	新第三紀
L	中新世	
M	中新世	中生代～新第三紀
N	中新世	

凡例

- 樹膠浸透層
- 葉綠・藻類存在のある層
- 腐蝕・溶蝕性のある伏在層
- 葉綠・藻類存在のない層
- 腐蝕・溶蝕性のない伏在層



第1.2.7.3.2.94区(1) 駿河前川海成沖海成地質断面図(その1)

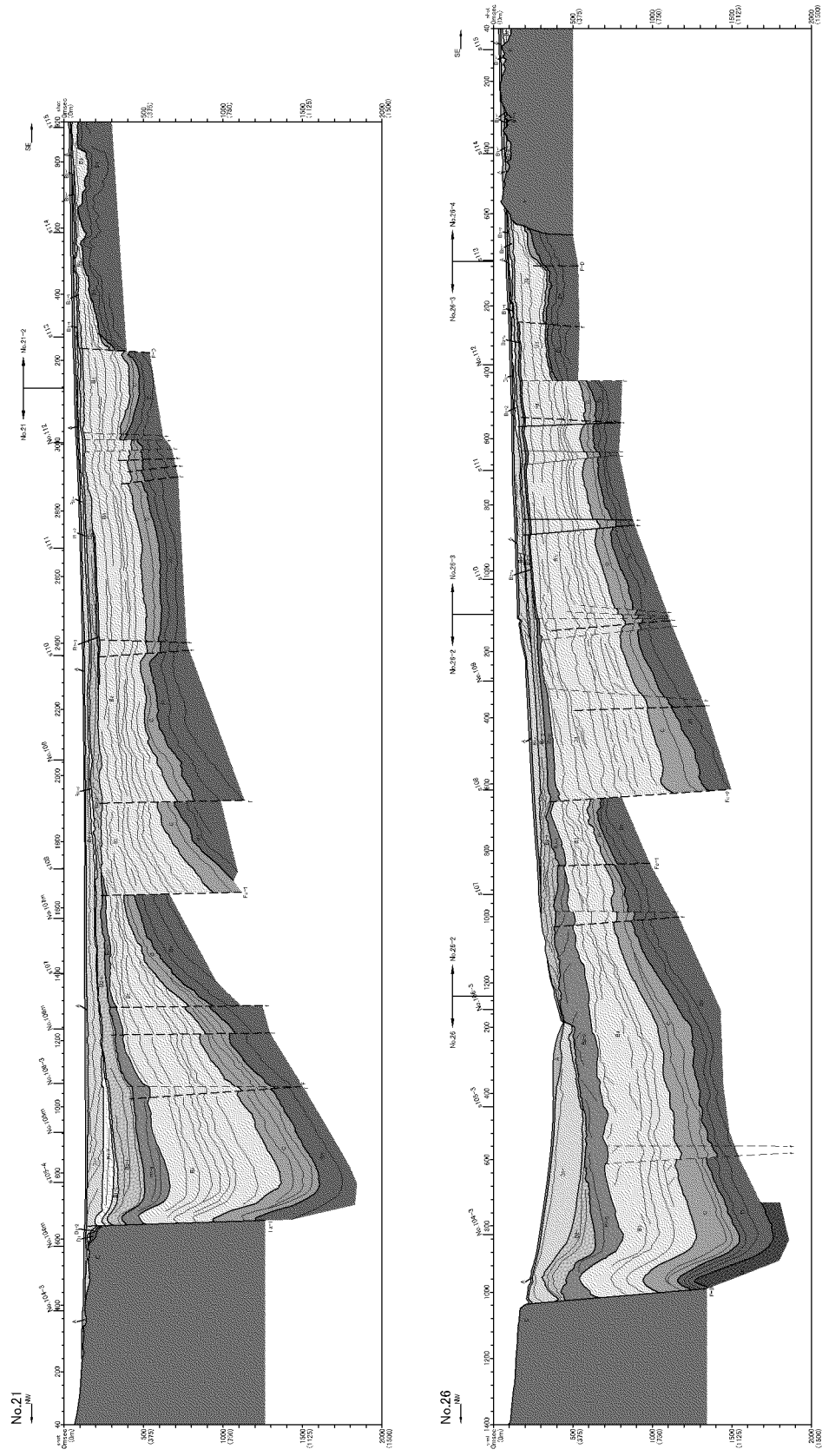
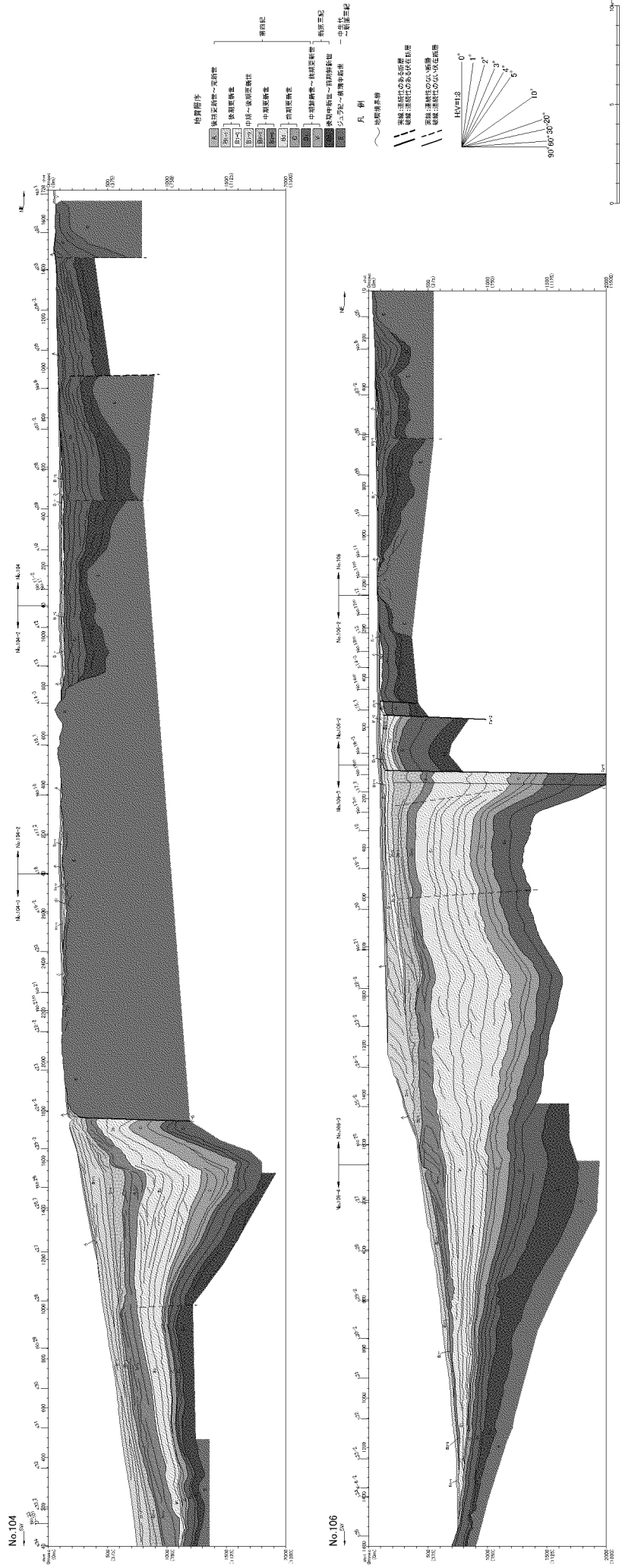
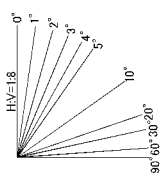
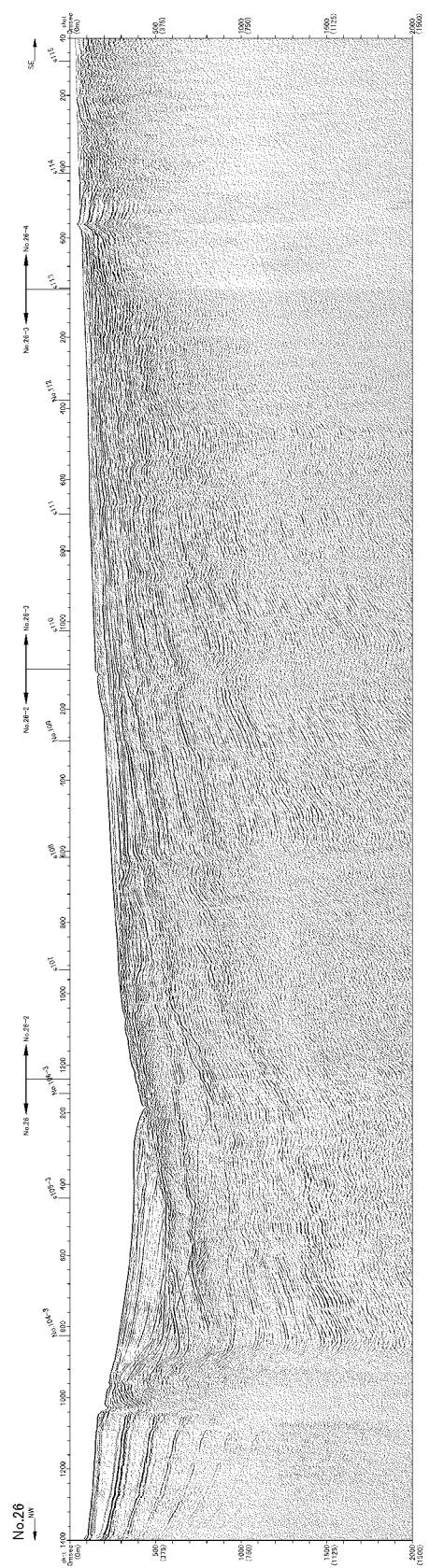
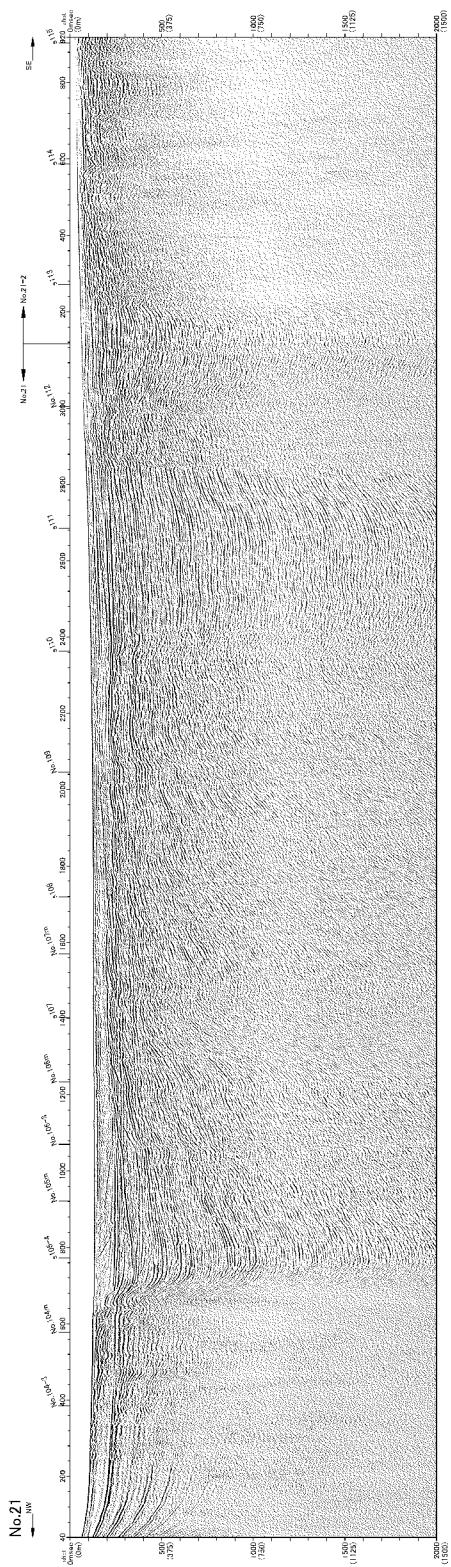


図1.2.7.3.2.94図(2) 東山面海城の海成地層断面図(その2)

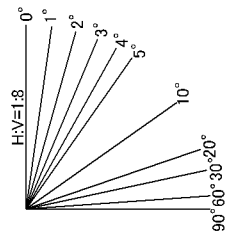
1.2.7.3-261



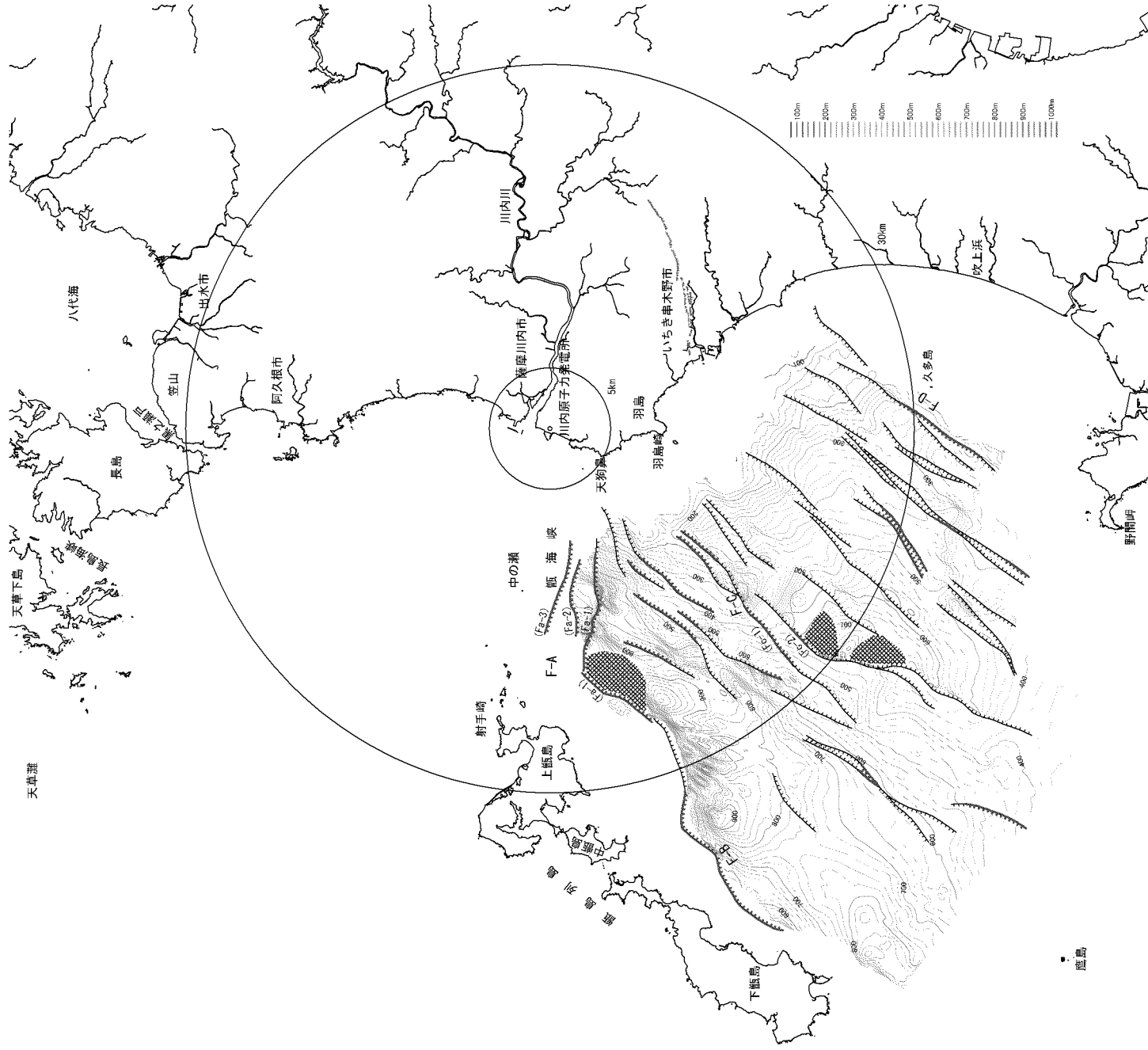
第1.2.7.3.2.94図(3) 駿河湾前縁部の海底地質断面図(その3)
1.2.7.3-342



第1.2.7.3.2.95頁(2) 敷地前面海成の反射断面図 (その2)
1.2.7.3-265



第1.2.7.3.2.95図(4) 敷地前面海域の反射断面図 (その4)



凡例

- A 後期更新世～完新世
- B1-1 後期更新世
- B1-2 後期更新世
- B1-3 中期～後期更新世
- B2-1 中期更新世
- B2-3 中期更新世
- B3 前期更新世
- C 前期更新世
- D1 中期鮮新世～前期更新世
- V 前期更新世
- D2 後期中新世～前期鮮新世
- E ジュラ紀～前期中新世

第四紀
新第三紀
— 中生代～新第三紀

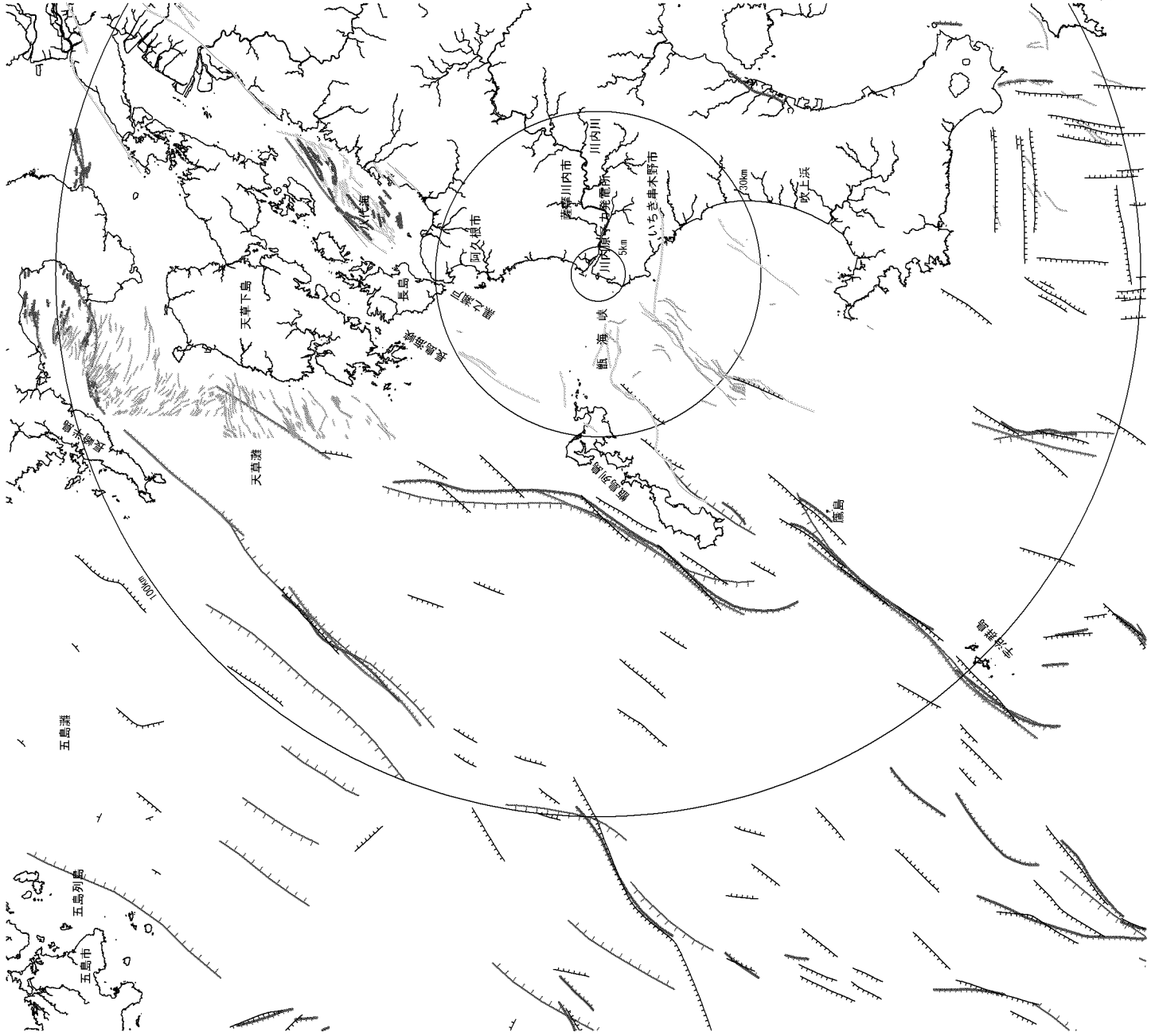
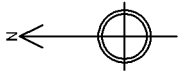
- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層

堆積層が厚いため、普波がC層上面まで到達していない。
C層上端は海面下1000m程度以上と推定される。

水準線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿儿岛)を編集したものである。



第1.2.7.3.2.96図 敷地前面海域のC層上面等深線図



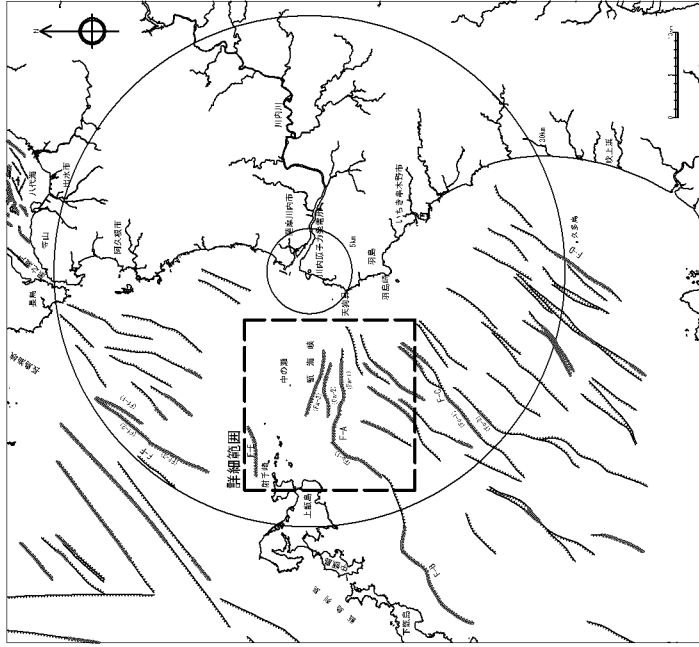
凡 例

- 海上保安庁 大隈測の測の基本図(1/20万)海岸線集積図
- 海上保安庁 沿岸の測の基本図(1/5万)海陸地質集積図
- 活断層研究会編「(新編)日本の活断層」
- 伊山ほか「日本周辺海響中継系実証試験の構造系図」
- 地質調査所編「日本地震アトラス(第2版)」
- 地質調査所編「九州地域の活断層の震害予測(第1版)」

水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データベース(長崎)を編集したものである。

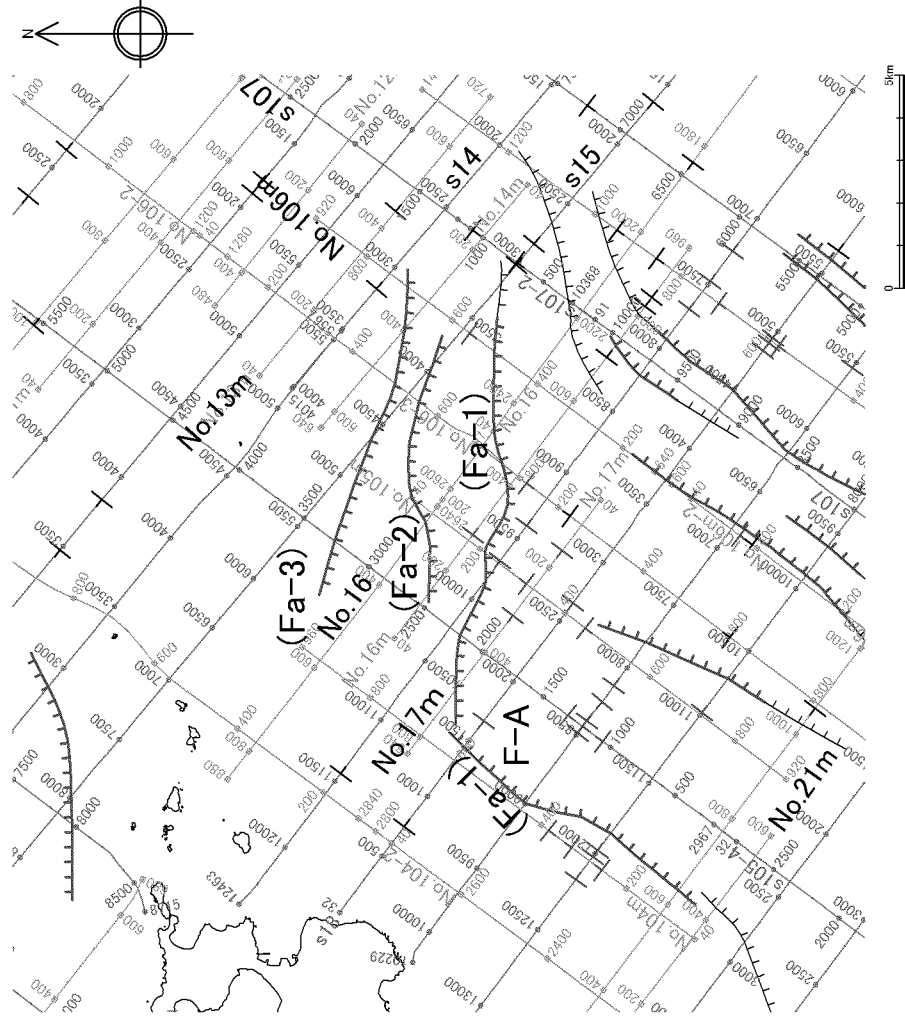


第1.2.7.3.2.97図 文献による敷地周辺海域の断層分布図
1.2.7.3-269

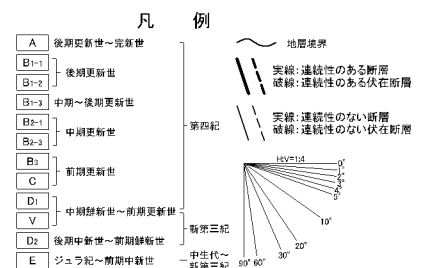
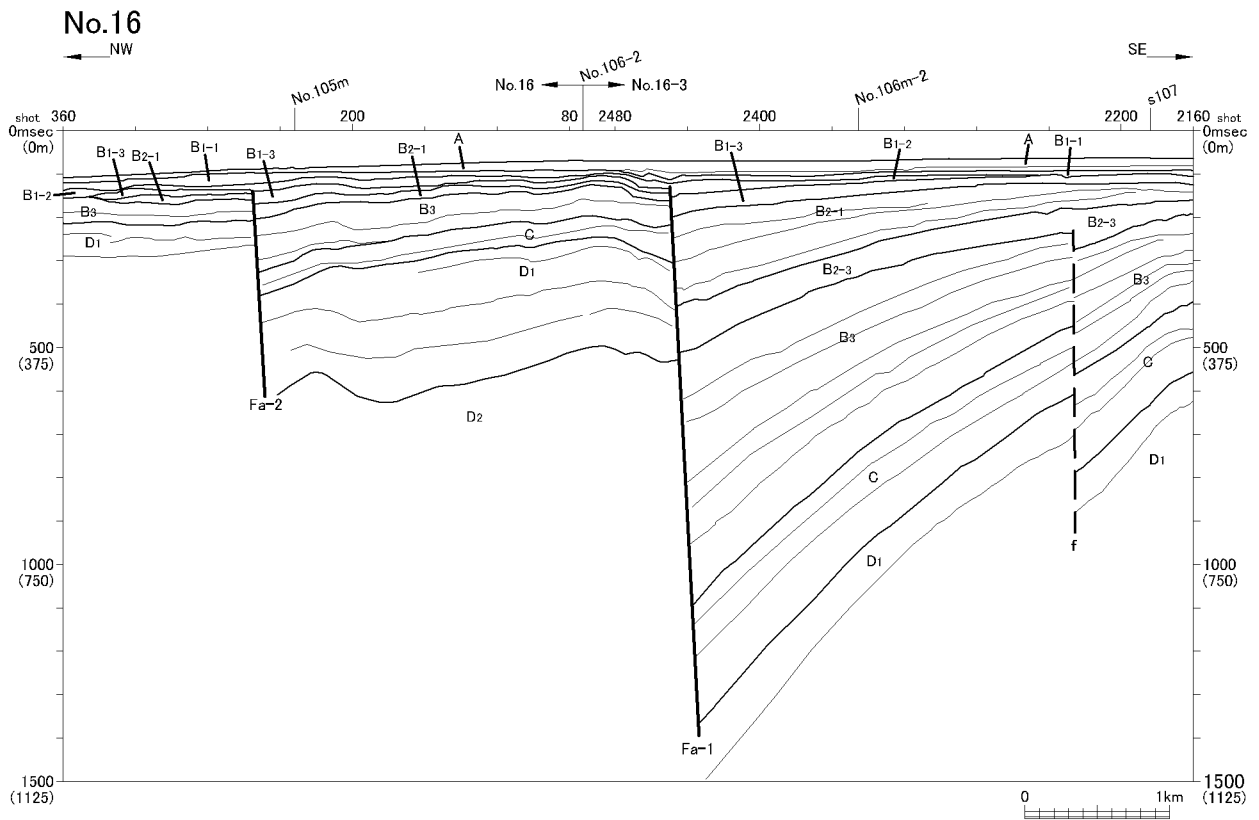
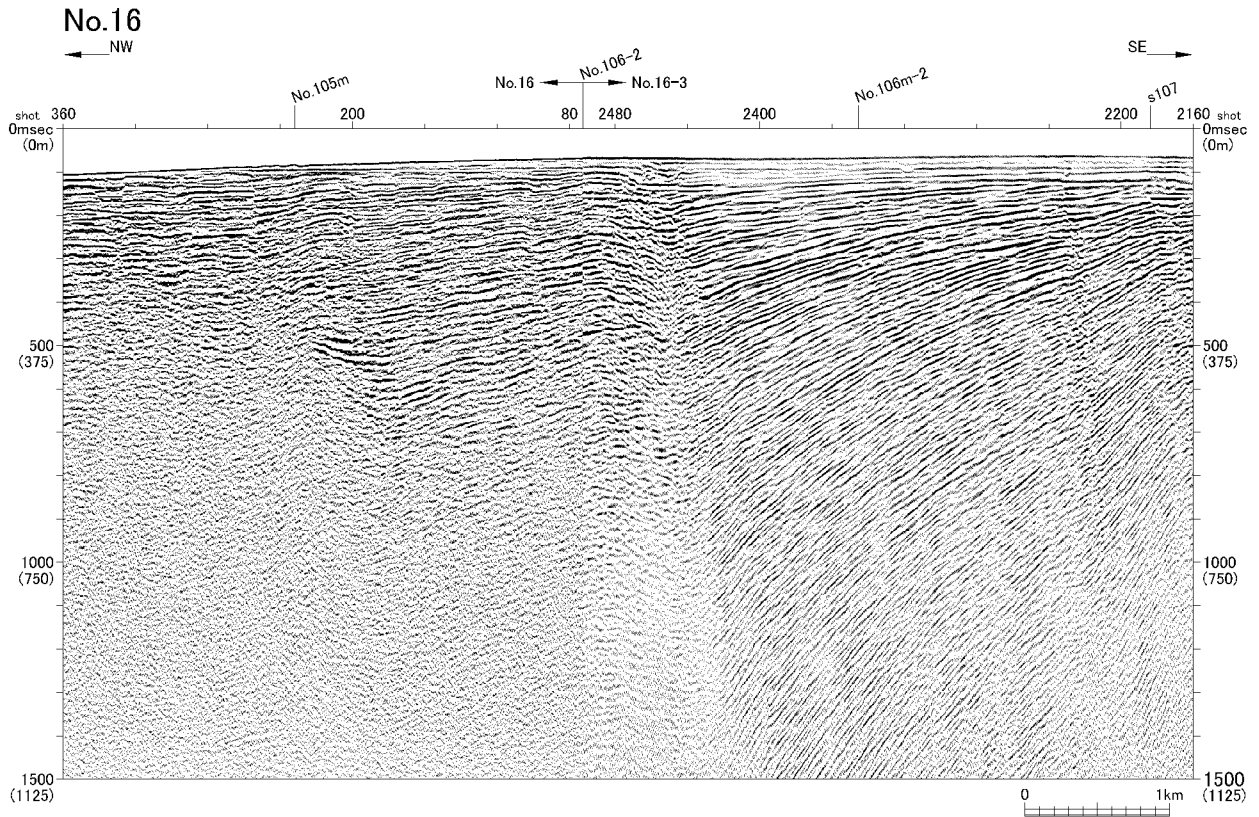


凡 例

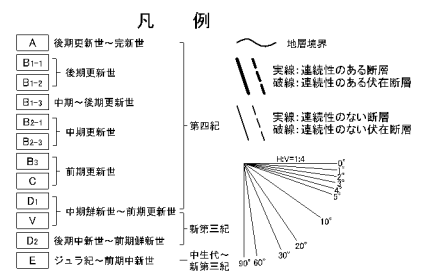
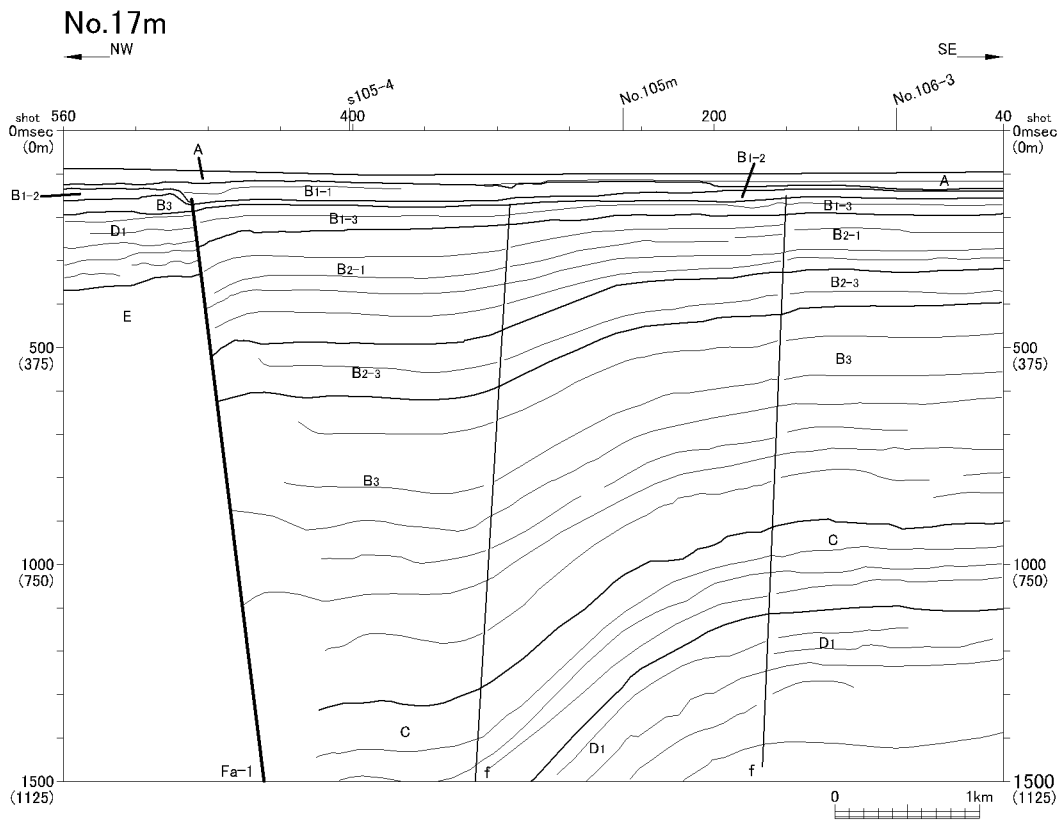
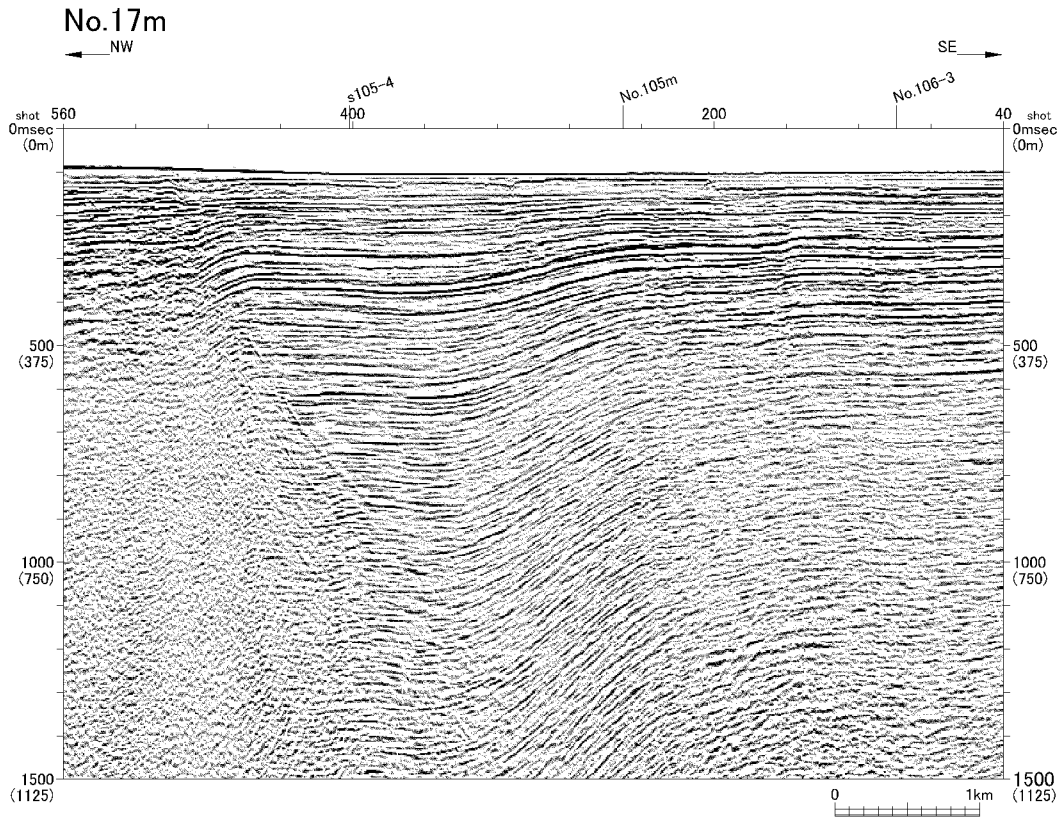
- |—|—| 連続性のある断層
- |—|—| 連続性のある伏在断層
- +—+—+ 連続性のない断層
- +—+—+ 連続性のない伏在断層
- 九州電力網によるマルチチャネル音波探査測線 (G1ガン、ウォーターガン)
- 九州電力網によるシングルチャネル音波探査測線 (ウォーターガン、スバーカ)



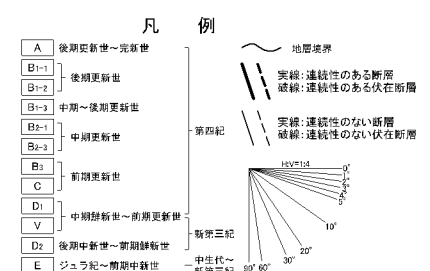
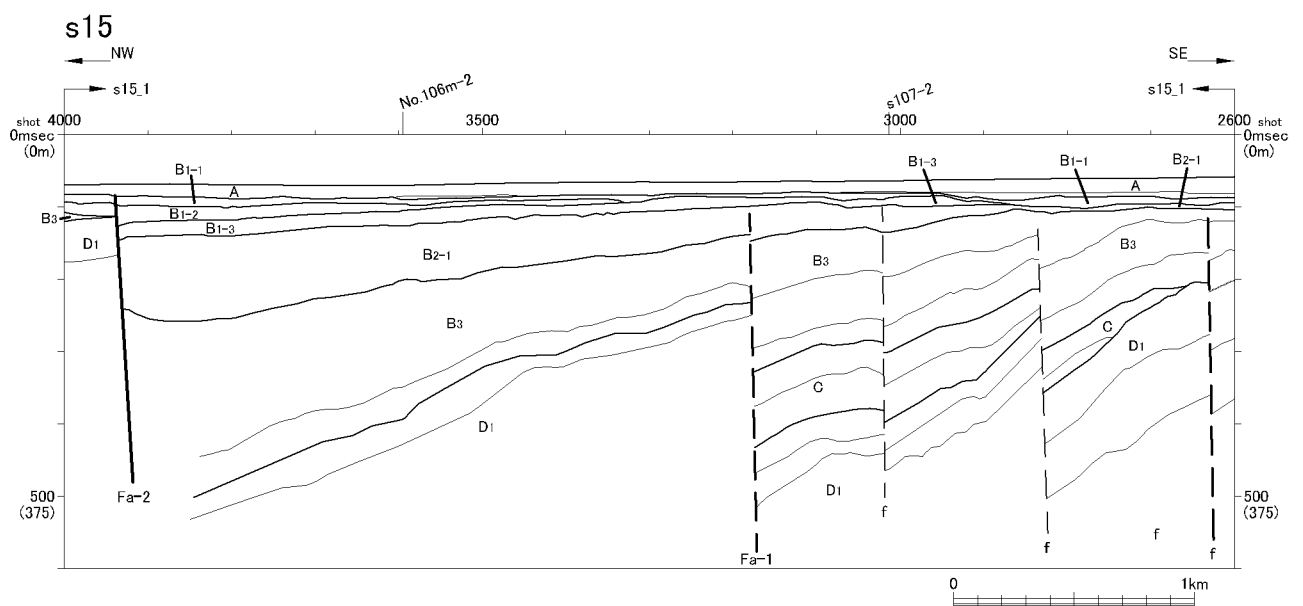
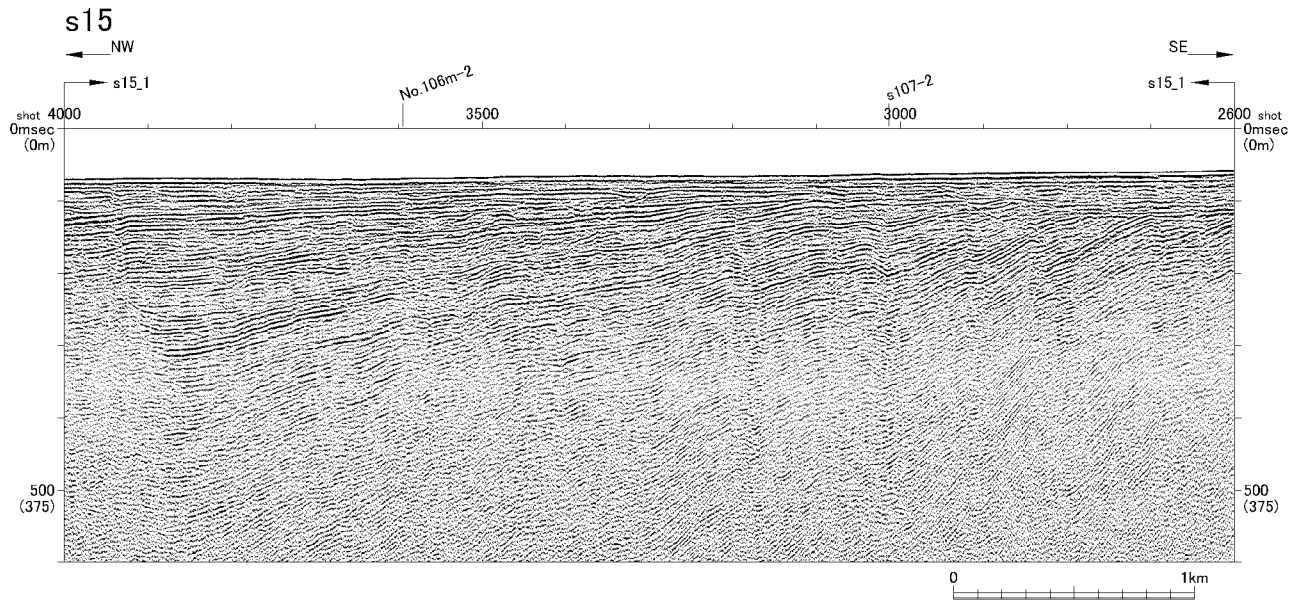
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿耳島)を編集したものである。



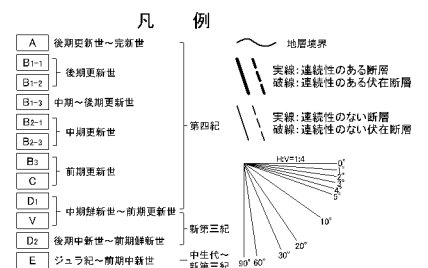
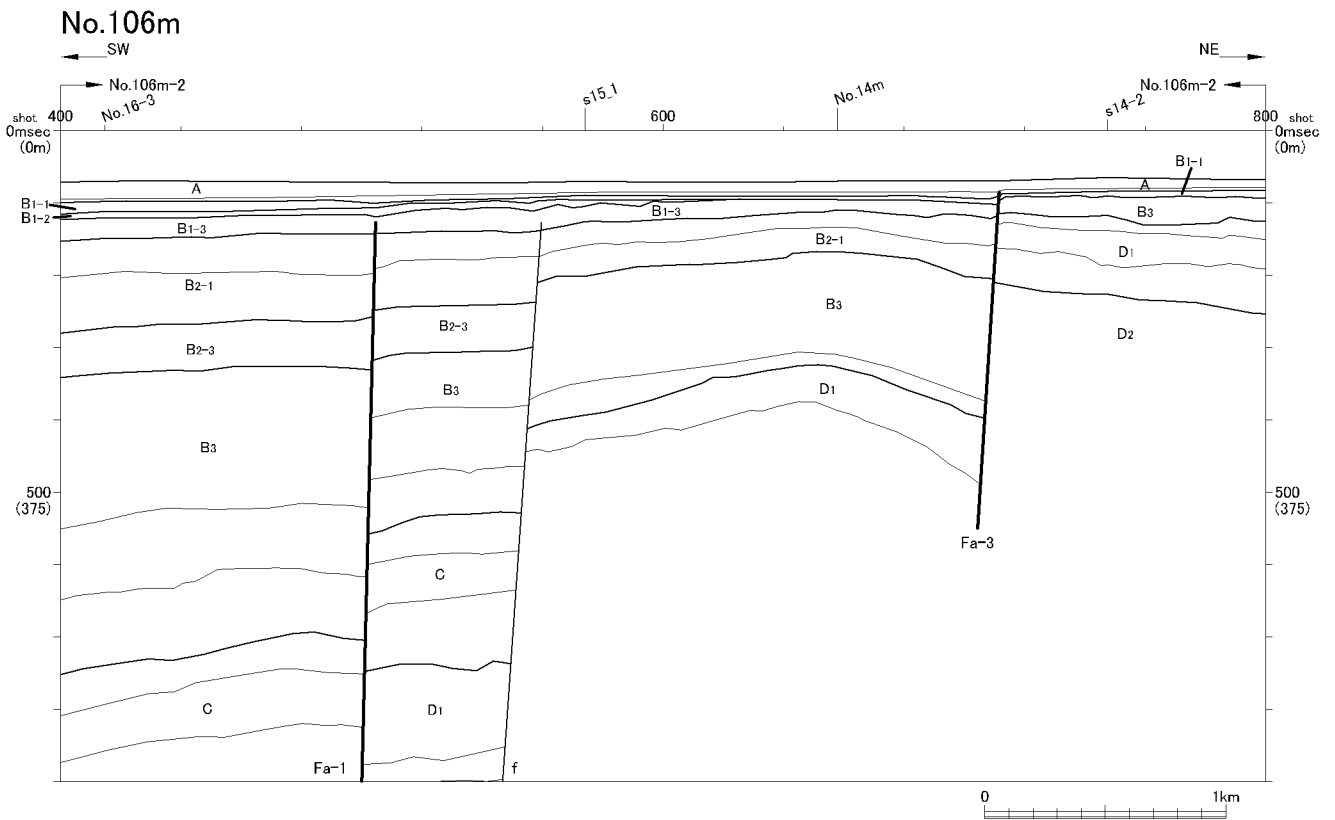
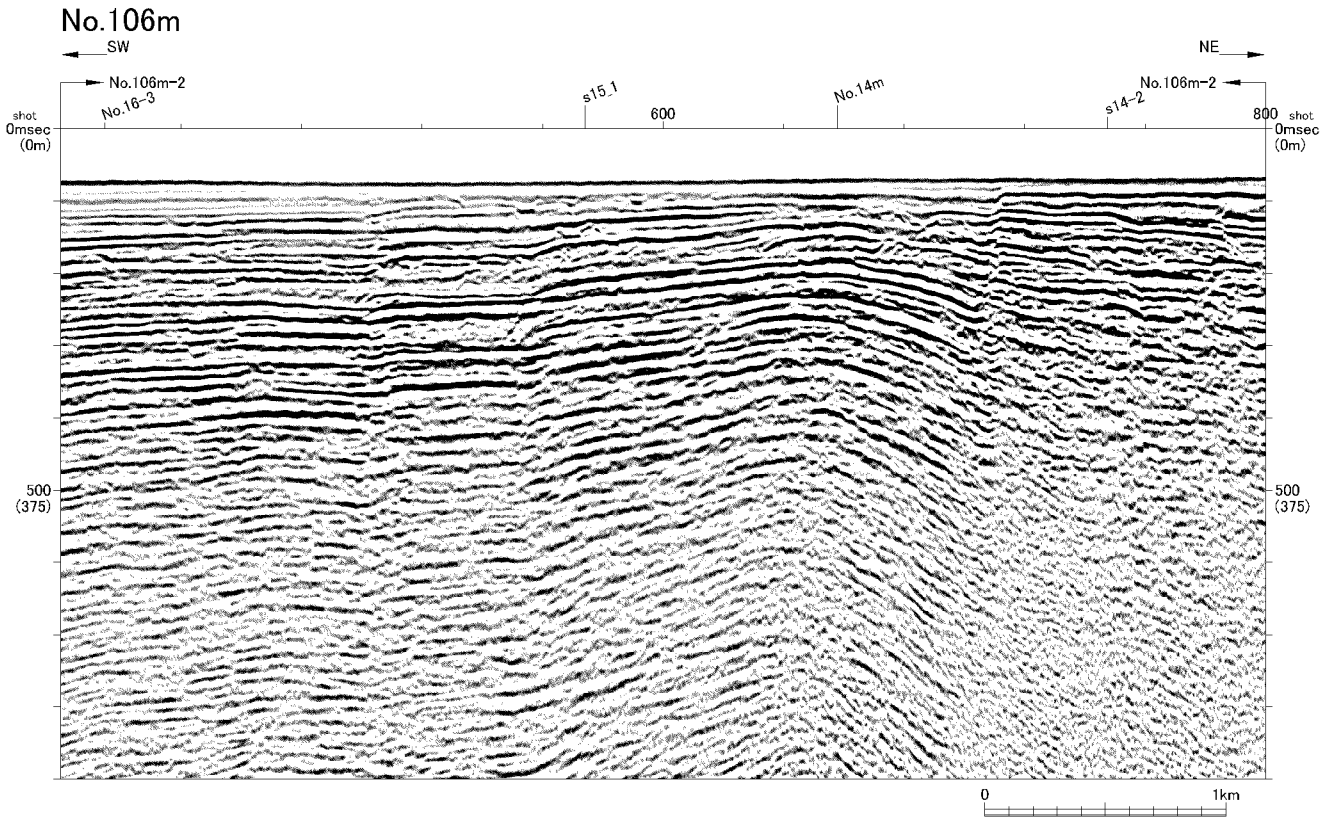
第1.2.7.3.2.99図(1) F-A断層の音波探査記録断面図(No.16測線)



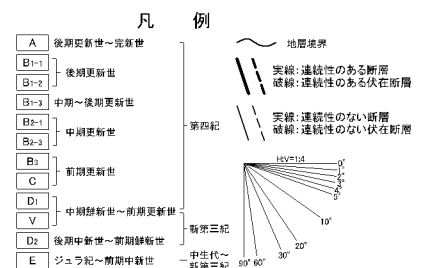
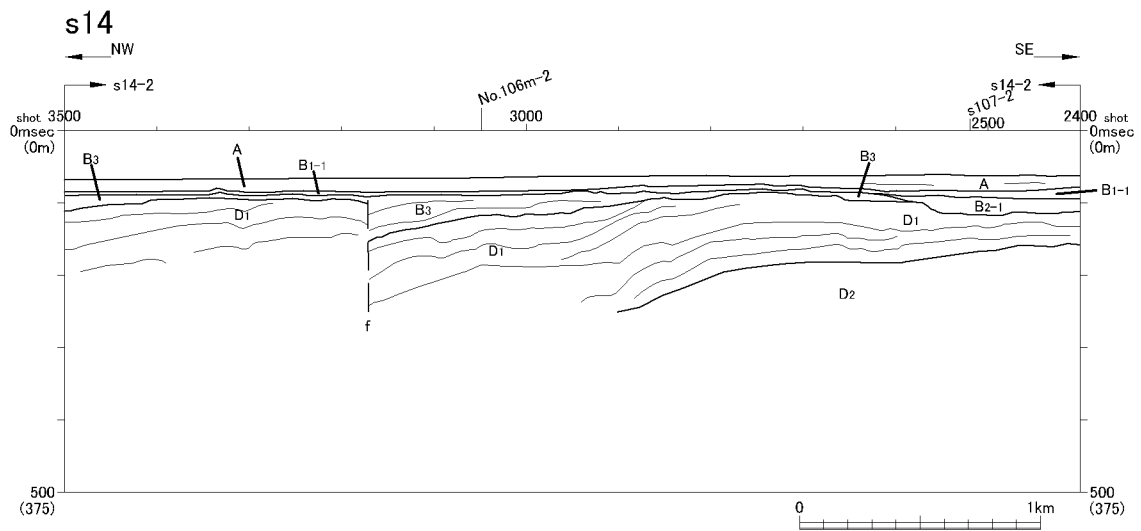
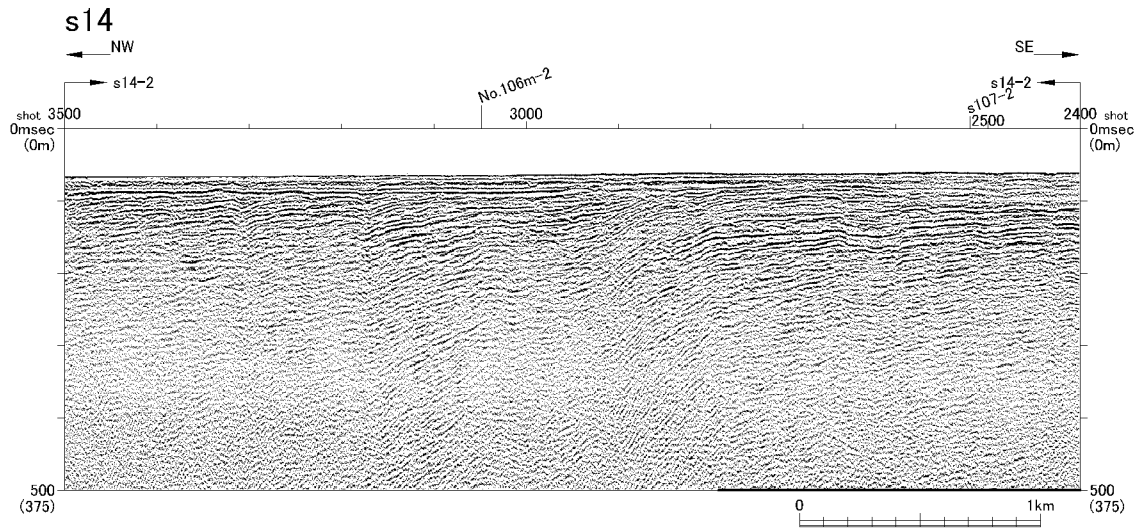
第1.2.7.3.2.99図(2) F-A断層の音波探査記録断面図 (No.17m測線)



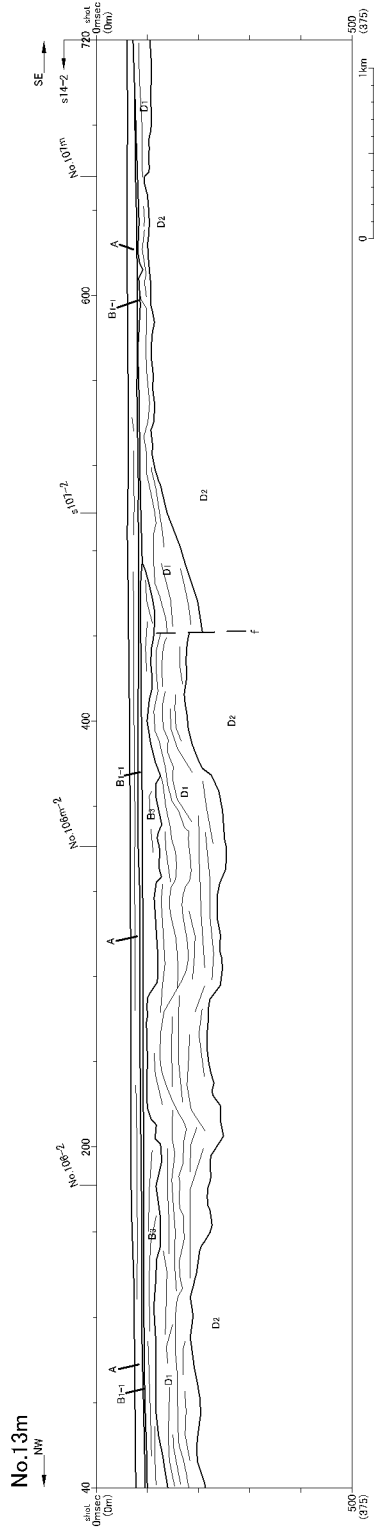
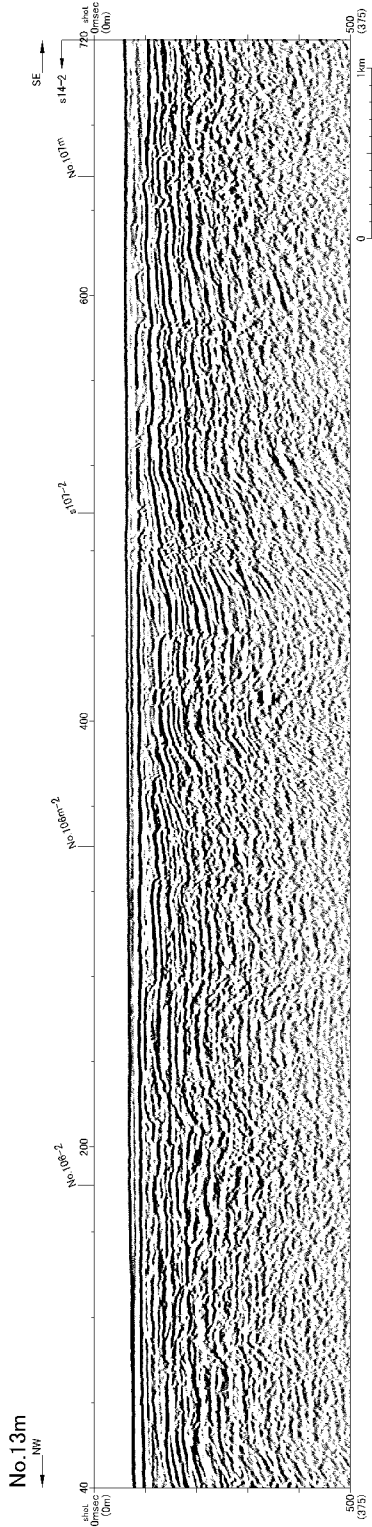
第1.2.7.3.2.99図(3) F-A断層の音波探査記録断面図 (s15測線)
1.2.7.3-273



第1.2.7.3.2.99図(4) F-A断層の音波探査記録断面図 (No.106m測線)



第1.2.7.3.2.99図(5) F-A断層の音波探査記録断面図 (s14測線)

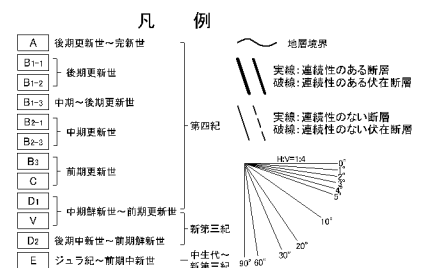
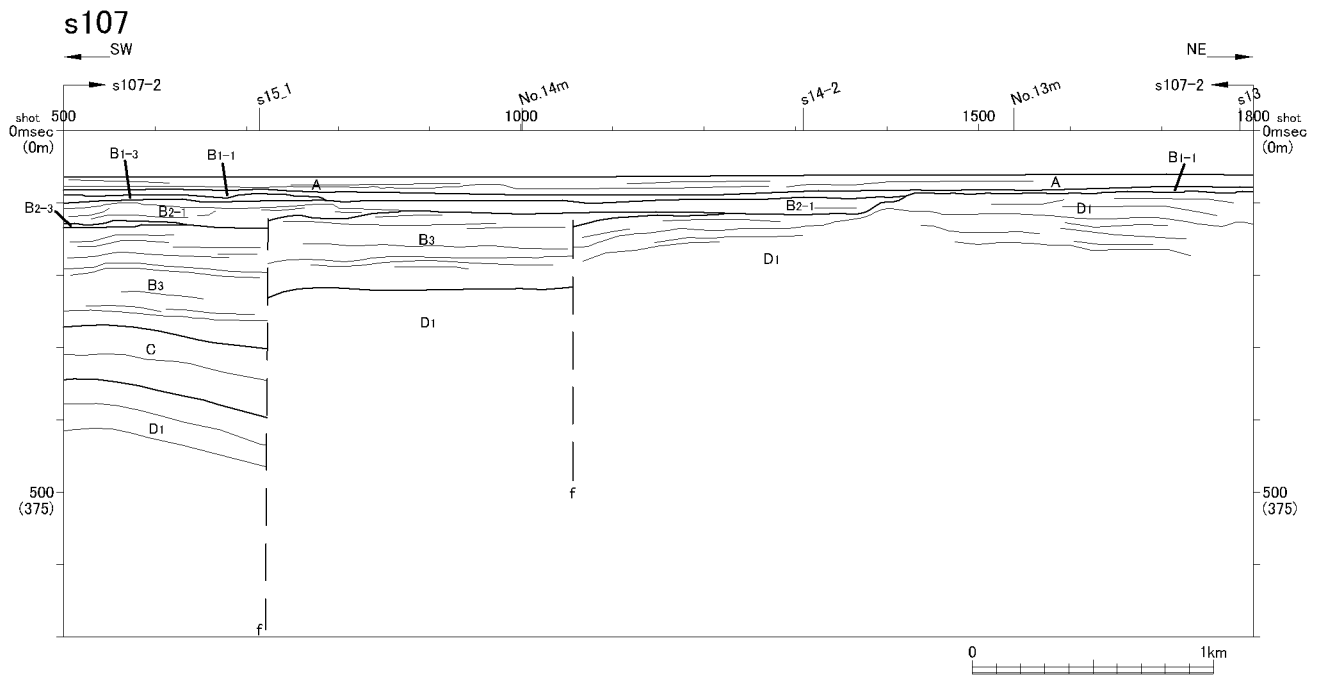
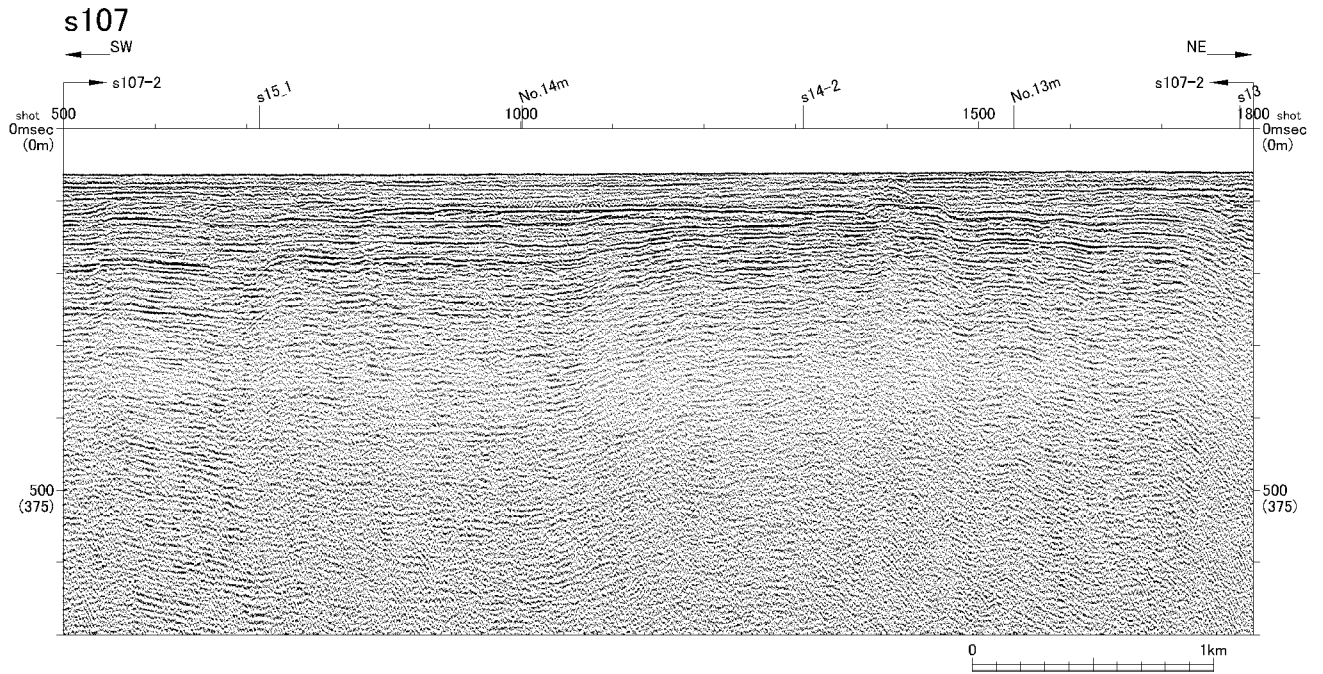


凡例

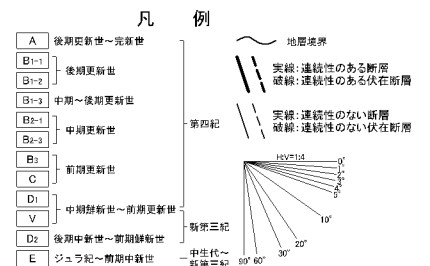
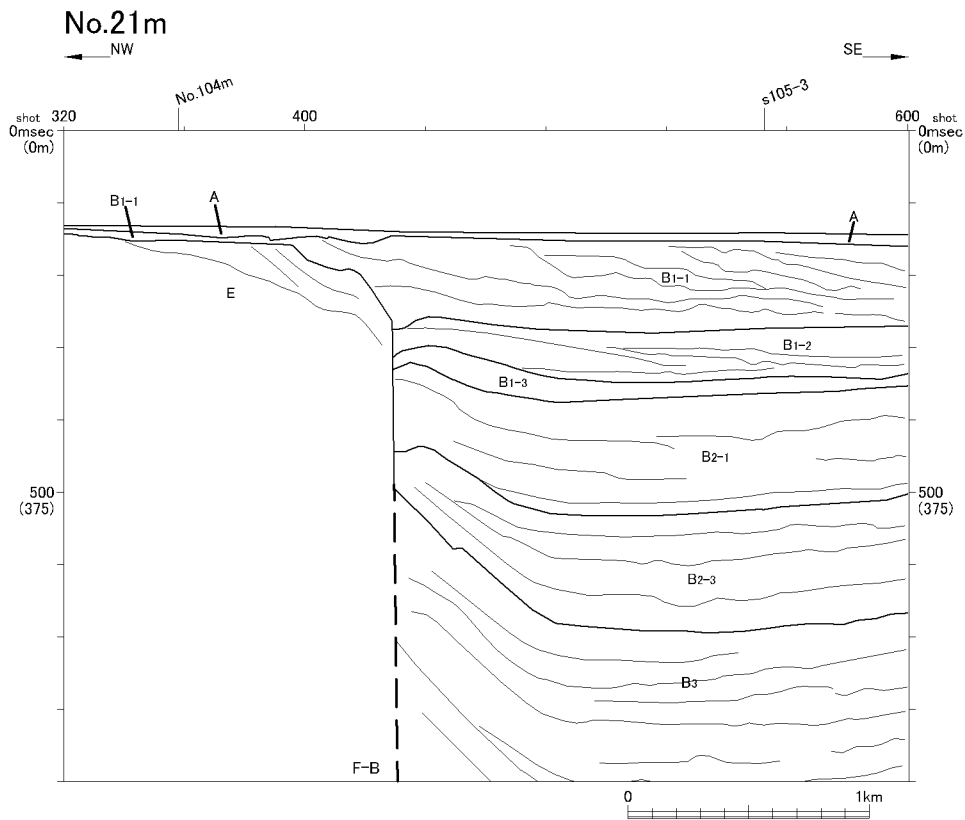
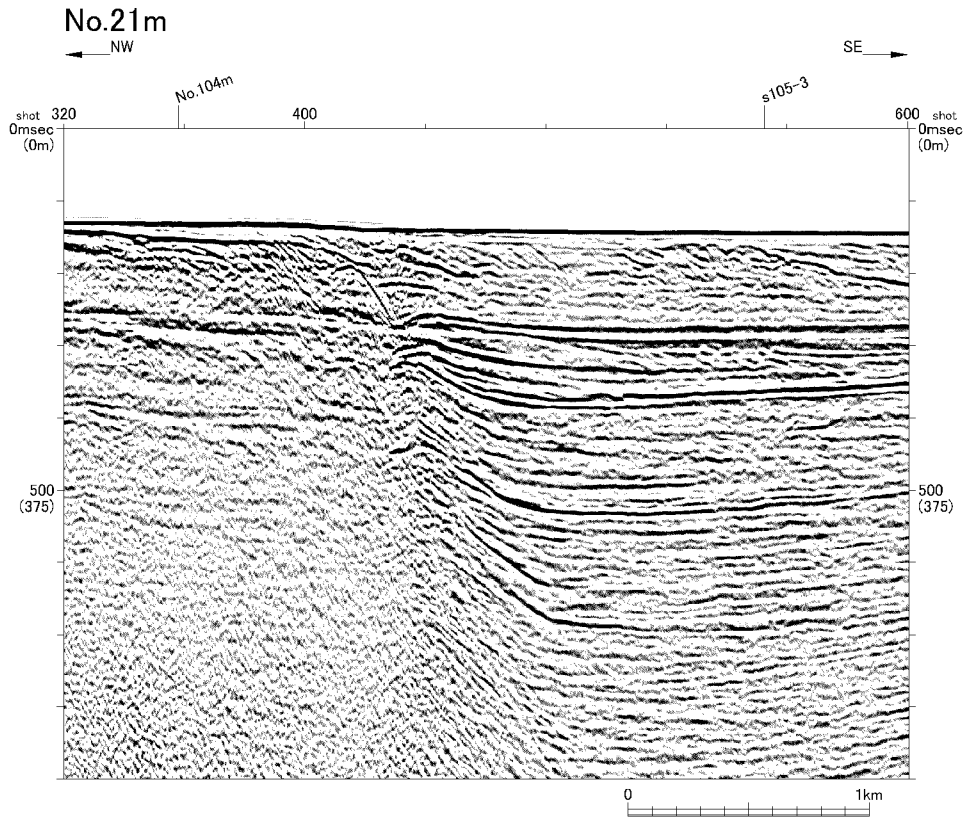
A	断層帯域上の一帯断面	傾斜地帯
B1	砂質泥岩	震動・液状化の発生層
B1'	砂質泥岩	震動・液状化の発生層
B2	砂質・泥質砂岩	震動・液状化の発生層
B2'	砂質・泥質砂岩	震動・液状化の発生層
B3	砂質泥岩	震動・液状化の発生層
C	砂質泥岩	震動・液状化の発生層
D1	中硬砂岩	震動・液状化の発生層
D1'	中硬砂岩	震動・液状化の発生層
D2	砂質泥岩	震動・液状化の発生層
D2'	砂質泥岩	震動・液状化の発生層
E	砂質泥岩	震動・液状化の発生層

例

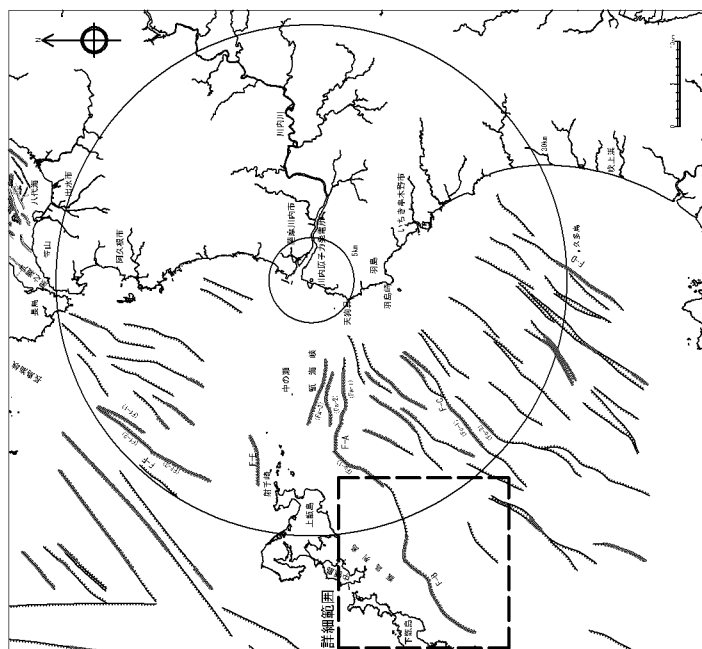
第1.2.7.3.2.99図(6) F-A断面の音波探査記録断面図 (No.13m断面線)
1.2.7.3-276



第1.2.7.3.2.99図(7) F-A断層の音波探査記録断面図 (s107測線)

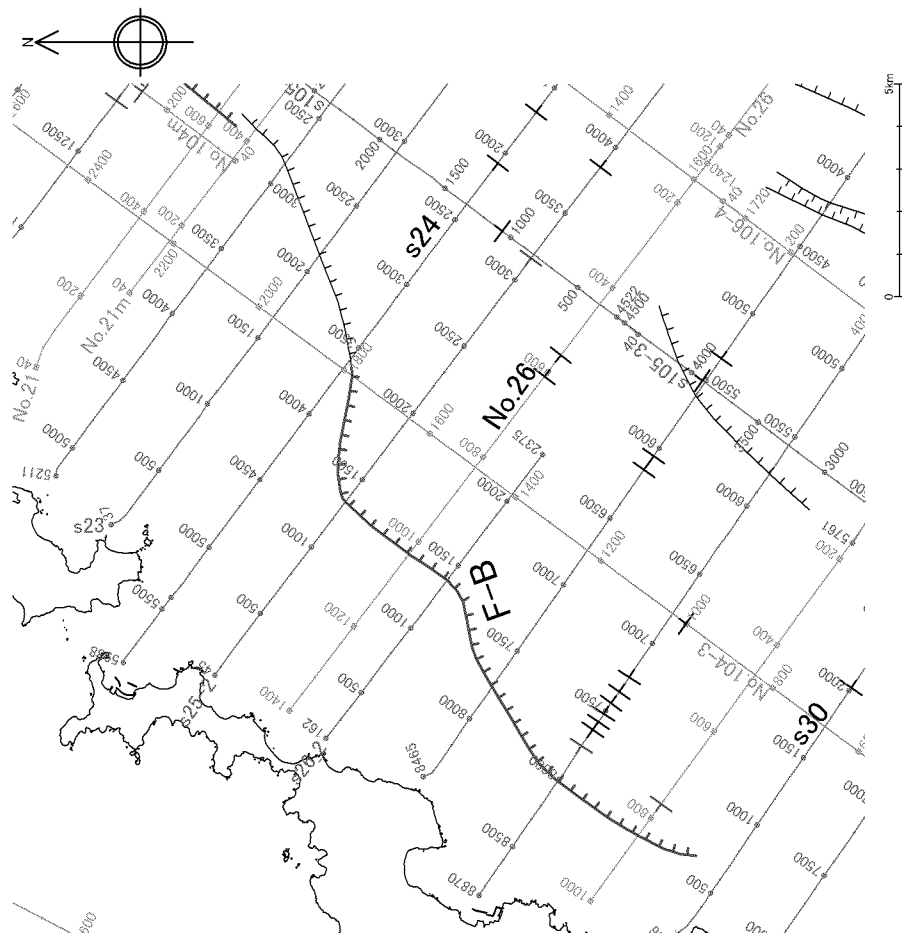


第1.2.7.3.2.99図(8) F-A断層の音波探査記録断面図 (No.21m測線)

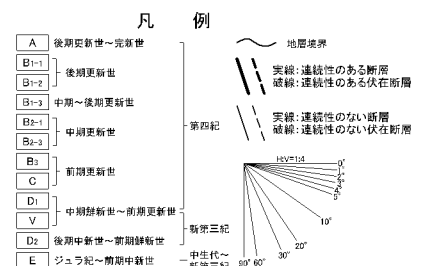
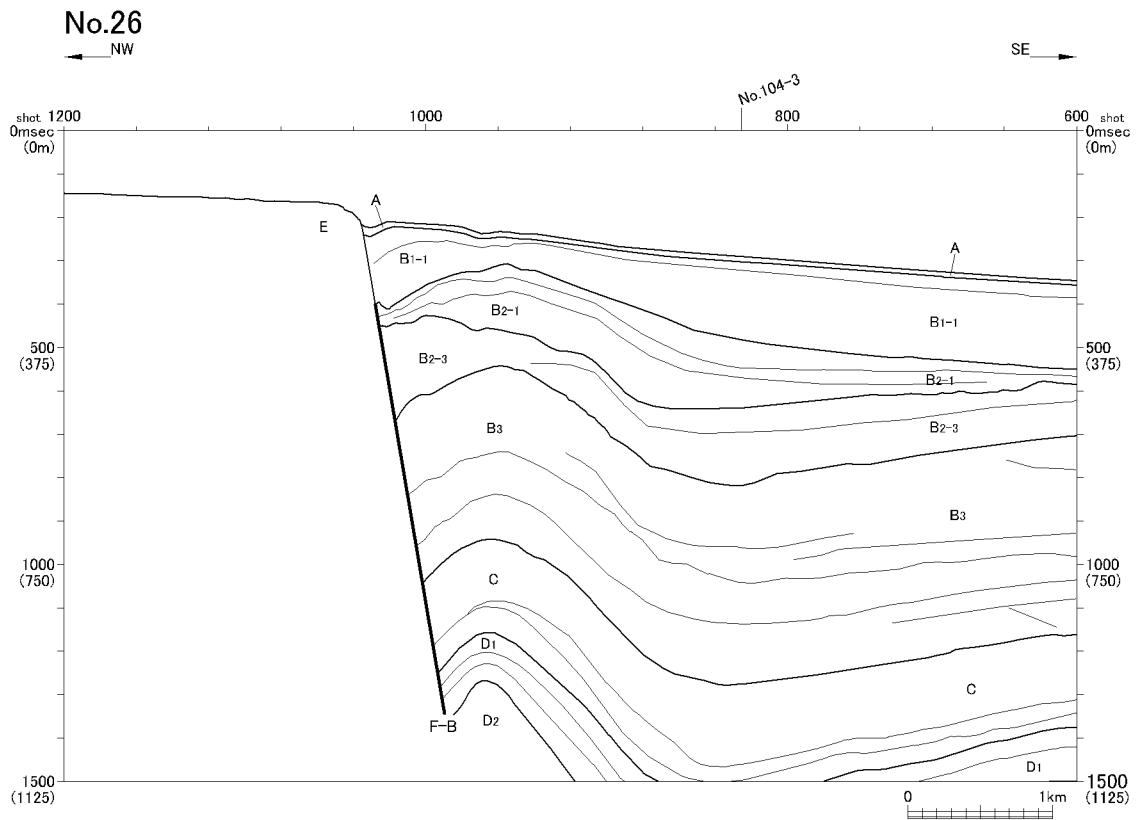
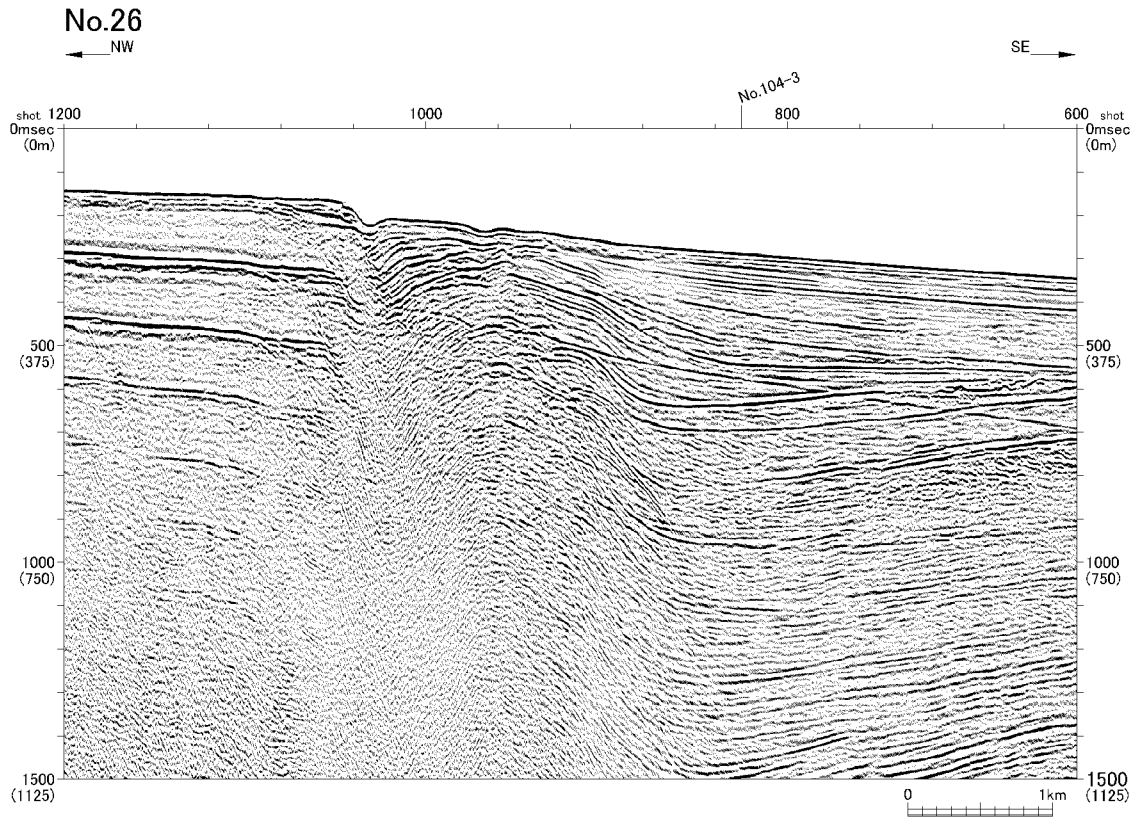


凡 例

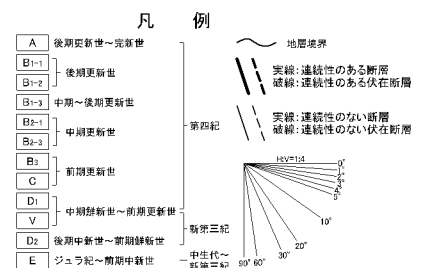
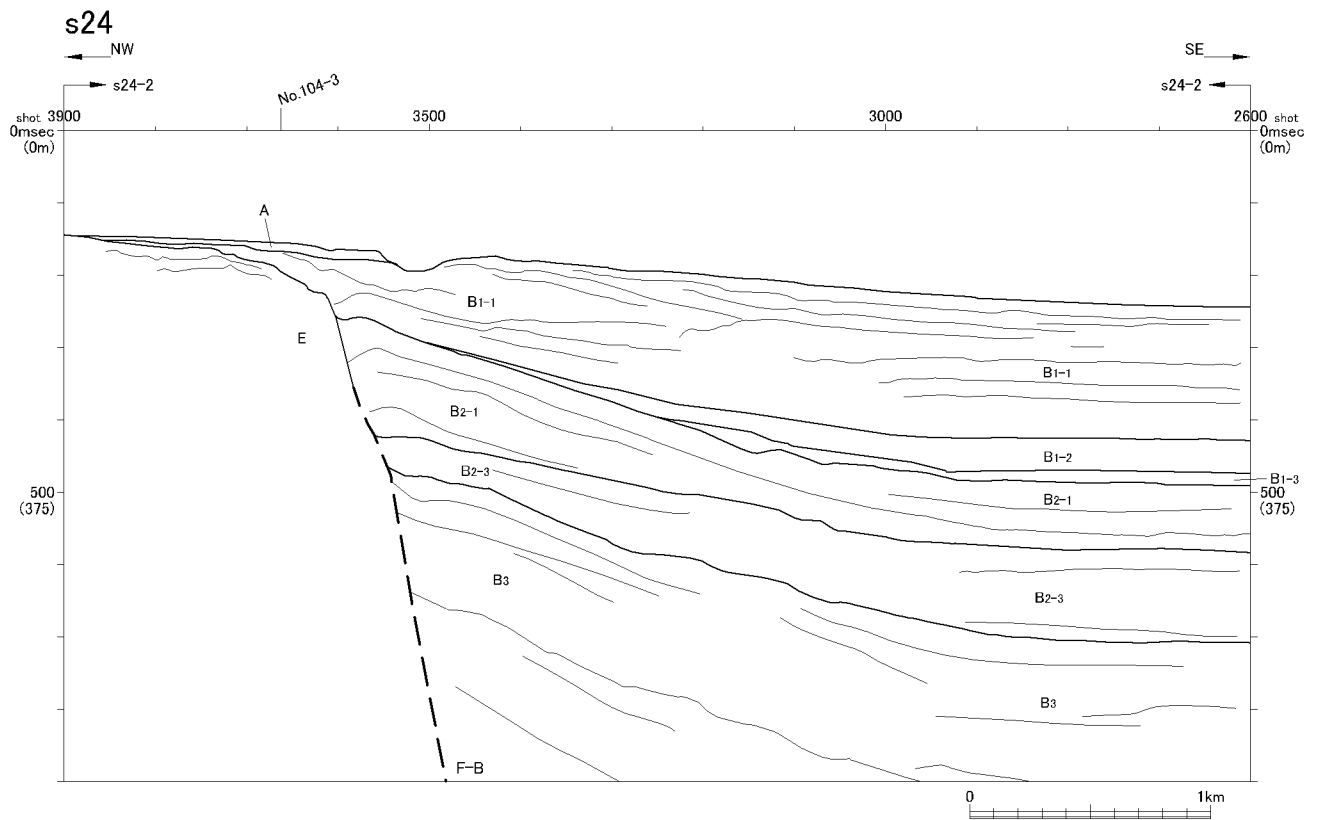
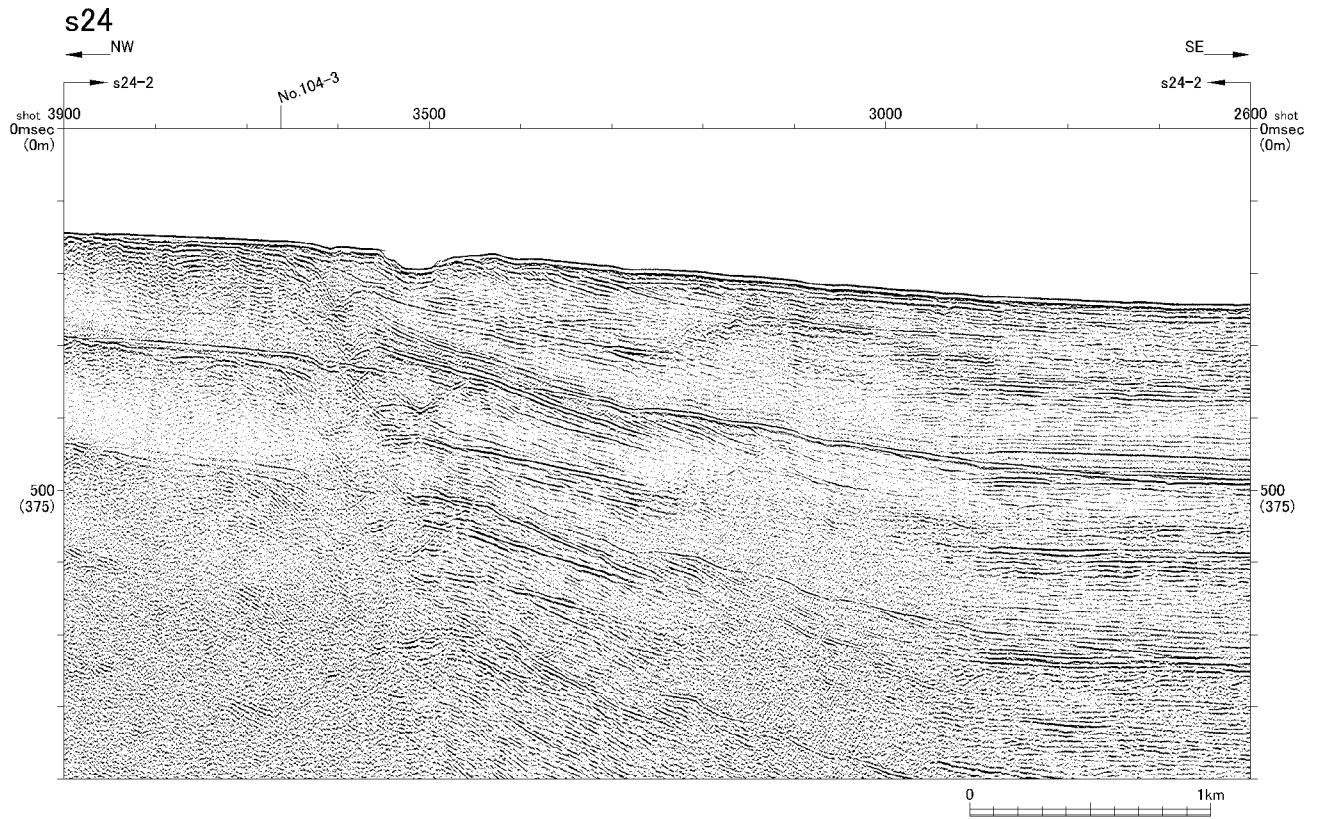
- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力網によるマルチチャンネル音波探索測線
(G1ガン、ウォーターガン)
- 九州電力網によるシングルチャンネル音波探索測線
(ウォーターガン、スパーカ)



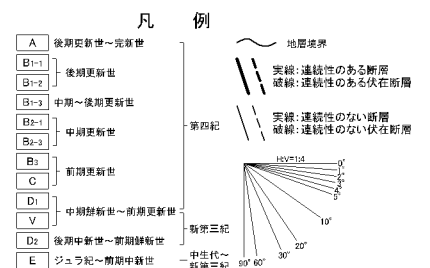
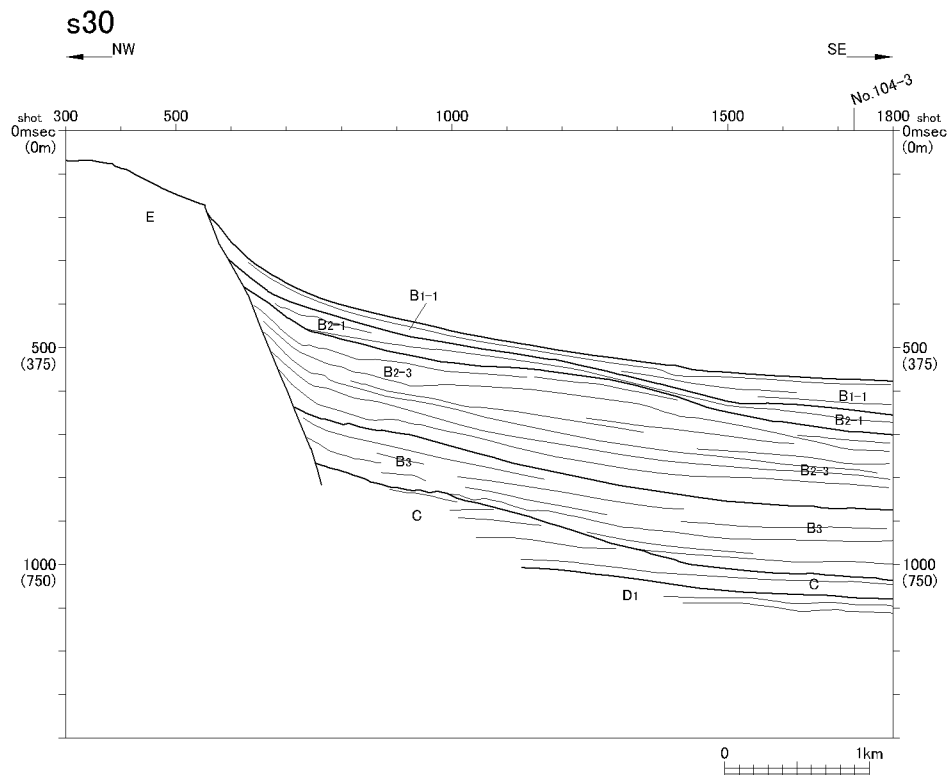
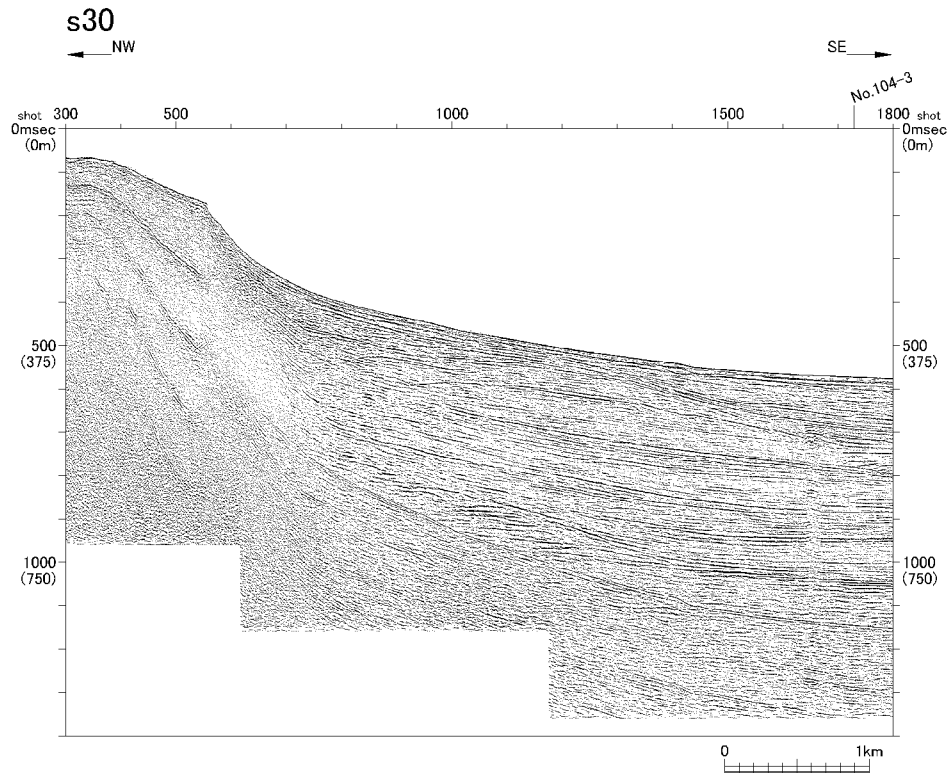
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿尾島)を編集したものである。



第1.2.7.3.2.101図(1) F-B断層の音波探査記録断面図 (No.26測線)



第1.2.7.3.2.101図(2) F-B断層の音波探査記録断面図 (s24測線)



第1.2.7.3.2.101図(3) F-B断層の音波探査記録断面図 (s30測線)